

## 基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	ガッコウホウシン モモヤマガクイン 学校法人 桃山学院							
フリガナ大学の名称	モモヤマガクインダイガク 桃山学院大学 (Momoyama Gakuin University)							
大学本部の位置	大阪府和泉市まなび野1番1号							
大学の目的	本大学は、キリスト教精神に基づいて人格を陶冶し、豊かな教養を体得させ、深い専門学術を研究、教授することにより、世界の市民として広く国際的に活躍し得る人材を養成し、国際社会、世界文化の発展に寄与することを目的とする。							
新設学部等の目的	2021(令和3)年4月に、ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科（入学定員200人、収容定員800人）を設置することに伴い、大学の収容定員を変更する。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
		年	人	年次人	人		年 月 第 年次	
	国際教養学部 英語・国際文化学科 [Faculty of International Studies and Liberal Arts] [Department of English and Intercultural Studies]	4	275	—	1,100	学士(国際教養学) [Bachelor of Arts]	平成20年4月 第1年次	大阪府和泉市 まなび野1-1
	社会学部 社会学科 社会福祉学科 [Faculty of Sociology] [Department of Sociology] [Department of Social Welfare]	4 4	260 100	— —	1,040 400	学士(社会学) 学士(社会福祉学) [Bachelor of Arts in Sociology] [Bachelor of Arts in Social Welfare]	昭和41年4月 第1年次 平成10年4月 第1年次	同上 同上
	法学部 法律学科 [Faculty of Law] [Department of Law]	4	200	—	800	学士(法学) [Bachelor of Laws]	平成14年4月 第1年次	同上
	経済学部 経済学科 [Faculty of Economics] [Department of Economics]	4	360	—	1,440	学士(経済学) [Bachelor of Arts in Economics]	昭和34年4月 第1年次	同上
経営学部 経営学科 ビジネスデザイン学科 [Faculty of Business Administration] [Department of Business Administration] [Department of Business Design]	4 4	225 0 (70)	— —	900 0 (280)	学士(経営学) 学士(経営学) [Bachelor of Arts in Business Administration]	昭和48年4月 第1年次 令和3年4月 第1年次	同上 大阪市中央区久太郎町 3-5-19大阪ディーアイ シービル4階	
							令和3年度より 学生募集停止予定	

	ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科 [Faculty of Business Design] [Department of Business Design]	4	200	—	800	学士(ビジネスデザイン) [Bachelor of Business Design]	令和3年4月 第1年次	大阪市阿倍野区 昭和町3-1-64	令和3年4月届出 予定
	計		1,620 (1,490)	—	6,480 (5,960)				
同一設置者内における 変更状況 (定員の移行, 名称の 変更等)		桃山学院大学 経営学部経営学科 [定員増] (70) (令和2年6月認可申請予定) 経営学部ビジネスデザイン学科 (廃止) (△70) ※令和3年4月学生募集停止  桃山学院教育大学 教育学部教育学科[定員増] (95) (令和2年3月認可申請)							
教育 課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	—	講義	演習	実験・実習	計	— 単位			
	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位				
教 員 組 織 の 概 要	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等	
	新 設	国際教養学部 英語・国際文化学科	教授 人	准教授 人	講師 人	助教 人	計 人	助手 人	兼任 教員等 人
		社会学部 社会学科	16 (16)	10 (10)	1 (1)	0 (0)	27 (27)	0 (0)	233 (233)
		社会学部 社会福祉学科	10 (10)	12 (12)	1 (1)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	223 (223)
		社会学部 社会学科	5 (5)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	223 (223)
		法学部 法律学科	13 (13)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	194 (194)
		経済学部 経済学科	13 (13)	16 (16)	5 (5)	0 (0)	34 (34)	0 (0)	208 (208)
		経営学部 経営学科	18 (18)	6 (6)	4 (4)	0 (0)	28 (28)	0 (0)	203 (203)
		ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン 学科	9 (9)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	19 (19)
	計	84 (84)	57 (57)	18 (18)	0 (0)	159 (159)	0 (0)	— (—)	
既 設 分	なし	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	— (—)	
	計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	— (—)	
合計		84 (84)	57 (57)	18 (18)	0 (0)	159 (159)	0 (0)	— (—)	
教員 以外 の 職員 の 概要	職 種		専 任		兼 任		計		
	事務職員		63 (63) 人		76 (76) 人		139 (139) 人		
	技術職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)		
	図書館専門職員		3 (3)		0 (0)		3 (3)		
	その他の職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)		
計		66 (66)		76 (76)		142 (142)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
	校舎敷地	85,862㎡	1,155.30㎡		13,699.7㎡		100,717㎡		
	運動場用地	84,176㎡	0㎡		11,540㎡		95,716㎡		
	小 計	170,038㎡	1,155.30㎡		25,239.7㎡		196,433㎡		
	そ の 他	14,405㎡	0㎡		0㎡		14,405㎡		
合 計	184,443㎡	1,155.30㎡		25,239.7㎡		210,838㎡			
		大学全体 <共用する他の学校>  桃山学院高等学校 (収容 定員2,280名) 基準面積 (運動場として) 8,400 ㎡ (中学校との共用可)  桃山学院中学校 (収容定 員360名) 基準面積 (運 動場として) 4,800㎡							

校舎		専用	共用	共用する他の 学校等の専用	計		大学全体				
		61,915.4㎡ (61,915.4㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	61,915.4㎡ (61,915.4㎡)						
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体				
	74室	51室	8室	9室 (補助職員 5人)	2室 (補助職員 0人)						
専任教員研究室		新設学部等の名称			室数		大学全体				
		大学全体			173室						
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点				
	大学全体	738,266 [231,341] (738,266 [231,341])	7,856 [2,294] (7,856 [2,294])	4,636 [4,634] (4,636 [4,634])	39,814 (39,814)	15,339 (15,339)	1 (1)				
	計	738,266 [231,341] (738,266 [231,341])	7,856 [2,294] (7,856 [2,294])	4,636 [4,634] (4,636 [4,634])	39,814 (39,814)	15,339 (15,339)	1 (1)				
図書館		面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体			
		8,673㎡		724		886,389					
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
		11,966.42㎡		テニスコート		和弓場、洋弓場					
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体	
		教員1人当り研究費等		495千円	495千円	495千円	495千円	－千円	－千円		図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		共同研究費等		9,584千円	9,584千円	9,584千円	9,584千円	－千円	－千円		
		図書購入費	57,000千円	57,000千円	57,000千円	57,000千円	57,000千円	－千円	－千円		
	設備購入費	652,493千円	151,388千円	151,388千円	151,388千円	151,388千円	－千円	－千円			
	学生1人当り納付金			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国際教養学部 英語・国際文化学科 社会学部 社会学科 社会学部 社会福祉学科 法学部 法律学科 経済学部 経済学科 経営学部 経営学科 ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科	
				1,259千円	1,029千円	1,029千円	1,029千円	－千円	－千円		
				1,259千円	1,029千円	1,029千円	1,029千円	－千円	－千円		
				1,259千円	1,029千円	1,029千円	1,029千円	－千円	－千円		
				1,259千円	1,029千円	1,029千円	1,029千円	－千円	－千円		
		1,259千円	1,029千円	1,029千円	1,029千円	－千円	－千円				
		1,199千円	969千円	969千円	969千円	－千円	－千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			補助金収入、寄付金収入、雑収入等								
大学の名称		桃山学院大学									
既設大学等の状況	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
	国際教養学部 英語・国際文化学科	年	人	年次人	人	学士(国際教養学)	1.08	平成20年度	大阪府和泉市 まなび野1-1	平成30年度入学定員増(20名) 平成31年度入学定員減(△15名)	
	社会学部 社会学科	4	260	—	1,030	学士(社会学)	1.06	昭和41年度 平成10年度	同上	平成30年度入学定員増(10名)	
	社会学部 社会福祉学科	4	100	—	400	学士(社会福祉学)	1.04				
	法学部 法律学科	4	200	—	800	学士(法学)	1.09	平成14年度	同上		
	経済学部 経済学科	4	360	—	1,430	学士(経済学)	1.03	昭和34年度	同上	平成30年度入学定員増(10名)	
	経営学部 経営学科	4	225	—	1,010	学士(経営学)	1.11	昭和48年度 平成31年度	同上	平成31年度入学定員減(△55名) 令和3年度より学生募集停止予定	
経営学部 ビジネスデザイン学科	4	70	—	140	学士(経営学)	1.12					

既設大学等の状況	大学の名称	桃山学院大学大学院							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
既設大学等の状況	博士前期課程	年	人	年次人	人		倍		
	文学研究科 言語・文化専攻	2	10	—	20	修士(文学)	0.15	平成5年度	大阪府和泉市 まなび野1-1
	社会学研究科 応用社会学専攻	2	10	—	20	修士(社会学)	0.55	平成12年度	同上
	経済学研究科 応用経済学専攻	2	10	—	20	修士(経済学)	0.75	平成10年度	同上
	経営学研究科 経営学専攻	2	10	—	20	修士(経営学)	0.62	平成5年度	同上
	博士後期課程	年	人	年次人	人		倍		
	文学研究科 比較文化学専攻	3	4	—	12	博士(文学)	0.00	平成11年度	大阪府和泉市 まなび野1-1
	社会学研究科 応用社会学専攻	3	3	—	9	博士(社会学)	0.33	平成15年度	同上
	経済学研究科 応用経済学専攻	3	3	—	9	博士(経済学)	0.33	平成14年度	同上
	経営学研究科 経営学専攻	3	3	—	9	博士(経営学)	0.66	平成11年度	同上
既設大学等の状況	大学の名称	桃山学院教育大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
既設大学等の状況	教育学部 教育学科	年	人	年次人	人		倍		
		4	175	—	695	学士(教育)	0.98	平成26年度	大阪府堺市槇塚台 4-5-1
附属施設の概要									

平成30年度入学定員増(5名)  
令和2年度より人間教育学部人間教育学科に名称変更

- (注)
- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
  - 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
  - 3 私立の大学又は高等専門学校の場合、学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
  - 4 大学の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積り及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
  - 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
  - 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
デザイン 演習	ビジネスデザイン演習Ⅰ	3通	4				○		9	3	2					
	ビジネスデザイン演習Ⅱ	4通	4				○		8	3	3					
	小計(2科目)	—	8	0	0	—			9	3	3	0	0	—		
デザイン 実践	PBL入門Ⅰ	1前	4				○		4	2	2					
	PBL入門Ⅱ	1後	4				○		7	1						
	PBL応用Ⅰ	2前	4				○		3	2	3					
	PBL応用Ⅱ	2後	4				○		5	2	1					
	小計(4科目)	—	16	0	0	—			9	3	3	0	0	—		
ビジネス デザイン 思考	ビジネス基礎	1前	2				○		1	1						
	ビジネスリーダーシップ	1前	2				○		2	1						
	ビジネスモデル	2前	2			○					1					
	ビジネスモデル演習	2後	2				○		1		1					
	問題解決法	2後	2				○		2							
	ロジカルシンキング (選択)	2後	2				○		1		1					
	デザインシンキング	3前		2			○			1						
	ビジネスモデル実践	3・4前		2		○					1					
	小計(8科目)	—	12	4	0	—			5	2	2	0	0	0	—	
ビジネス 理論・ 知識	(必修)															
	IT基礎	1前	2				○			2						
	プレゼンテーション	1後	2				○				2					
	ビジネス英語基礎	1後	2				○		1						兼1	
	フィールドワーク	2前	2				○		1		1					
	マーケティング	2前	2			○			1							
	テクノロジーとイノベーション	2前	2			○				1						
	起業とファイナンス	2後	2			○			1							
	組織デザインと人事管理	2後	2			○				1						
	アカウンティング	2後	2			○			1							
	ビジネス英語応用	2後	2				○		1						兼1	
	グローバルビジネス	3前	2			○			1							
	ビジネスと法	3前	2			○			1							
	商品企画	3前	2			○					1					
	ビジネスコミュニケーション	3前	2				○		1	1						
	ビジネスの社会性	3後	2			○			1							
	プロジェクトマネジメント	3後	2			○			1							
	ビジネスライティング	3後	2				○		2							
	経営戦略	3後	2			○			1							
	(選択必修)															
	仕事で使う数学	1・2・3・4前		2		○										兼1
	プログラム開発	2・3・4前		2		○				1						
統計・データ分析	2・3・4後		2		○										兼1	
バイオ・農林水産	2・3・4後		2		○										兼1	
環境・エネルギー (選択)	2・3・4前		2		○										兼1	
マーケティング実践	3・4前		2		○						1					
アカウンティング実践	3・4後		2		○			1								
小計(25科目)	—	36	14	0	—			7	3	3	0	0	兼5	—		

ド メ イン	(必修)																	
	食ビジネスA	1前	2			○			1									
	食ビジネスB	1後	2			○			1									
	農ビジネス	1前	2			○			1									
	福祉・医療・教育ビジネス	1前	2			○					1							
	健康・スポーツビジネス	1前	2			○			1									
	アパレル・住居ビジネス	1後	2			○			1									
	まちづくり・観光ビジネス	1後	2			○			1									
	ITビジネス	1後	2			○				1								
	(選択必修)																	
	ファミリー企業経営	2前		2			○			1								
	ベンチャー企業経営	2前		2			○					1						
	社会的企業経営	2前		2			○										兼1	
	(選択)																	
	フードシステム論	2後		2			○			1								
	店舗マネジメント	2後		2			○										兼1	
	高齢者と介護	2後		2			○										兼1	
	食文化論	3前		2			○			1								
	農産物市場論	3前		2			○			1								
	子どもの暮らしと社会	3前		2			○										兼1	
食品産業論	3後		2			○			1									
健康とスポーツ	3後		2			○										兼1		
地域とボランティア	3後		2			○						1						
小計(20科目)	—		16	24	0	—			4	1	2	0	0			兼5	—	
教 養 ・ 文 化	小説・詩・俳句	1・2・3・4前		2			○										兼1	
	イラスト・絵画	1・2・3・4前		2			○										兼1	
	将棋・囲碁	1・2・3・4前		2			○										兼1	
	華道・茶道の心	1・2・3・4前		2			○										兼2 オムニバス	
	映像・メディア	1・2・3・4後		2			○										兼1	
	演劇・朗読	1・2・3・4後		2			○										兼1	
	政治・経済のニュース	1・2・3・4後		2			○										兼1	
	モチベーションとストレスケア	1・2・3・4後		2			○			1								
	世界の宗教・人権	1・2・3・4後		2			○										兼1	
	小計(9科目)	—		0	18	0	—			0	1	0	0	0			兼9	—
イ ン タ ー ン シ ッ プ	インターンシップⅠ	2通		2														
	インターンシップⅡ	3通		2														
	小計(2科目)	—		4	0	0	—			0	0	1	0	0			0	
合計(70科目)		—		92	60	0	—			9	3	3	0	0			兼19	—
学位又は称号	学士(ビジネスデザイン)		学位又は学科の分野				経済学関係											
卒業要件及び履修方法								授業期間等										
<p>ビジネスデザイン演習8単位(必修)、ビジネスデザイン実践16単位(必修)、ビジネスデザイン思考のうち、1、2年次に履修する12単位(必修)、ビジネス理論・知識のうち36単位(必修)、「仕事で使う数学」「プログラム開発」「統計・データ分析」「バイオ・農林水産」「環境・エネルギー」の5科目のうちから2科目4単位(選択必修)、ドメインのうち、1年次に履修する16単位(必修)、2年次春学期に履修する「ファミリー企業経営」「ベンチャー企業経営」「社会的企業経営」の3科目のうちから1科目2単位(選択必修)および2年次秋学期以降に履修するドメインから10単位以上(選択)、教養・文化16単位以上(選択)、インターンシップ4単位(必修)を修得し、合計124単位以上修得すること。</p> <p>(履修科目の登録の上限(年間):1年次および4年次:40単位、2年次および3年次:44単位(全学年、可能な限り時間割固定))</p>								1学年の学期区分				2学期						
								1学期の授業期間				15週						
								1時限の授業時間				90分						

学校法人桃山学院 設置認可申請等に関わる組織の移行表

令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
桃山学院大学				桃山学院大学				
国際教養学部 英語・国際文化学科	275	-	1,100	国際教養学部 英語・国際文化学科	275	-	1,100	
社会学部 社会学科	260	-	1,040	社会学部 社会学科	260	-	1,040	
社会学部 社会福祉学科	100	-	400	社会学部 社会福祉学科	100	-	400	
法学部 法律学科	200	-	800	法学部 法律学科	200	-	800	
経済学部 経済学科	360	-	1,440	経済学部 経済学科	360	-	1,440	
経営学部 経営学科	225	-	900	経営学部 経営学科	225	-	900	
ビジネスデザイン学科	70	-	280		0	-	0	令和3年4月学生募集停止
				<u>ビジネスデザイン学部</u> <u>ビジネスデザイン学科</u>	<u>200</u>	-	<u>800</u>	学部の設置（届出）
計	1,490	-	5,960	計	<u>1,620</u>	-	<u>6,480</u>	
桃山学院大学大学院				桃山学院大学大学院				
文学研究科 言語・文化専攻 (博士前期課程)	10	-	20	文学研究科 言語・文化専攻 (博士前期課程)	10	-	20	
比較文化学専攻 (博士後期課程)	4	-	12	比較文化学専攻 (博士後期課程)	4	-	12	
社会学研究科 応用社会学専攻 (博士前期課程)	10	-	20	社会学研究科 応用社会学専攻 (博士前期課程)	10	-	20	
応用社会学専攻 (博士後期課程)	3	-	9	応用社会学専攻 (博士後期課程)	3	-	9	
経済学研究科 応用経済学専攻 (博士前期課程)	10	-	20	経済学研究科 応用経済学専攻 (博士前期課程)	10	-	20	
応用経済学専攻 (博士後期課程)	3	-	9	応用経済学専攻 (博士後期課程)	3	-	9	
経営学研究科 経営学専攻 (博士前期課程)	10	-	20	経営学研究科 経営学専攻 (博士前期課程)	10	-	20	
経営学専攻 (博士後期課程)	3	-	9	経営学専攻 (博士後期課程)	3	-	9	
計	53	-	119	計	53	-	119	
桃山学院教育大学				桃山学院教育大学				
人間教育学部 人間教育学科	175	-	700	人間教育学部 人間教育学科	<u>270</u>	-	<u>1,080</u>	定員変更 (95)
計	175	-	700	計	270	-	1,080	

## 校地校舎等の図面



# (1) 都道府県内における位置関係の図面



- 桃山学院大学 ビジネスデザイン学部・ビジネスデザイン学科 (あべのキャンパス)  
 大阪市阿倍野区昭和町3-1-64 ※令和2年8月新校舎完成予定。  
 (Osaka Metro御堂筋線 昭和町駅下車 徒歩約5分)
- 桃山学院大学 (和泉キャンパス) 大阪府和泉市まなび野1-1  
 (泉北高速鉄道 和泉中央駅下車 徒歩約12分または南海バス約7分)



## (2) 最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面 (あべのキャンパス)



## (2) 最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面(和泉キャンパス)



### (3) 校舎、運動場等の配置図 (あべのキャンパス)

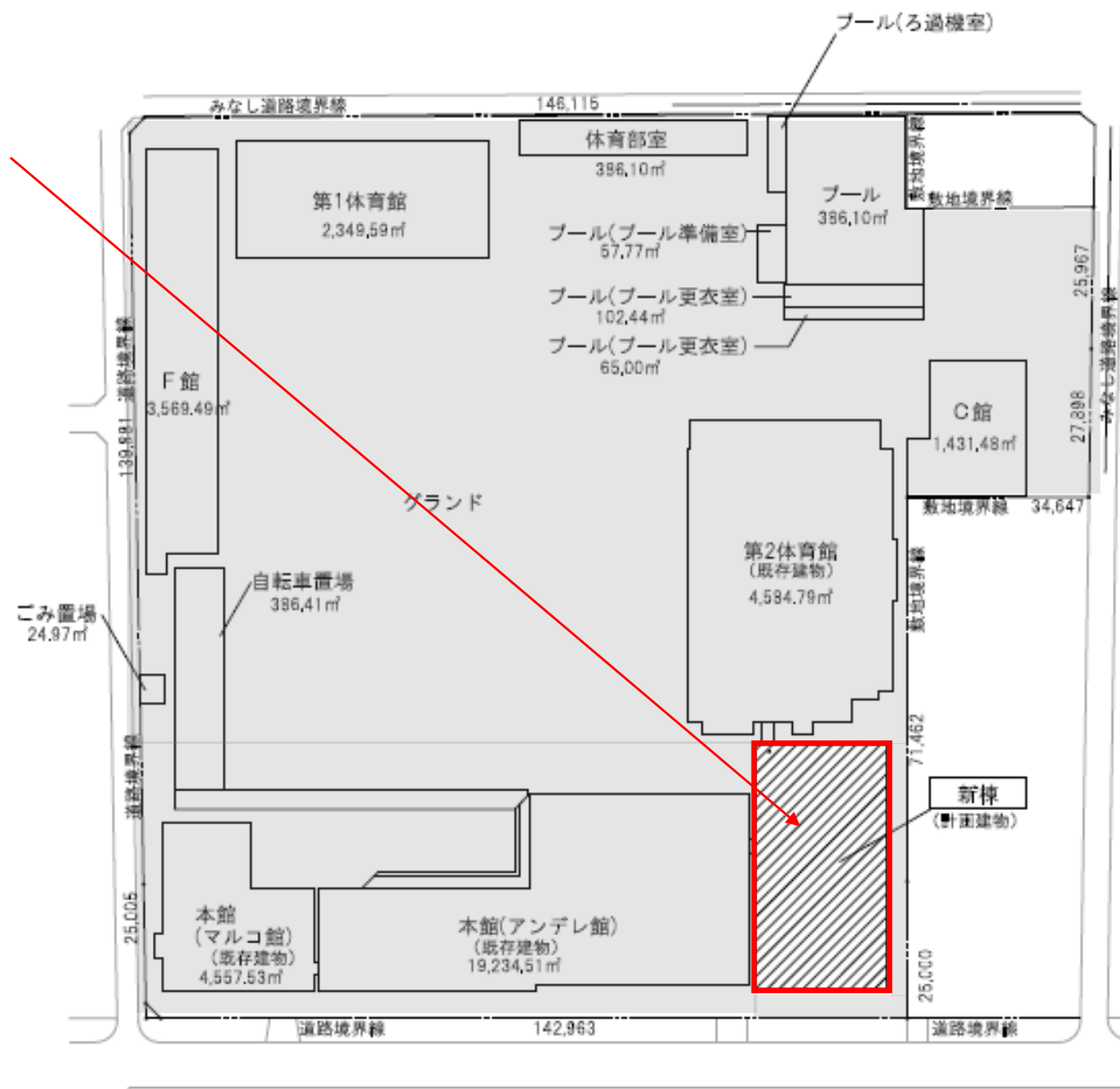
〔校地面積〕

1,155.30㎡ (桃山学院中学校高等学校と共用)

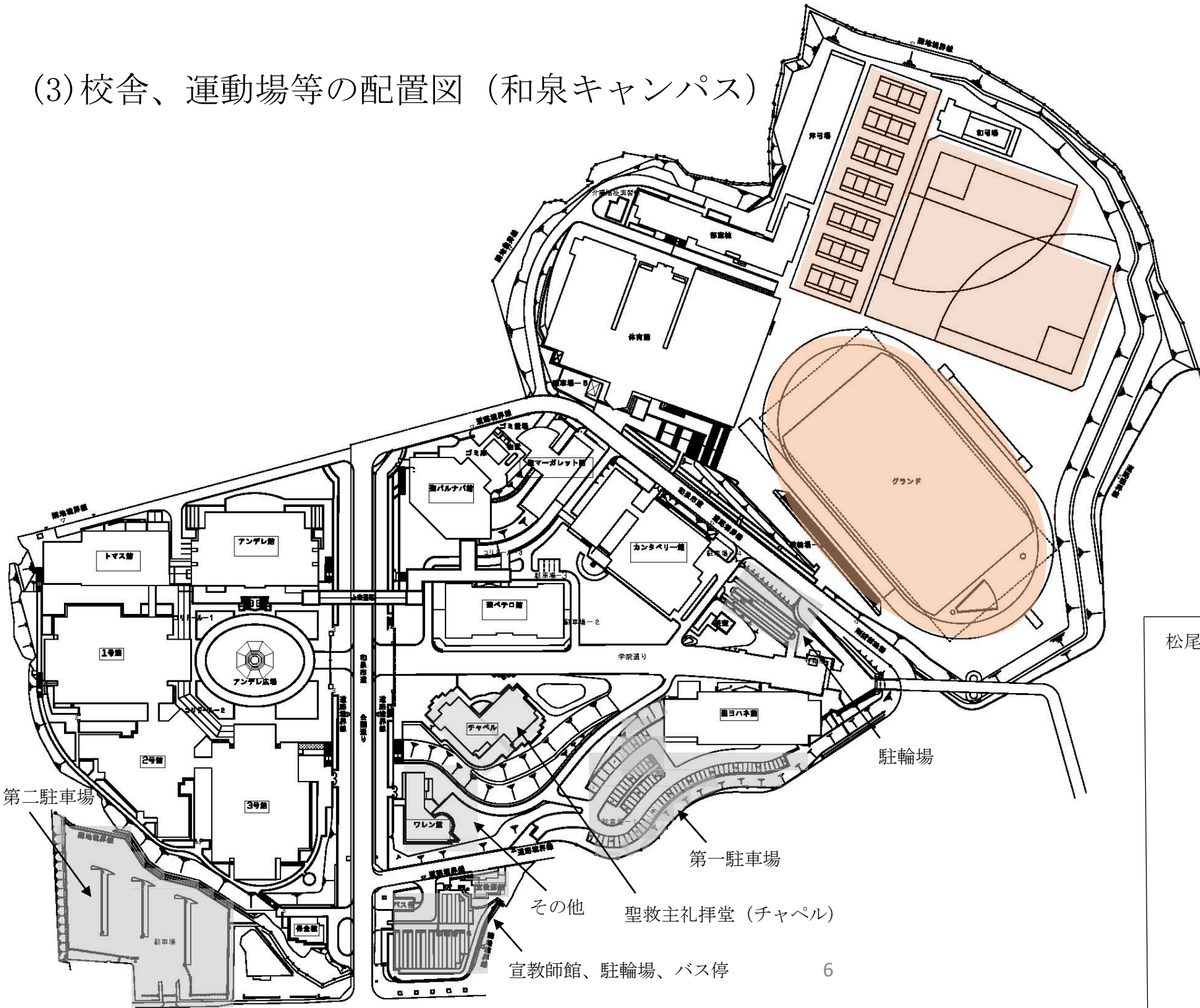
〔校舎面積〕

4階～9階 6365.00㎡ (ビジネスデザイン学部専用)

桃山学院中学校高等学校専用 グレー



### (3) 校舎、運動場等の配置図 (和泉キャンパス)



〔校地面積〕 170,038㎡

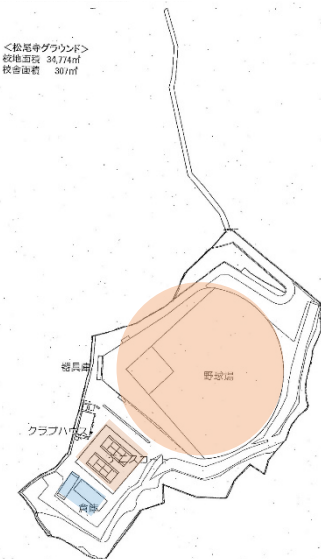
◇土地面積合計：184,443㎡	
◇校地面積不算入施設用地	グレー
・第一駐車場	2,915㎡
・第二駐車場	5,405㎡
・駐輪場	2,647㎡
・宣教師館	369㎡
・聖救主礼拝堂 (チャペル)	932㎡
・バス亭、進入路、その他	2,137㎡
合計	14,405㎡

\*ビジネスデザイン学部含む全学部学科で使用  
する運動場はオレンジ

〔校舎面積〕 55,550.4㎡  
和泉キャンパス全体

松尾寺グラウンド

<松尾寺グラウンド>  
総面積 34,7㎡  
校舎面積 30㎡



○桃山学院大学学則（案）

1959年(昭和34年)1月20日

認可

最近改訂 2021(令和3)年4月1日

第1章 総則

第1条 本大学は、キリスト教精神に基づいて人格を陶冶し、豊かな教養を体得させ、深い専門学術を研究、教授することにより、世界の市民として広く国際的に活躍し得る人材を養成し、国際社会、世界文化の発展に寄与することを目的とする。

第1条の2 本大学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自己点検および評価を実施し、その結果を公表する。

2 自己点検・評価の実施体制ならびに方法については、別に定める。

3 本大学は、教育研究活動等の状況について、定期的に第三者評価を受けるものとする。

第2条 本大学に次の学部および学科を置く。

経済学部経済学科

社会学部社会学科および社会福祉学科

経営学部経営学科

ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科

国際教養学部英語・国際文化学科

法学部法律学科

第3条 経済学部は、経済、産業および貿易に関する理論と実際について研究、教授し、国際社会に活躍し得る人材の育成につとめる。

2 社会学部は、社会学科においては人間関係の構成する組織の機構と機能に関する理論と実際について研究、教授し、社会福祉学科においては現代社会におけるさまざまな社会福祉問題を解決する理論と実際について研究、教授し、社会の繁栄と平和のため、国際社会に活躍し得る人材の育成につとめる。

3 経営学部は、経営および会計に関する理論と実際について研究、教授し、国際社会に活躍し得る人材の育成につとめる。

4 ビジネスデザイン学部は、「Society 5.0」を牽引するために必要となる幅広い知識・技能、思考力・判断力・表現力および高度なコミュニケーション力を備え、新たなビジネスを創造することにより社会課題を解決できる人材の育成につとめる。

5 国際教養学部は、実践的英語力の涵養につとめ、世界諸地域の文化と日本文化およびメディア

文化について研究、教授し、幅広い教養をもって国際社会に活躍し得る人材の育成につとめる。

- 6 法学部は、法律学について研究、教授し、基本的な法律知識と法的思考を身につけ、かつ豊かで幅広い教養を備え、広く国内外で活躍し得る人材の育成につとめる。

第4条 本大学に大学院を置く。

- 2 大学院学則は、別に定める。

第5条 本大学に学長を置く。

- 2 学長は、最高責任者として本大学を統督し、校務をつかさどる。
- 3 学長の選挙その他、学長に関し必要な事項は別に定める。

第5条の2 本大学に副学長を置く。

- 2 副学長は、学長を補佐し、学長の命を受けて校務をつかさどる。
- 3 副学長に関し必要な事項は別に定める。

第6条 本大学の各学部に学部長を置く。

- 2 学部長は、当該学部に関する校務をつかさどる。
- 3 学長が、学部運営上特に必要と認めた場合は、当該学科の校務をつかさどる学科長を置くことができる。

第7条 本大学に教授、准教授、講師、助教およびその他の職員を置く。

- 2 教職員に関する規程は、別に定める。

第8条 本大学の各学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、当該学部にも所属する教授、准教授および講師をもって構成する。
- 3 教授会に関することは、各学部教授会規則に定める。

第9条 本大学に大学評議会を置く。

- 2 大学評議会は、全学に関わる重要事項について審議し、および学長に意見を述べる。
- 3 大学評議会の構成および運営等に関することは、桃山学院大学評議会規則に定める。

第10条 学長は、教育研究に関する事項で全学に関わる重要な事項について決定を行うにあたり、審議を求め、意見を聴取するために、連合教授会を招集することができる。

- 2 連合教授会は、学長、副学長、ならびに各学部に所属する教授、准教授および講師をもって構成する。
- 3 連合教授会は、構成員の過半数の出席をもって成立し、学長が議長となる。連合教授会における議決は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。なお、審議案件について学長と連合教授会との間に意見の齟齬が生じたときは、学長は、当該案件について再度の考案を行ったうえであらためて連合教授会の審議に付し、その意見を十分に

参酌してこれを決するものとする。

4 学部教授会の要求があったときは、学長は、裁量により、連合教授会を招集することができる。

第11条 本大学における共通教育を適切かつ円滑に運営し、その充実・向上に資するため、共通教育機構を置く。

2 共通教育機構は共通教育機構規程に基づいて業務を遂行する。

第11条の2 本大学における地域連携事業に関わる業務を適切かつ円滑に運営し、その充実・向上に資するために地域連携機構を置く。

2 地域連携機構は地域連携機構規程に基づいて業務を遂行する。

第12条 本大学に附属図書館、総合研究所、国際センター、情報センター、エクステンション・センター、キリスト教センター、外国語教育センター、キャリアセンター、学習支援センター、教職センターおよびスポーツ教育センターを置く。

第13条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第14条 学年を分けて、次の2学期とする。

春学期 4月1日から9月30日まで

秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

第15条 休業日は、次のとおりとする。

1. 日曜日
2. 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
3. 本学創立記念日(4月15日)
4. 春季休業 3月21日から3月31日まで

夏季休業 7月21日から9月20日まで

冬季休業 12月21日から翌年1月7日まで

2 必要がある場合、学長は、教授会の審議を経て、前項の休業日を臨時に変更し、または臨時に休業日を定めることができる。

## 第2章 修業年限および定員

第16条 修業年限は、4年とする。

第17条 在学年数は、7年を超えることができない。

第18条 学生の入学定員および収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
経済学部	経済学科	360名	1,440名
社会学部	社会学科	260名	1,040名



	社会福祉学科	100名	400名
経営学部	経営学科	225名	900名
ビジネスデザイン学部	ビジネスデザイン学科	200名	800名
国際教養学部	英語・国際文化学科	275名	1,100名
法学部	法律学科	200名	800名

### 第3章 教育課程

第19条 経済学部経済学科の授業科目を、基礎教育科目、教養教育科目および学科教育科目(学科選択科目)に分け、各年次に配当する。経済学部経済学科中国ビジネスキャリアコースの授業科目を、基礎教育科目、教養教育科目および学科教育科目(学科選択科目およびコース教育科目)に分け、各年次に配当する。

- 2 各授業科目を必修科目および選択科目に分け、それぞれについて卒業に必要な単位数を、別表1(その1)および別表1(その2)に定め、在学期間全体を通じて履修せしめるものとする。
- 3 授業科目のうち、基礎教育科目および教養教育科目については、別表6(その1)および(その2)による。
- 4 教育職員養成課程、司書教諭課程、司書課程、博物館学芸員課程および日本語教員資格のために開設する授業科目は、別表1(その3)、別表7、別表8、別表9および別表10のとおりとする。これらの授業科目は、とくに定めたもののほかは随意科目とする。

第20条 社会学部社会学科および社会福祉学科の授業科目を、基礎教育科目、教養教育科目および学科教育科目(学科必修科目および学科選択科目)に分け、各年次に配当する。

- 2 各授業科目を必修科目および選択科目に分け、それぞれについて卒業に必要な単位数を、別表2(その1)および(その3)に定め、在学期間全体を通じて履修せしめるものとする。
- 3 授業科目のうち、基礎教育科目および教養教育科目については、別表6(その1)および(その2)による。
- 4 教育職員養成課程、司書教諭課程、司書課程、博物館学芸員課程および日本語教員資格のために開設する授業科目は、別表2(その2)、別表7、別表8、別表9および別表10のとおりとする。これらの授業科目は、とくに定めたもののほかは随意科目とする。
- 5 社会福祉士受験資格課程(社会福祉学科対象)のために開設する授業科目は、別表2(その5)のとおりとする。
- 6 精神保健福祉士受験資格課程(社会福祉学科対象)のために開設する授業科目は、別表2(その6)のとおりとする。

7 介護福祉士受験資格課程(社会福祉学科対象)のために開設する授業科目は、別表2(その7)のとおりとする。

第21条 経営学部経営学科の授業科目を、基礎教育科目、教養教育科目および学科教育科目(学科必修科目および学科選択科目)に分け、各年次に配当する。

2 各授業科目を必修科目および選択科目に分け、それぞれについて卒業に必要な単位数を、別表3(その1)に定め、在学期間全体を通じて履修せしめるものとする。

3 授業科目のうち、基礎教育科目、教養教育科目については、別表6(その1)および(その2)による。

4 教育職員養成課程、司書教諭課程、司書課程、博物館学芸員課程および日本語教員資格のために開設する授業科目は、別表3(その2)、別表7、別表8、別表9および別表10のとおりとする。これらの授業科目は、とくに定めたもののほかは随意科目とする。

第21条の2 ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科の授業科目を、ビジネスデザイン演習、ビジネスデザイン実践、ビジネスデザイン思考、ビジネス理論・知識、ドメイン、教養・文化およびインターンシップに分け、各年次に配当する。

2 各授業科目を必修科目および選択科目に分け、それぞれについて卒業に必要な単位数を、別表3(その3)に定め、在学期間全体を通じて履修せしめるものとする。

第22条 国際教養学部英語・国際文化学科の授業科目を、基礎教育科目、教養教育科目および学科教育科目(学科必修科目、学科選択科目および学科自由科目)に分け、各年次に配当する。

2 各授業科目を必修科目、選択科目および自由科目に分け、それぞれについて卒業に必要な単位数を、別表4(その1)に定め、在学期間全体を通じて履修せしめるものとする。

3 授業科目のうち、基礎教育科目および教養教育科目については、別表6(その1)および(その2)による。

4 共通自由科目および学科選択科目で、所定の単位を超えて修得したものについては、学科自由科目に繰り入れることができる。

5 教育職員養成課程、司書教諭課程、司書課程、博物館学芸員課程および日本語教員資格のために開設する授業科目は、別表4(その2)、別表7、別表8、別表9および別表10のとおりとする。これらの授業科目は、とくに定めたもののほかは随意科目とする。

第23条 法学部法律学科の授業科目を、基礎教育科目、教養教育科目および学科教育科目(学科選択科目)に分け、各年次に配当する。

2 各授業科目を必修科目および選択科目に分け、それぞれについて卒業に必要な単位数を、別表5(その1)に定め、在学期間全体を通じて履修せしめるものとする。

- 3 授業科目のうち、基礎教育科目、教養教育科目については、別表6(その1)および(その2)による。
- 4 教育職員養成課程、司書教諭課程、司書課程、博物館学芸員課程および日本語教員資格のために開設する授業科目は、別表5(その2)、別表7、別表8、別表9および別表10のとおりとする。これらの授業科目は、とくに定めたもののほかは随意科目とする。

第24条 1年間の授業時間は、定期試験等の期間を含めて35週とする。

第25条 学科目の授業を講義、演習(研究指導)、実習および実技に分け、その単位内容の計算は、次のとおりとする。

1. 講義による授業科目は、原則として1時間の講義に対し2時間の準備を必要とすることを考慮し、1学期毎週1時間15週の授業をもって1単位とする。
2. 外国語科目においては、毎週2時間の講義に対し1時間の準備を必要とすることを考慮し、1学期毎週2時間15週の授業をもって1単位とする。
3. 演習(研究指導)は、1時間の講義に対し2時間の準備を必要とすることを考慮し、1学期毎週1時間15週の授業をもって1単位とする。
4. 実習は、1学期毎週3時間15週、または1学期毎週2時間15週の授業をもって1単位とする。
5. 実技は、1学期毎週2時間15週の授業をもって1単位とする。

第26条 第19条、第20条、第21条、第21条の2、第22条、第23条に掲げる授業科目は、学年の始めにその開設を定め、これを公示する。

- 2 前項のほかに臨時に授業科目を増設し、もしくは特設講座ならびに公開講座を開くことがある。この場合にはその都度、単位数など取扱い方を定める。

第27条 教育職員免許法および同法施行規則に基づいて、教員免許状を受けようとする者は、別に定める履修規程により所定の単位を修得しなければならない。

2 各学部の各学科において取得できる教員免許状の種類は、次のとおりとする。

学部	学科	免許状の種類	
経済学部	経済学科	中一種免(社会)	高一種免(公民・地理歴史・商業・情報)
社会学部	社会学科	中一種免(社会)	高一種免(公民・地理歴史)
経営学部	経営学科	中一種免(社会)	高一種免(公民・地理歴史・商業)
国際教養学部	英語・国際文化学科	中一種免(英語)	高一種免(英語)
法学部	法律学科	中一種免(社会)	高一種免(公民・地理歴史)

第28条 司書教諭の資格を得ようとする者は、別表7に定める授業科目のうちから、所定の単位を

修得しなければならない。

第29条 司書および司書補の資格を得ようとする者は、別表8に定める授業科目のうちから、所定の単位を修得しなければならない。

第30条 博物館学芸員の資格を得ようとする者は、別表9に定める授業科目のうちから、所定の単位を修得しなければならない。

第31条 社会福祉士及び介護福祉士法に基づいて、社会福祉士受験資格を得ようとする者は、別表2(その5)に定める授業科目のうちから、所定の単位を修得しなければならない。

第31条の2 精神保健福祉士法に基づいて、精神保健福祉士受験資格を得ようとする者は、別表2(その6)に定める授業科目のうちから、所定の単位を修得しなければならない。

第31条の3 社会福祉士及び介護福祉士法に基づいて、介護福祉士受験資格を得ようとする者は、別表2(その7)に定める授業科目のうちから、所定の単位を修得しなければならない。

第32条 本学の認定する日本語教員資格を得ようとする者は、別表10に定める授業科目のうちから、所定の単位を修得しなければならない。

#### 第4章 履修、試験、卒業、学位

第33条 学生は、別に定める履修規程によって、授業科目を履修しなければならない。

第34条 学生は、登録のうえ履修した授業科目についてのみ試験を受けることができる。

第35条 各授業科目の単位修得の認定は、試験の方法による。

第36条 試験は、授業の完了した科目について春学期末および秋学期末においてこれを行う。ただし、春学期末および秋学期末のほかにおいてもこれを行うことができる。

第37条 試験の成績の判定は、S・A・B・C・Dとし、C以上をもって合格とする。

2 前項の試験の成績の判定に対して、グレードポイントを与える。

第38条 試験に合格した者には、その授業科目について所定の単位の修得を認める。

第39条 4年以上在学し、第19条、第20条、第21条、第21条の2、第22条、第23条に基づき、所定の単位を修得した者を卒業とし、卒業証書を授与する。

第40条 本学において教育上有益と認めるときは、他の大学または短期大学(外国の大学または短期大学を含む。)との協議により、学生が他の大学等の授業科目を履修することを認めることができる。

2 本学において教育上有益と認めるときは、学生が行う大学以外の教育施設等における学修およびその他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に他の大学または短期大学

において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 4 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った大学以外の教育施設等における学修およびその他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 5 本条第1項から第4項の定めにより、修得したものとみなしまたは与えることのできる単位数は編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては合わせて60単位を超えないものとする。
- 6 本条の実施に関し、必要な事項は別に定める。

第40条の2 本学が協定した外国の大学、または教授会が適当と判断する高等教育機関等への留学を希望する者は、所定の手続きを経て留学することができる。

- 2 本条により、外国の大学等に留学し、学修することを認められた者については、2カ年(4学期)を限度として、本学の在学期間に算入することができる。ただし、編入学生・転入学生については1カ年(2学期)を限度として、本学の在学期間に算入することができる。
- 3 留学期間中、外国の大学等において修得した単位の取り扱いについては、前条第5項の定めによるものとする。
- 4 本条の実施に関する細則は別に定める。

第41条 本学に学士入学・編入学・転入学した学生の既修得単位は、教授会の議を経て、本学の授業科目および単位数として認定することができる。

- 2 認定することができる科目・単位数等については別に定める。

第42条 第39条の卒業者には、次の区分に従い、学士の学位を授与する。

学士(経済学) 経済学部 経済学科

学士(社会学) 社会学部 社会学科

学士(社会福祉学) 社会学部 社会福祉学科

学士(経営学) 経営学部 経営学科

学士(ビジネスデザイン) ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科

学士(国際教養学) 国際教養学部 英語・国際文化学科

学士(法学) 法学部 法律学科

第5章 入学、休学、退学、転学および除籍等

第43条 入学の時期は、毎年4月とする。ただし、教育上有益な場合には、10月に入学を認めるこ

とができる。

第44条 入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)
3. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
5. 文部科学大臣の指定した者
6. 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者を含む。)
7. 相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本大学において認めた者

第45条 入学志願の際、まだ前条の資格を有しない者でも、その年の3月末日あるいは9月末日までにこれを有し得る見込みがあるときは、同年における入学に関してはこれを有するものとみなす。ただし、その期日までに資格を得ることができなかつたときは、その者に対する入学の許可は無効とする。

第46条 入学を志願する者は、所定の期日までに出願書類を提出しなければならない。

第47条 入学を志願する者は、大学学費等納付規程に定める入学検定料を納付しなければならない。

第48条 学長は、別段の定めある場合を除き、学部長の報告に基づき、入学試験の合格者を決定する。

第49条 入学試験の合格者は、所定の期日までに所定の書類を提出し、かつ、別に定める入学金、授業料その他の学費を納入しなければならない。

2 前項の規定により納入した入学金、授業料その他学費はこれを返還しない。

3 本学に入学を許可された者が、入学時に指定の期日までに入学辞退を申し出た場合は、前項の規定にかかわらず、その請求により入学金を除き授業料その他の納付金を返還する。

第50条 学長は、入学試験合格者にして、所定の手続を完了した者に対して、入学を許可する。

第51条 学生が疾病その他やむを得ない事由によって、3カ月以上修学を休止しようとするときは、

学長の許可を得て休学することができる。

2 疾病により休学しようとする者は、願書に医師の診断書を添えねばならない。

第52条 疾病のため、修学が適当でないと認められる学生に対しては、学長は休学を命ずることができる。

第53条 休学の期間は、1年間または半年間とする。ただし、特別の事由がある場合には引き続き休学を許可することができる。

2 休学の期間は、通算して3年を超えることができない。

第54条 休学期間は、在学年数に算入しない。

第55条 休学期間中に休学の事由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

2 復学の時期は、4月または10月とする。

第56条 学生が退学または転学しようとするときは、保証人連署で、その事由を具し学長に願い出て許可を受けなければならない。

第57条 学生が転学部または転学科を願い出たときは、選考のうえ、これを許可することがある。

第58条 本大学に編入学または転入学を願い出る者がいるときは、その資格を審査し、試験選考のうえ適宜入学を許可することがある。

2 前項により、入学を願い出ることのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

1. 大学において2年以上の課程を修了した者
2. 短期大学または高等専門学校を卒業した者
3. 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了もしくは卒業した者
4. 以上と同等以上の資格があると認められた者

3 第1項の入学については、第43条および第45条から第50条までの規定を準用する。

第59条 学生が次の各号の一に該当するときは、学長はその者を除籍する。

1. 第17条に規定する在学年数に達した者
2. 所定の授業料および施設費の納付を怠りその督促を受けても、なお、これを納付しない者
3. 第53条第2項に定める休学期間を超えて、なお修学できない者
4. 死亡した者

第60条 次に掲げる者が再入学を願い出るときは、選考のうえ学期の始めに限って入学を許可することができる。

1. 願いによって本大学を退学した者
2. 授業料および施設費の滞納のため除籍され、その後未納の授業料および施設費を納付した者

3. 前条第3号により除籍された者

第61条 本章に規定する処置は、教授会の意見を聴いて、学長が行う。

第6章 賞罰

第62条 学生にして学術優良または他の模範となる行為、業績があったときは、教授会の審議を経て学長がこれを表彰する。

第63条 学生にして本大学の諸規則に違反し、またはその本分に反する行為をしたときは、教授会の審議を経て学長がこれを懲戒する。

2 懲戒は、戒告、停学または退学とする。

3 停学は3カ月以上にわたるときは、その期間は第39条に規定する在学年数に算入しない。

4 退学は、次の各号の一に該当する者についてこれを行う。

1. 品行が不良で改善の見込みがないと認められた者

2. 学業を怠り、成業の見込みがないと認められた者

3. 正当な理由無くして出席常ならぬ者

4. 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第64条 学生が守るべき心得については、別に定める。

第7章 学費

第65条 授業料その他の学費の額は、理事会の定める付表1および付表1の2のとおりとする。

2 前項の納付については、別に定める大学学費等納付規程に従って納入しなければならない。

第66条 いったん納入した学費は、第49条第3項および大学学費等納付規程第5条ただし書きに該当する場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。

第8章 附属図書館、研究所、国際センター、情報センター、エクステンション・センター、キリスト教センター、外国語教育センター、キャリアセンター、学習支援センター、教職センター、スポーツ教育センター

第67条 附属図書館は、本大学の目的を達成するために必要な図書、記録、その他を収集保存し、これを本大学教職員および学生の研究および教育の用に供する。

2 附属図書館に関する細則は、別にこれを定める。

第68条 総合研究所は、人文・自然・社会の諸科学の専門分野の研究ならびに各分野の枠にとらわれず、相異なる専門分野間の共同研究・共同調査を推進し、もって新たな文化の創造と学術の進歩に貢献することを目的とする。

2 総合研究所に関する細則は、別にこれを定める。

第69条 国際センターは、国際人の育成、諸外国の高等教育機関との交流、留学生の派遣および



受け入れ等大学の国際化の促進を目的とする。

2 国際センターに関する細則は、別にこれを定める。

第70条 情報センターは、本大学情報システムの構築およびその管理、運営を行い、本大学の情報システムを用いた教育・研究および円滑な事務処理の促進を目的とする。

2 情報センターに関する細則は、別にこれを定める。

第71条 エクステンション・センターは、社会人の多様なニーズに応え、豊かな教養を培う種々の機会を提供し、広く社会に貢献することを目的とする。

2 エクステンション・センターに関する細則は、別にこれを定める。

第72条 キリスト教センターは、建学の精神に基づき、大学におけるキリスト教活動全般を推進し、大学の活性化のために努力することを目的とする。

2 キリスト教センターに関する細則は、別にこれを定める。

第73条 外国語教育センターは、本大学における正課の外国語教育を適切かつ円滑に実施することを目的とする。

2 外国語教育センターに関する細則は、別にこれを定める。

第73条の2 キャリアセンターは、本学学生のキャリア形成支援ならびに就職支援を行うことを目的とする。

2 キャリアセンターに関する細則は、別にこれを定める。

第73条の3 学習支援センターは、本学学生に対する学習支援・相談等の業務を推進し、本学の教育活動の充実に資することを目的とする。

2 学習支援センターに関する細則は、別にこれを定める。

第73条の4 教職センターは、本学学生に対する教職課程教育支援に関する業務を推進し、本学の教育活動の充実に資することを目的とする。

2 教職センターに関する細則は、別にこれを定める。

第73条の5 スポーツ教育センターは、本学学生に対する正課の健康・スポーツ教育支援および課外のスポーツ活動に関する業務を推進し、本学の教育活動の充実に資することを目的とする。

2 スポーツ教育センターに関する細則は、別にこれを定める。

## 第9章 厚生および保健

第74条 本大学に厚生および保健に関する諸施設を設ける。

第75条 教職員および学生の保健のため毎年1回健康診断を行う。

第76条 本大学に保健室を設け、教職員および学生の保健衛生に関する相談および治療にあたる。

## 第10章 科目等履修生、委託生、法学部特別研修生、外国人留学生および交換留学生

第77条 本大学所定の学科目中の1または数科目を履修しようとする者があるときは、当該学部学科生の学修に支障のない限り、選考のうえ、科目等履修生としてこれを許可することがある。

2 科目等履修生がその履修した学科目について試験を受け合格した場合、所定の単位を認定する。

第78条 科目等履修生については、本章に定めるもののほか、第39条および第42条を除き本学則の規定を準用する。

第79条 本大学所定の学科目中の1または数科目を学修せしめるため、公共団体その他の機関から学生を委託されたときは、選考のうえ、委託生としてこれを許可することがある。

2 委託生は、その履修した学科目について試験を受けることができる。

3 試験に合格した学科目については、願い出によってその証明書を交付する。

第80条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可することがある。

第80条の2 本学が協定する外国の大学に所属する学生が、当該の協定に基づく本学での学修を希望するときは、所定の手続きを経たうえ、交換留学生として受け入れることがある。

2 交換留学生がその履修した学科目について試験を受け合格した場合、所定の単位を認定する。

第81条 本学法学部を卒業した者で、特定の専任教員の下で特定の資格・就職試験を受けるために継続的に指導を受ける者につき、法学部特別研修生としてこれを許可することがある。

第82条 科目等履修生、委託生、法学部特別研修生、外国人留学生および交換留学生に関する細則は、別に定める。

## 第11章 奨学制度

第83条 学業および人格が特に優秀な学生に対しては、授業料の減免、給費または貸費の特典の1または2以上を与える。

2 前項の特典に関する細則は、別に定める。

## 第12章 学則の改廃

第84条 本学則の改廃は、大学評議会の審議を経て、その意見を聴いたうえで学長が常務理事会に提案して、理事会が決定する。ただし、学部の教育研究に関わる改廃については、大学評議会の審議に先立ち、教授会の審議を経て、学長がその意見を聴くものとする。

## 付 則

この学則は、1959年(昭和34年)4月1日からこれを施行する。

この学則は、1960年(昭和35年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、1963年(昭和38年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、1964年(昭和39年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1966年(昭和41年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1967年(昭和42年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1968年(昭和43年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1971年(昭和46年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1972年(昭和47年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1973年(昭和48年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1974年(昭和49年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1975年(昭和50年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1976年(昭和51年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1978年(昭和53年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1979年(昭和54年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1980年(昭和55年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1981年(昭和56年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1982年(昭和57年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1983年(昭和58年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1984年(昭和59年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1985年(昭和60年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1986年(昭和61年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1987年(昭和62年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1987年(昭和62年)7月10日に改訂を決議し、1987年(昭和62年)4月1日に遡ってこれを施行する。

この学則は、1988年(昭和63年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1989年(平成元年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1990年(平成2年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 この学則は、1991年(平成3年)4月1日からこれを改訂施行する。  
 ただし、第29条については、1990年度(平成2年度)入学生から適用する。

第18条の規定にかかわらず、1991年度(平成3年度)から1999年度(平成11年度)までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
経済学部	経済学科	480名

社会学部	社会学科	380名
経営学部	経営学科	380名
文学部	英語英米文学科	80名
	国際文化学科	130名
計		1450名

この学則は、1992年(平成4年)4月1日からこれを改訂施行する。

ただし、第42条については、1991年度(平成3年度)卒業生から適用する。

この学則は、1993年(平成5年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、1994年(平成6年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、1995年(平成7年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、1996年(平成8年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、1997年(平成9年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、1998年(平成10年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、1999年(平成11年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、2000年(平成12年)4月1日からこれを改訂施行する。

ただし、第18条の規定にかかわらず、2000年度(平成12年度)から2004年度(平成16年度)までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員				
		2000年度 (平成12年度)	2001年度 (平成13年度)	2002年度 (平成14年度)	2003年度 (平成15年度)	2004年度 (平成16年度)
経済学部	経済学科	470名	455名	445名	435名	420名
社会学部	社会学科	365名	355名	345名	330名	320名
	社会福祉学科	100名	100名	100名	100名	100名
経営学部	経営学科	370名	360名	345名	335名	325名
文学部	英語英米文学科	80名	80名	80名	80名	80名
	国際文化学科	130名	130名	130名	130名	130名
計		1515名	1480名	1445名	1410名	1375名

この学則は、2001年(平成13年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、2002年(平成14年)4月1日からこれを改訂施行する。

ただし、第18条の規定にかかわらず、2002年度(平成14年度)および2003年度(平成15年度)の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	
		2002年度(平成14年度)	2003年度(平成15年度)
経済学部	経済学科	370名	360名
社会学部	社会学科	270名	260名
	社会福祉学科	100名	100名
経営学部	経営学科	295名	280名
文学部	英語英米文学科	80名	80名
	国際文化学科	130名	130名
法学部	法律学科	200名	200名
計		1445名	1410名

この学則は、2003年(平成15年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、2004年(平成16年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、2005年(平成17年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、2005年(平成17年)10月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、2006年(平成18年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、2007年(平成19年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、2008年(平成20年)4月1日からこれを改訂施行する。

文学部英語英米文学科および文学部国際文化学科は、2008年4月より学生募集を停止する。

(文学部英語英米文学科および文学部国際文化学科の存続に関する経過措置について)

文学部英語英米文学科および国際文化学科は、変更後の学則の規定にかかわらず、2008年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則は、2009年(平成21年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、2010年(平成22年)4月1日からこれを改訂施行する。

ただし、付表1にかかわらず、2009年度(平成21年度)までに入学を許可された者(2010年度(平成22年度)から2011年度(平成23年度)までの間に編入学および転入学を許可された者を含む。)の学費は、次のとおりとする。

名称	学部	金額
入学金	全学部	300,000円

授業料	全学部	年額 700,000円
施設費	全学部	年額 300,000円

この学則は、2011年(平成23年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、2011年(平成23年)12月13日に改訂を決議し、2011年(平成23年)4月1日に遡ってこれを施行する。ただし、別表6(その3)および(その4)の「災害ボランティアⅠ」「災害ボランティアⅡ」「災害ボランティアⅢ」「災害ボランティアⅣ」については、2004年度(平成16年)入学生から適用する。

この学則は、2012年(平成24年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、2013年(平成25年)4月1日からこれを改訂施行する。

ただし、別表2(その6)の「ソーシャルワーク演習Ⅲ」については、2012年度(平成24年度)入学生から適用する。

この学則は、2014年(平成26年)4月1日からこれを改訂施行する。

ただし、別表2(その6)については、2012年度(平成24年度)入学生から適用する。

この学則は、2015年(平成27年)4月1日からこれを改訂施行する。

国際教養学部国際教養学科は、2015年(平成27年)4月より国際教養学部英語・国際文化学科と改称する。

(国際教養学部国際教養学科の存続に関する経過措置について)

国際教養学部国際教養学科は、変更後の学則の規定にかかわらず、2015年(平成27年)3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則は、2016年(平成28年)4月1日からこれを改訂施行する。

この学則は、2017(平成29)年4月1日からこれを改訂施行する。(科目に係る変更等、経営学部の編入学定員の入学定員への振替および学費スライド制に関する文言削除、ならびに教職センター設置による)

この学則は、2018(平成30)年4月1日からこれを改訂施行する。(経済学部・社会学部・国際教養学部の各編入学定員の入学定員への振替、地域連携機構の設置、教職センターに係る規定の追加および科目に係る変更等による)

この学則は、2019(平成31)年4月1日からこれを改訂施行する。(経営学部ビジネスデザイン学科の設置、国際教養学部のコース再編および科目に係る変更等、教育職員免許法の一部改正及び、教育職員免許法施行規則の改正に伴う改訂による)

この学則は、2020(令和2)年4月1日からこれを改訂施行する。(共通教育カリキュラムの再編および科目に係る変更等、ならびにスポーツ教育センター設置による)

この学則は、2021（令和3）年4月1日からこれを改訂施行する。（ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科開設による）

経営学部ビジネスデザイン学科は、2021（令和3）年4月より学生募集を停止する。

（経営学部ビジネスデザイン学科の存続に関する経過措置について）

経営学部ビジネスデザイン学科は、変更後の学則の規定にかかわらず、2021（令和3）年3月31日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

別表1(その1)

経済学部経済学科教育科目

類別		授業科目(単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
基礎教育科目		別表6(その1)参照			6単位以上
教養教育科目		別表6(その2)参照			16単位以上
学科教育科目	学科選択科目	入門演習(2)	基礎演習(2)	コース導入講義(2)	66単位以上
		コース演習Ⅰ(2)	コース演習Ⅱ(2)	経済基礎A(2)	
		経済基礎B(2)	一般経済史Ⅰ(2)	一般経済史Ⅱ(2)	
		経済学のための数学入門(2)	世界経済事情Ⅰ(2)	世界経済事情Ⅱ(2)	
		経済学史Ⅰ(2)	経済学史Ⅱ(2)	日本経済史Ⅰ(2)	
		日本経済史Ⅱ(2)	西洋経済史Ⅰ(2)	西洋経済史Ⅱ(2)	
		経済情報処理論Ⅰ(2)	経済情報処理論Ⅱ(2)	法情報学(4)	
		統計学総論Ⅰ(2)	統計学総論Ⅱ(2)	日本経済論Ⅰ(2)	
		日本経済論Ⅱ(2)	社会思想史Ⅰ(2)	社会思想史Ⅱ(2)	

日本近代史 I (2)	日本近代史 II (2)	簿記(4)
経済学特講(1) ～(4)	経済学部生の ための英語 I (2)	経済学部生の ための英語 II (2)
アジアで学ぶ 英語とビジネス I (2)	アジアで学ぶ 英語とビジネス II (4)	アジアで学ぶ 英語とビジネス III (2)
English Camp(2)	アジアビジネス インターン シップ I (2)	コンピュータ 論 I (2)
コンピュータ 論 II (2)	経済情報処理 演習 I a(2)	経済情報処理 演習 I b(2)
ファイナンス I (2)	ファイナンス II (2)	ミクロ経済学 (4)
マクロ経済学 (4)	経済原論(4)	理論経済学 I (2)
理論経済学 II (2)	経済成長論 I (2)	経済成長論 II (2)
景気循環論 I (2)	景気循環論 II (2)	計量経済学 I (2)
計量経済学 II (2)	国民経済計算 論 I (2)	国民経済計算 論 II (2)
経済政策 I (2)	経済政策 II (2)	現代資本主義 論(2)
財政学 I (2)	財政学 II (2)	金融論 I (2)
金融論 II (2)	労働経済論 I (2)	労働経済論 II (2)
経済数学 I (2)	経済数学 II (2)	経済統計 I (2)
経済統計 II (2)	IT活用a(2)	IT活用b(2)



経済情報処理 演習Ⅱa(2)	経済情報処理 演習Ⅱb(2)	人工市場論Ⅰ (2)
人工市場論Ⅱ (2)	経済地理学Ⅰ (2)	経済地理学Ⅱ (2)
地方財政論Ⅰ (2)	地方財政論Ⅱ (2)	経済開発論Ⅰ (2)
経済開発論Ⅱ (2)	公共経済論Ⅰ (2)	公共経済論Ⅱ (2)
環境経済論Ⅰ (2)	環境経済論Ⅱ (2)	中小企業論Ⅰ (2)
中小企業論Ⅱ (2)	地域経済論Ⅰ (2)	地域経済論Ⅱ (2)
産業組織論Ⅰ (2)	産業組織論Ⅱ (2)	農業経済論Ⅰ (2)
農業経済論Ⅱ (2)	産業構造論Ⅰ (2)	産業構造論Ⅱ (2)
銀行論Ⅰ(2)	銀行論Ⅱ(2)	現代技術論Ⅰ (2)
現代技術論Ⅱ (2)	観光経済論(2)	都市政策論Ⅰ (2)
都市政策論Ⅱ (2)	比較経済体制 論Ⅰ(2)	比較経済体制 論Ⅱ(2)
国際金融論(2)	国際経済論Ⅰ (2)	国際経済論Ⅱ (2)
アジア産業論 Ⅰ(2)	アジア産業論 Ⅱ(2)	アジア経済論 Ⅰ(2)
アジア経済論 Ⅱ(2)	アジア共同体 論(2)	ヨーロッパ経 済論Ⅰ(2)
ヨーロッパ経 済論Ⅱ(2)	アメリカ経済 論Ⅰ(2)	アメリカ経済 論Ⅱ(2)

中国経済論 I (2)	中国経済論 II (2)	日中ビジネス 論 (2)
中国企業論 (2)	中国貿易投資 事情 (2)	現代中国政治 (2)
日中関係論 (2)	中国史 I (2)	中国史 II (2)
現代中国社会 (2)	中国の自然と 地域 (2)	中国ビジネス インターンシ ップ (8)
アジアビジネ スインターン シップ (2)～ (8)	外国書講読 (4)	コース特講 (2) ～ (4)
演習Ⅲ・Ⅳ (8)	経営学史A (2)	経営学史B (2)
経営管理論 (4)	生産管理論 A (2)	生産管理論 B (2)
保険論 (2)	国際経営論 A (2)	国際経営論 B (2)
ネットビジネ スA (2)	ネットビジネ スB (2)	情報ネットワ ーク法 (2)
情報管理 (2)	税務会計論入 門 (2)	税務戦略論 (2)
産業社会学 (4)	産業心理学 (4)	社会政策総論 (4)
環境社会学 (2)	地域資源論 (2)	会社法A (2)
会社法B (2)	手形法小切手 法 (2)	支払決済法 (2)
商取引法 I (2)	商取引法 II (2)	経済法A (2)
経済法B (2)	行政法総論 A (2)	行政法総論 B (2)
行政法各論	行政法各論	情報システム

	A(2)	B(2)	論 I (2)
	情報システム 論 II (2)	データベース 実習(2)	ネットワーク 論(2)
	ネットワーク 実習(2)	マルチメディ ア論(2)	マルチメディ ア実習(2)
	情報と職業 I (2)	情報と職業 II (2)	情報サービス 応用(2)
	経済学特別講 義(2)～(4)		

(履修上の注意)

- ・「経済学部生のための英語 I・II」「アジアで学ぶ英語とビジネス I・II・III」「English Camp」「アジアビジネスインターンシップ I」「コンピュータ論 I・II」「経済情報処理演習 Ia・Ib」「ファイナンス I・II」のうち4単位を修得しなければならない。
- ・「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済原論」のうち8単位を修得しなければならない。

別表1(その2)

経済学部経済学科中国ビジネスキャリアコース教育科目

類別		授業科目(単位)			卒業必要単位数(合計 124単位以上)
基礎教育科目		別表6(その1)参照			10単位以上
教養教育科目		別表6(その2)参照			16単位以上
学科教育科 目	学科選択科目	経済基礎 A(2)	経済基礎 B(2)	一般経済史 I(2)	24単位以上
		一般経済史 II(2)	経済学のため の数学入門(2)	世界経済事 情 I(2)	
		世界経済事 情 II(2)	経済学史 I (2)	経済学史 II (2)	
		日本経済史 I(2)	日本経済史 II(2)	西洋経済史 I(2)	
		西洋経済史	経済情報処	経済情報処	

II (2)	理論 I (2)	理論 II (2)
法情報学 (4)	経済情報処 理演習 I a (2)	経済情報処 理演習 I b (2)
統計学総論 I (2)	統計学総論 II (2)	日本経済論 I (2)
日本経済論 II (2)	社会思想史 I (2)	社会思想史 II (2)
日本近代史 I (2)	日本近代史 II (2)	簿記(4)
経済学特講 (2)～(4)	経済学入門 (4)(編入生 用)	ミクロ経済 学(4)
マクロ経済 学(4)	経済原論 (4)	理論経済学 I (2)
理論経済学 II (2)	経済成長論 I (2)	経済成長論 II (2)
景気循環論 I (2)	景気循環論 II (2)	計量経済学 I (2)
計量経済学 II (2)	国民経済計 算論 I (2)	国民経済計 算論 II (2)
経済政策 I (2)	経済政策 II (2)	現代資本主 義論(2)
財政学 I (2)	財政学 II (2)	金融論 I (2)
金融論 II (2)	労働経済論 I (2)	労働経済論 II (2)
経済数学 I (2)	経済数学 II (2)	ファイナン ス I (2)
ファイナン	経済統計 I	経済統計 II

スⅡ(2)	(2)	(2)
コンピュー タ利用Ⅱ a(2)	コンピュー タ利用Ⅱ b(2)	経済情報処 理演習Ⅱ a(2)
経済情報処 理演習Ⅱ b(2)	人工市場論 Ⅰ(2)	人工市場論 Ⅱ(2)
経済地理学 Ⅰ(2)	経済地理学 Ⅱ(2)	地方財政論 Ⅰ(2)
地方財政論 Ⅱ(2)	経済開発論 Ⅰ(2)	経済開発論 Ⅱ(2)
公共経済論 Ⅰ(2)	公共経済論 Ⅱ(2)	環境経済論 Ⅰ(2)
環境経済論 Ⅱ(2)	中小企業論 Ⅰ(2)	中小企業論 Ⅱ(2)
地域経済論 Ⅰ(2)	地域経済論 Ⅱ(2)	産業組織論 Ⅰ(2)
産業組織論 Ⅱ(2)	農業経済論 Ⅰ(2)	農業経済論 Ⅱ(2)
産業構造論 Ⅰ(2)	産業構造論 Ⅱ(2)	銀行論Ⅰ (2)
銀行論Ⅱ (2)	現代技術論 Ⅰ(2)	現代技術論 Ⅱ(2)
観光経済論 (2)	都市政策論 Ⅰ(2)	都市政策論 Ⅱ(2)
比較経済体 制論Ⅰ(2)	比較経済体 制論Ⅱ(2)	国際金融論 (2)
国際経済論 Ⅰ(2)	国際経済論 Ⅱ(2)	アジア産業 論Ⅰ(2)
アジア産業	アジア経済	アジア経済

論Ⅱ(2)	論Ⅰ(2)	論Ⅱ(2)
アジア共同体論(2)	ヨーロッパ経済論Ⅰ(2)	ヨーロッパ経済論Ⅱ(2)
アメリカ経済論Ⅰ(2)	アメリカ経済論Ⅱ(2)	外国書講読(4)
経営学史A(2)	経営学史B(2)	経営管理論(4)
生産管理論A(2)	生産管理論B(2)	保険論(2)
国際経営論A(2)	国際経営論B(2)	ネットビジネスA(2)
ネットビジネスB(2)	情報ネットワーク法(2)	情報管理(2)
税務会計論入門(2)	税務戦略論(2)	産業社会学(4)
産業心理学(4)	社会政策総論(4)	環境社会学(2)
地域資源論(2)	会社法A(2)	会社法B(2)
手形法小切手法(2)	支払決済法(2)	商取引法Ⅰ(2)
商取引法Ⅱ(2)	経済法A(2)	経済法B(2)
行政法総論A(2)	行政法総論B(2)	行政法各論A(2)
行政法各論B(2)	コンピュータ論Ⅰ(2)	コンピュータ論Ⅱ(2)
情報システム	情報システム	データベース

		ム論Ⅰ(2)	ム論Ⅱ(2)	ス実習(2)		
		ネットワーク論(2)	ネットワーク実習(2)	マルチメディア論(2)		
		マルチメディア実習(2)	情報と職業Ⅰ(2)	情報と職業Ⅱ(2)		
		情報サービス応用(2)	経済学特別講義(2)～(4)			
コース 教育科目	コース 必修科目	コース演習Ⅰ(4)	コース演習Ⅱ(4)	コース演習Ⅲ(4)	24単位	40単位以上
		コース演習Ⅳ(4)	中国ビジネスインターンシップ(8)			
コース 選択科目		中国経済論Ⅰ(2)	中国経済論Ⅱ(2)	日中ビジネス論(2)	16単位以上	
		日中ビジネス実務(2)	中国企業論(2)	中国貿易投資事情(2)		
		現代中国政治(2)	日中関係論(2)	中国史Ⅰ(2)		
		中国史Ⅱ(2)	現代中国社会(2)	中国の自然と地域(2)		
		中国体験特講(2)～(4)	中国研修(2)～(4)	CBCC特講(2)～(4)		

別表1(その3)

経済学部経済学科教職課程科目

類別	授業科目(単位)		
教育の基礎的理解に関する科目・道徳、	教職概論(2)	教育学概論(2)	教育心理学(2)
総合的な学習の時間等の指導法及び生	特別支援教育(1)	教育法規(2)	教育課程論(2)

徒指導、教育相談等に関する科目・教育実践に関する科目		道徳教育の指導法(2)	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2)	教育方法学(2)
		生徒・進路指導論(2)	教育相談(2)	教育実習Ⅰ(3)
		教育実習Ⅱ(2)	教職実践演習(中・高)(2)	
教科及び教科の指導法に関する科目	中学社会	日本史(4)	外国史(4)	地理学概論(4)
		地誌(4)	法学A(2)	法学B(2)
		政治学A(2)	政治学B(2)	社会学A(2)
		社会学B(2)	経済学A(2)	経済学B(2)
		倫理学(4)	哲学(4)	社会科・地歴科教育法(4)
		社会科・公民科教育法(4)		
		その他履修規程で定められた関連科目		
	高校公民	法学A(2)	法学B(2)	政治学A(2)
		政治学B(2)	社会学A(2)	社会学B(2)
		経済学A(2)	経済学B(2)	倫理学(4)
		心理学A(2)	心理学B(2)	哲学(4)
		社会科・公民科教育法(4)		
		その他履修規程で定められた関連科目		
	高校地歴	日本史(4)	外国史(4)	東洋史(4)
		地理学概論(4)	地誌(4)	社会科・地歴科教育法(4)
		その他履修規程で定められた関連科目		
	高校商業	職業指導(4)	簿記(4)	ファイナンスⅠ(2)
		商業科教育法(4)		
		その他履修規程で定められた関連科目		



高校情報	法情報学(4)	経済情報処理論 I (2)	経済情報処理論 II (2)
	経済情報処理演習 I a(2)	情報システム論 I (2)	情報システム論 II (2)
	データベース実習 (2)	ネットワーク論(2)	ネットワーク実習 (2)
	マルチメディア論 (2)	マルチメディア実 習(2)	情報と職業 I (2)
	情報と職業 II (2)	情報科教育法(4)	
	その他履修規程で定められた関連科目		
大学独自に設定する科目	人権教育論A(2)	人権教育論B(2)	道徳教育の指導法 (2)
	教育社会学A(2)	教育社会学B(2)	教育情報メディア 活用論(2)
	ボランティア論(2)	総合人間学A(2)	総合人間学B(2)
	学校図書館制度・経 営論(2)	学習情報メディア 組織化論(2)	学校図書館利用論 (2)
	児童生徒の発達と 読書(2)		
	・所定の単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に 関する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目」 「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、 教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」		

別表2(その1)

社会学部社会学科教育科目

類別	授業科目(単位)	卒業必要単位 数(合計124単 位以上)
基礎教育科目	別表6(その1)参照	10単位以上
教養教育科目	別表6(その2)参照	16単位以上

学科教育科目	学科必修科目	社会学基礎講義(4)	社会調査A(2)		6単位
	学科選択科目	社会学科基礎演習(2)	演習2(2)	演習(8)	56単位以上
		社会調査B(2)	データ解析実習(4)	社会調査実習(4)	
		社会調査演習(8)	社会調査特講(2)	ピア・インテグレーター特殊演習(2)	
		社会学原論(4)	社会学史(4)	現代社会論(4)	
		社会心理学(2)	メディア・コミュニケーション論(2)	生活文化論(4)	
		家族社会学(2)	現代家族論(2)	ジェンダー論(2)	
		働き方とジェンダー(2)	公的扶助論B(2)	保険論(2)	
		地域社会学(4)	都市社会学(4)	都市政策論Ⅰ(2)	
		都市政策論Ⅱ(2)	地域福祉論B(2)	文化社会学(2)	
		モダニティの社会学(2)	スポーツ社会学(2)	身体文化論(2)	
		文化人類学A(2)	文化人類学B(2)	宗教社会学(2)	
		宗教学概論(2)	教育社会学A(2)	教育社会学B(2)	
		心理学A(2)	心理学B(2)	社会病理学(4)	
		比較社会論(4)	産業社会学(4)	産業心理学(4)	
		労働経済論(4)	労使関係論(4)	社会階層論(2)	

格差社会論(2)	社会問題論(2)	モラルの社会学(2)
経済社会学(2)	社会政策総論(4)	社会保障論B(2)
社会運動論(2)	市民社会とメディア(2)	ボランティア論(2)
国際社会福祉論(2)	コミュニケーション論(2)	メディア史(2)
マス・コミュニケーション論(2)	広報の社会学(2)	デザイン文化論(2)
視覚メディア論(2)	マス・コミュニケーション特講(2)～(4)	音楽社会学(2)
映像メディア論A(2)	映像メディア論B(2)	マルチメディア文化論A(2)
マルチメディア文化論B(2)	メディアリテラシー論A(2)	メディアリテラシー論B(2)
世界のメディアA(2)	世界のメディアB(2)	マルチメディア文化実習(4)
映像制作実習(4)	メディア制作実習(2)～(4)	メディア文化特論(2)～(4)
情報社会論(2)	デジタル・メディア論(2)	日本文化論(4)
キリスト教学A(2)	キリスト教学B(2)	環境問題概論(4)
環境社会学(2)	地域資源論(2)	環境経済論Ⅰ(2)
環境経済論Ⅱ(2)	科学思想史(4)	社会学特講(2)～(4)

	現代生活論特 講(2)～(4)	国際社会特講 (2)～(4)	現代文化特講 (2)～(4)
	外国書講読(4)		

別表2(その2)

社会学部社会学科教職課程科目

類別		授業科目(単位)		
教育の基礎的理解に関する科目・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目・教育実践に関する科目		教職概論(2)	教育学概論(2)	教育心理学(2)
		特別支援教育(1)	教育法規(2)	教育課程論(2)
		道徳教育の指導法(2)	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2)	教育方法学(2)
		生徒・進路指導論(2)	教育相談(2)	教育実習Ⅰ(3)
	教育実習Ⅱ(2)	教職実践演習(中・高)(2)		
教科及び教科の指導法に関する科目	中学社会	日本史(4)	外国史(4)	地理学概論(4)
		地誌(4)	法学A(2)	法学B(2)
		政治学A(2)	政治学B(2)	社会学基礎講義(4)
		社会学A(2)	社会学B(2)	経済学A(2)
		経済学B(2)	倫理学(4)	哲学(4)
		社会科・地歴科教育法(4)	社会科・公民科教育法(4)	
		その他履修規程で定められた関連科目		
	高校公民	法学A(2)	法学B(2)	政治学A(2)
		政治学B(2)	社会学基礎講義(4)	社会調査A(2)
		社会学A(2)	社会学B(2)	経済学A(2)
		経済学B(2)	倫理学(4)	心理学A(2)
		心理学B(2)	哲学(4)	社会科・公民科教育法(4)
		その他履修規程で定められた関連科目		

	高校地歴	日本史(4)	外国史(4)	東洋史(4)
		地理学概論(4)	地誌(4)	社会科・地歴科教育 法(4)
		その他履修規程で定められた関連科目		
大学独自に設定する科目		人権教育論A(2)	人権教育論B(2)	道德教育の指導法 (2)
		教育社会学A(2)	教育社会学B(2)	教育情報メディア 活用論(2)
		ボランティア論(2)	総合人間学A(2)	総合人間学B(2)
		学校図書館制度・経 営論(2)	学習情報メディア 組織化論(2)	学校図書館利用論 (2)
		児童生徒の発達と 読書(2)		
		・ 所定の単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に 関する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目」 「道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、 教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」		

別表2(その3)

社会学部社会福祉学科教育科目

類別		授業科目(単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
基礎教育科目		別表6(その1)参照			6単位以上
教養教育科目		別表6(その2)参照			16単位以上
学科教育科目	学科必修科目	社会福祉原論A(2)			4単位
		社会福祉原論B(2)			
	学科選択科目	社会福祉学基 礎演習(2)	実習準備講座 A(1)	実習準備講座 B(1)	58単位以上
		ソーシャルワ ーク論ⅠA(2)	ソーシャルワ ーク論ⅠB(2)	ソーシャルワ ーク論ⅡA(2)	
	ソーシャルワ ーク論ⅡB(2)	ソーシャルワ ーク論ⅡB(2)	ソーシャルワ ーク論ⅡB(2)		

ーク論ⅡB(2)	ーク論ⅢA(2)	ーク論ⅢB(2)
ソーシャルワ ーク演習Ⅰ A(1)	ソーシャルワ ーク演習Ⅰ B(1)	ソーシャルワ ーク演習Ⅱ A(1)
ソーシャルワ ーク演習Ⅱ B(1)	ソーシャルワ ーク演習Ⅲ(1)	ソーシャルワ ーク実習指導 Ⅰ(1)
ソーシャルワ ーク実習指導 Ⅱ(2)	地域福祉論 A(2)	地域福祉論 B(2)
医学入門A(2)	高齢者福祉論 A(2)	高齢者福祉論 B(2)
高齢者福祉論 C(2)	障害者福祉論 A(2)	障害者福祉論 B(2)
子ども家庭福 祉論A(2)	社会保障論 A(2)	社会保障論 B(2)
公的扶助論 A(2)	公的扶助論 B(2)	スピリチュア ルケアA(2)
スピリチュア ルケアB(2)	精神医学A(2)	精神医学B(2)
精神保健学 A(2)	精神保健学 B(2)	精神科リハビ リテーション 学A(2)
精神科リハビ リテーション 学B(2)	精神保健福祉 論A(2)	精神保健福祉 論B(2)
精神保健福祉 論C(2)	精神保健福祉 援助技術総論 (2)	精神保健福祉 援助技術各論 A(2)
精神保健福祉 援助技術各論	精神保健福祉 援助演習A(1)	精神保健福祉 援助演習B(1)

B(2)		
精神保健福祉 援助実習指導 I(2)	精神保健福祉 援助実習指導 II(2)	人間関係とコ ミュニケーシ ョン(4)
介護の基本 I A(2)	介護の基本 I B(2)	介護の基本 II A(2)
介護の基本 II B(2)	介護の基本 III A(2)	介護の基本 III B(2)
コミュニケー ション技術 A(1)	コミュニケー ション技術 B(1)	生活支援技術 I(2)
生活支援技術 II(2)	生活支援技術 III(2)	生活支援技術 IV(2)
生活支援技術 V(2)	介護過程 I(2)	介護過程 II A(2)
介護過程 II B(2)	介護過程 III(2)	介護総合演習 I A(1)
介護総合演習 I B(1)	介護総合演習 II A(1)	介護総合演習 II B(1)
発達と老化の 理解A(2)	発達と老化の 理解B(2)	認知症の理解 A(2)
認知症の理解 B(2)	障害の理解 A(2)	障害の理解 B(2)
医療的ケア A(1)	医療的ケア B(1)	社会福祉学専 門演習(4)
社会福祉学卒 論演習(4)	国際社会福祉 論(2)	ボランティア 論(2)
ボランティア コーディネー ト論(2)	社会福祉計画 論A(2)	保健医療論(2)

社会福祉サー ビス論A(2)	社会福祉サー ビス論B(2)	人間発達論 A(2)
人間発達論 B(2)	介護演習(1)	臨床心理学 A(2)
臨床心理学 B(2)	レクリエーシ ョンワーク A(2)	レクリエーシ ョンワーク B(2)
野外レクリエ ーション実習 (1)	障害者スポー ツ論A(2)	障害者スポー ツ論B(2)
社会福祉フィ ールドワーク (2)	福祉レクリエ ーション論(2)	福祉レクリエ ーション援助 論(2)
福祉レクリエ ーション演習 A(1)	福祉レクリエ ーション演習 B(1)	福祉レクリエ ーション実習 指導(2)
福祉レクリエ ーション実習 (2)	スクールソー シャルワーク 論(2)	スクールソー シャルワーク 演習(1)
スクールソー シャルワーク 実習指導(2)	スクールソー シャルワーク 実習(2)	就労支援サー ビス論(1)
更生保護論(1)	こころとから だ(2)	キリスト教史 A(2)
キリスト教史 B(2)	社会福祉特講 (2)～(4)	社会調査A(2)
社会調査B(2)	社会運動論(2)	市民社会とメ ディア(2)
現代社会論(4)	社会心理学(2)	メディア・コミ ュニケーショ ン論(2)



	生活文化論(4)	家族社会学(2)	現代家族論(2)
	ジェンダー論 (2)	働き方とジェ ンダー(2)	都市社会学(4)
	文化社会学(2)	モダニティの 社会学(2)	スポーツ社会 学(2)
	身体文化論(2)	教育社会学 A(2)	教育社会学 B(2)
	音楽社会学(2)	コミュニケー ション論(2)	メディア史(2)
	地方財政論 I (2)	地方財政論 II (2)	地域経済論 I (2)
	地域経済論 II (2)	経営管理論(4)	

別表2(その4) 削除

別表2(その5)

社会福祉士受験資格課程科目

授業科目(単位)		
医学入門A(2)	心理学A(2)	社会学A(2)
社会福祉原論A(2)	社会福祉原論B(2)	社会調査A(2)
ソーシャルワーク論 I A(2)	ソーシャルワーク論 I B(2)	ソーシャルワーク論 II A(2)
ソーシャルワーク論 II B(2)	ソーシャルワーク論 III A(2)	ソーシャルワーク論 III B(2)
地域福祉論A(2)	地域福祉論B(2)	社会福祉計画論A(2)
社会福祉サービス論A(2)	社会保障論A(2)	社会保障論B(2)
高齢者福祉論A(2)	高齢者福祉論B(2)	障害者福祉論A(2)
子ども家庭福祉論A(2)	公的扶助論A(2)	保健医療論(2)
就労支援サービス論(1)	法学A(2)	更生保護論(1)
ソーシャルワーク演習 I A(1)	ソーシャルワーク演習 I B(1)	ソーシャルワーク演習 II A(1)
ソーシャルワーク演習 II B(1)	ソーシャルワーク演習 III(1)	ソーシャルワーク実習指導 I(1)
ソーシャルワーク実習指導 II (2)	ソーシャルワーク実習 I(4)	

別表2(その6)

## 精神保健福祉士受験資格課程科目

授業科目(単位)		
医学入門A(2)	心理学A(2)	社会学A(2)
社会福祉原論A(2)	社会福祉原論B(2)	地域福祉論A(2)
地域福祉論B(2)	社会保障論A(2)	社会保障論B(2)
公的扶助論A(2)	社会福祉計画論A(2)	保健医療論(2)
法学A(2)	障害者福祉論A(2)	精神医学A(2)
精神医学B(2)	精神保健学A(2)	精神保健学B(2)
ソーシャルワーク論ⅠA(2)	ソーシャルワーク論ⅠB(2)	精神保健福祉援助技術総論(2)
精神保健福祉援助技術各論A(2)	精神保健福祉援助技術各論B(2)	精神科リハビリテーション学 A(2)
精神科リハビリテーション学 B(2)	精神保健福祉論A(2)	精神保健福祉論B(2)
精神保健福祉論C(2)	ソーシャルワーク演習ⅠA(1)	ソーシャルワーク演習ⅠB(1)
ソーシャルワーク演習ⅡA(1)	ソーシャルワーク演習ⅡB(1)	ソーシャルワーク演習Ⅲ(1)
精神保健福祉援助演習A(1)	精神保健福祉援助演習B(1)	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ(2)
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ (2)	精神保健福祉援助実習Ⅰ(2)	精神保健福祉援助実習Ⅱ(1)
精神保健福祉援助実習Ⅲ(1)		

別表2(その7)

## 介護福祉士受験資格課程科目

授業科目(単位)		
社会福祉原論A(2)	社会福祉原論B(2)	人間関係とコミュニケーション (4)
障害者福祉論A(2)	地域福祉論A(2)	子ども家庭福祉論A(2)
社会学A(2)	社会学B(2)	介護の基本ⅠA(2)
介護の基本ⅠB(2)	介護の基本ⅡA(2)	介護の基本ⅡB(2)
介護の基本ⅢA(2)	介護の基本ⅢB(2)	コミュニケーション技術A(1)
コミュニケーション技術B(1)	生活支援技術Ⅰ(2)	生活支援技術Ⅱ(2)

生活支援技術Ⅲ(2)	生活支援技術Ⅳ(2)	生活支援技術Ⅴ(2)
介護過程Ⅰ(2)	介護過程ⅡA(2)	介護過程ⅡB(2)
介護過程Ⅲ(4)	介護総合演習ⅠA(1)	介護総合演習ⅠB(1)
介護総合演習ⅡA(1)	介護総合演習ⅡB(1)	介護実習Ⅰ(2)
介護実習Ⅱ(4)	介護実習Ⅲ(4)	発達と老化の理解A(2)
発達と老化の理解B(2)	認知症の理解A(2)	認知症の理解B(2)
障害の理解A(2)	障害の理解B(2)	こころとからだ(2)
医学入門A(2)	心理学A(2)	心理学B(2)
医療的ケアA(1)	医療的ケアB(1)	

別表3(その1)

経営学部経営学科教育科目

類別		授業科目(単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
基礎教育科目		別表6(その1)参照			6単位以上
教養教育科目		別表6(その2)参照			16単位以上
学科教育科目	学科必修科目	大学生生活入門セミナー(2)			2単位
	学科選択科目	経営学基礎(2)	情報イノベーション基礎(2)	会計学基礎(2)	72単位以上
	簿記(2)	基礎演習(2)	演習(8)		
	エルダー演習A(1)	エルダー演習B(1)	エルダー演習C(1)		
	エルダー演習D(1)	経営学総論(4)	経営管理論(4)		
	経営学史A(2)	経営学史B(2)	組織倫理論(2)		
	企業倫理論(2)	経営史(4)	企業論(4)		
	経営財務論(基礎)(2)	経営財務論(応用)(2)	人的資源管理論A(2)		
	人的資源管理論B(2)	生産管理論A(2)	生産管理論B(2)		

国際経営論 A(2)	国際経営論 B(2)	マーケティング論A(2)
マーケティング論B(2)	国際マーケティング論(2)	ブランド論(2)
流通論(2)	エンタテインメント・ビジネス論(2)	銀行論Ⅰ(2)
銀行論Ⅱ(2)	証券論(4)	保険論(2)
中小企業論Ⅰ(2)	中小企業論Ⅱ(2)	金融論Ⅰ(2)
金融論Ⅱ(2)	国際金融論(2)	ネットビジネス技術A(2)
ネットビジネス技術B(2)	経営情報システムA(2)	経営情報システムB(2)
社会ビジネスA(2)	社会ビジネスB(2)	ネットビジネスA(2)
ネットビジネスB(2)	情報ネットワーク法(2)	情報管理(2)
ビジネス情報利用(2)	プログラミング(2)	ネットワーク論(2)
ネットワーク実習(2)	マルチメディア論(2)	マルチメディア実習(2)
情報と職業Ⅰ(2)	情報と職業Ⅱ(2)	法情報学(4)
会計学総論(2)	財務会計論(基礎)(2)	財務会計論(応用)(2)
中級簿記(4)	上級簿記A(2)	上級簿記B(2)
原価計算システム(2)	コスト・マネジメント(2)	管理会計基礎(2)
戦略管理会計	経営分析入門	経営分析論(2)

(2)	(2)	
税務会計論入門(2)	税務戦略論(2)	監査論(2)
ディスクロージャー制度論(2)	国際会計論(2)	コンピュータ会計(2)
英文簿記会計(2)	会計学特講 I(2)	会計学特講 II(2)
税法A(2)	税法B(2)	会社法A(2)
会社法B(2)	手形法小切手法(2)	支払決済法(2)
商取引法 I(2)	商取引法 II(2)	ビジネスコミュニケーション(2)
戦略的ビジネスコミュニケーション(2)	異文化間コミュニケーション論A(2)	異文化間コミュニケーション論B(2)
ロジカル英語コミュニケーション(2)	ビジネス英語プレゼンテーション(2)	グローバルビジネス英語A(2)
グローバルビジネス英語B(2)	ドイツの文化A(2)	ドイツの文化B(2)
地域ビジネス論(2)	地域ビジネス実践(2)	環境ビジネス実践(2)
教育経営学(2)	図書館経営の理論と実践(2)	博物館経営論(2)
外国書講読(4)	経営学特講(1)～(4)	環太平洋圏経営研究A(2)
環太平洋圏経	経営学特別講	

		営研究B(2)	義(2)～(4)		
--	--	---------	----------	--	--

別表3(その2)

経営学部経営学科教職課程科目

類別		授業科目(単位)		
教育の基礎的理解に関する科目・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目・教育実践に関する科目		教職概論(2)	教育学概論(2)	教育心理学(2)
		特別支援教育(1)	教育法規(2)	教育課程論(2)
		道徳教育の指導法(2)	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2)	教育方法学(2)
		生徒・進路指導論(2)	教育相談(2)	教育実習Ⅰ(3)
		教育実習Ⅱ(2)	教職実践演習(中・高)(2)	
教科及び教科の指導法に関する科目	中学社会	日本史(4)	外国史(4)	地理学概論(4)
		地誌(4)	法学A(2)	法学B(2)
		政治学A(2)	政治学B(2)	社会学A(2)
		社会学B(2)	経済学A(2)	経済学B(2)
		倫理学(4)	哲学(4)	社会科・地歴科教育法(4)
		社会科・公民科教育法(4)		
		その他履修規程で定められた関連科目		
	高校公民	法学A(2)	法学B(2)	政治学A(2)
		政治学B(2)	社会学A(2)	社会学B(2)
		経済学A(2)	経済学B(2)	倫理学(4)
		心理学A(2)	心理学B(2)	哲学(4)
		社会科・公民科教育法(4)		
		その他履修規程で定められた関連科目		
	高校地歴	日本史(4)	外国史(4)	東洋史(4)

		地理学概論(4)	地誌(4)	社会科・地歴科教育法(4)
		その他履修規程で定められた関連科目		
	高校商業	職業指導(4)	簿記(2)	経営学総論(4)
		財務会計論(基礎)(2)	財務会計論(応用)(2)	商業科教育法(4)
		その他履修規程で定められた関連科目		
大学独自に設定する科目		人権教育論A(2)	人権教育論B(2)	道德教育の指導法(2)
		教育社会学A(2)	教育社会学B(2)	教育情報メディア活用論(2)
		ボランティア論(2)	総合人間学A(2)	総合人間学B(2)
		学校図書館制度・経営論(2)	学習情報メディア組織化論(2)	学校図書館利用論(2)
		児童生徒の発達と読書(2)		
		・所定の単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目」「道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」		

別表3(その3)

ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科教育科目

類別	授業科目(単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
ビジネスデザイン演習	ビジネスデザイン演習Ⅰ(4)	ビジネスデザイン演習Ⅱ(4)		8単位
ビジネスデザイン実践	PBL入門Ⅰ(4) PBL応用Ⅱ(4)	PBL入門Ⅱ(4)	PBL応用Ⅰ(4)	16単位
ビジネスデザイン思考	ビジネス基礎(2)	ビジネスリーダーシップ(2)	ビジネスモデル(2)	12単位(ビジネス基礎、ビジネスリーダーシップ、ビジネス

		ビジネスモデル演習(2)	問題解決法(2)	ロジカルシンキング(2)	モデル、ビジネスモデル演習、問題解決法、ロジカルシンキングを12単位修得しなければならない)	
		デザインシンキング(2)	ビジネスモデル実践(2)			
ビジネス理論・知識	必修	IT基礎(2)	プレゼンテーション(2)	ビジネス英語基礎(2)	36単位	
		フィールドワーク(2)	マーケティング(2)	テクノロジーとイノベーション(2)		
		起業とファイナンス(2)	組織デザインと人事管理(2)	アカウンティング(2)		
		ビジネス英語応用(2)	グローバルビジネス(2)	ビジネスと法(2)		
		商品企画(2)	ビジネスコミュニケーション(2)	ビジネスの社会性(2)		
		プロジェクトマネジメント(2)	ビジネスライティング(2)	経営戦略(2)		
	選択	仕事で使う数学(2)	プログラム開発(2)	統計・データ分析(2)	4単位(仕事で使う数学、プログラム開発、統計・データ分析、バイオ・農林水産、環境・エネルギーより4単位修得しなければならない)	
		バイオ・農林水産(2)	環境・エネルギー(2)	マーケティング実践(2)		
		アカウンティング実践(2)				
ドメイン	必修	食ビジネスA(2)	食ビジネスB(2)	農ビジネス(2)	16単位	
		福祉・医療・教育ビジネス(2)	健康・スポーツビジネス(2)	アパレル・住居ビジネス(2)		
		まちづくり・観光ビジネス(2)	ITビジネス(2)			
	選択必修	ファミリー企業経営(2)	ベンチャー企業経営(2)	社会的企業経営(2)	2単位	
	選択	フードシステム論(2)	店舗マネジメント(2)	高齢者と介護(2)	10単位	
		食文化論(2)	農産物市場論(2)	子どもの暮らしと社会(2)		
		食品産業論(2)	健康とスポーツ(2)	地域とボランティア(2)		
	教養・文化		小説・詩・俳句(2)	イラスト・絵画(2)	将棋・囲碁(2)	16単位
			華道・茶道の心(2)	映像・メディア(2)	演劇・朗読(2)	



	政治・経済のニュース(2)	モチベーションとストレスケア(2)	世界の宗教・人権(2)	
インターンシップ	インターンシップ I (2)	インターンシップ II (2)		4単位

別表4(その1)

国際教養学部英語・国際文化学科教育科目

類別		授業科目(単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
基礎教育科目		別表6(その1)参照			10単位
教養教育科目		別表6(その2)参照			16単位
学科教育科目	学科必修科目	ドイツ語 I (2)	ドイツ語 II (2)	ドイツ語 III (2)	8単位 (いずれか1カ国語を 選択) 但し、日本語 I ・日本 語 II ・日本語 III ・日本 語 IV の履修は、外国人 留学生および帰国生 に限る。
		ドイツ語 IV (2)	フランス語 I (2)	フランス語 II (2)	
		フランス語 III (2)	フランス語 IV (2)	スペイン語 I (2)	
		スペイン語 II (2)	スペイン語 III (2)	スペイン語 IV (2)	
		イタリア語 I (2)	イタリア語 II (2)	イタリア語 III (2)	
		イタリア語 IV (2)	ロシア語 I (2)	ロシア語 II (2)	
		ロシア語 III (2)	ロシア語 IV (2)	中国語 I (2)	
		中国語 II (2)	中国語 III (2)	中国語 IV (2)	
		韓国語 I (2)	韓国語 II (2)	韓国語 III (2)	
		韓国語 IV (2)	インドネシア語 I (2)	インドネシア語 II (2)	
		インドネシア語 III (2)	インドネシア語 IV (2)	日本語 I (2)	
		日本語 II (2)	日本語 III (2)	日本語 IV (2)	

	中級英語 Ra(1)	中級英語 Rb(1)	中級英語 OCa(1)	8単位
	中級英語 OCb(1)	中級英語 La(1)	中級英語 Lb(1)	
	中級英語 Wa(1)	中級英語 Wb(1)		
学科選択科目	(全コース共通)			32単位
	大学入門セミナーⅠ(2)	大学入門セミナーⅡ(2)	学部入門講義(2)	
	コミュニケーション英文法A(2)	コミュニケーション英文法B(2)	世界体験入門(2)	
	海外研修セミナー(4)	コース基礎演習Ⅰ(2)	コース基礎演習Ⅱ(2)	
	演習(8)	海外研修(1)～(4)	英語留学準備講座(1)	
	アジアの英語A(2)	アジアの英語B(2)	日本語学概論(4)	
	異文化間コミュニケーション論A(2)	異文化間コミュニケーション論B(2)	言語表現論A(2)	
	言語表現論B(2)			
	(英語コミュニケーションコース)			
	上級英語R(2)	上級英語OC(2)	上級英語L(2)	
	上級英語W(2)	メディア英語A(2)	メディア英語B(2)	
	ビジネス英語A(2)	ビジネス英語B(2)	観光英語A(2)	

観光英語B(2)	児童英語A(2)	児童英語B(2)
資格英語(1)	TOEIC英語研 究(2)	英語ワークシ ョップA(2)
英語ワークシ ョップB(2)	英語ワークシ ョップC(2)	英語ワークシ ョップD(2)
英語学概論 A(2)	英語学概論 B(2)	英語の音声 A(2)
英語の音声 B(2)	英語の文法 A(2)	英語の文法 B(2)
英語の意味 A(2)	英語の意味 B(2)	英語の歴史 A(2)
英語の歴史 B(2)	グローバルビ ジネス英語 A(2)	グローバルビ ジネス英語 B(2)
言語学概論 A(2)	言語学概論 B(2)	応用言語学概 論A(2)
応用言語学概 論B(2)	応用言語学研 究A(2)	応用言語学研 究B(2)
言語と社会 A(2)	言語と社会 B(2)	言語と心理 A(2)
言語と心理 B(2)		
(国際文化コース)		
現代アジア論 (2)	現代ヨーロッ パ論(2)	ヨーロッパ文 化研究(2)～ (4)
イギリス文化 研究(2)～(4)	アメリカ文化 研究(2)～(4)	ドイツの文化 A(2)
ドイツの文化 B(2)	英語文学概論 A(2)	英語文学概論 B(2)

現代英語圏文化の諸問題 (2)～(4)	比較文化研究 (2)～(4)	比較文学A(2)
比較文学B(2)	西洋文化史 A(2)	西洋文化史 B(2)
キリスト教史 A(2)	キリスト教史 B(2)	キリスト教音楽 I (2)
キリスト教音楽 II (2)	西洋思想史 A(2)	西洋思想史 B(2)
比較文明論 (4)	文化人類学 A(2)	文化人類学 B(2)
科学技術史 (4)	アジア文化研究 (2)～(4)	アジア文化史 A(2)
アジア文化史 B(2)	総合人間学 A(2)	総合人間学 B(2)
中国経済論 I (2)	中国経済論 II (2)	Japanese Studies(2)～ (4)
Japanese Literature(2) ～(4)	日本文化研究 (2)～(4)	日本文化論 (4)
日本文化史 A(2)	日本文化史 B(2)	日本近代史 I (2)
日本近代史 II (2)	民俗学A(2)	民俗学B(2)
考古学概論 A(2)	考古学概論 B(2)	日本語文法論 (4)
日本語教授法の基礎(4)	日本語教材・ 教具論A(2)	日本語教材・ 教具論B(2)
日本語教授法	海外日本語教	語彙・意味論

	演習(4)	育実習(4)	(2)
	文字・表記論 (2)	日本語の音声 (2)	社会言語学 (方言・敬意表 現)(2)
	日本語教育事 情(2)	博物館資料論 (2)	博物館資料保 存論(2)
	メディアリテ ラシー論A(2)	メディアリテ ラシー論B(2)	マルチメディ ア文化論A(2)
	マルチメディ ア文化論B(2)	マルチメディ ア文化実習 (4)	世界のメディ アA(2)
	世界のメディ アB(2)	メディア文化 特論(2)～(4)	映像メディア 論A(2)
	映像メディア 論B(2)	映像制作実習 (4)	音楽社会学 (2)
	情報社会論 (2)	デジタル・メ ディア論(2)	博物館展示論 (2)
	博物館情報・ メディア論 (2)	文化社会学 (2)	モダニティの 社会学(2)
	社会心理学 (2)	メディア・コ ミュニケーシ ョン論(2)	社会運動論 (2)
	市民社会とメ ディア(2)	メディア制作 実習(2)～(4)	
学科自由科目	学科特殊講義(2)～(4)		50単位
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必修として修得した以外の初修外国語</li> <li>・所定の単位を超えて修得した基礎教育科目、教養教育科目および学科選択科目</li> <li>・他のコースの学科選択科目</li> <li>・他学部の学科教育科目のうち教授会にお</li> </ul>		

		いて定められた科目	
--	--	-----------	--

別表4(その2)

国際教養学部英語・国際文化学科教職課程科目

類別		授業科目(単位)		
教育の基礎的理解に関する科目・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目・教育実践に関する科目		教職概論(2)	教育学概論(2)	教育心理学(2)
		特別支援教育(1)	教育法規(2)	教育課程論(2)
		道徳教育の指導法(2)	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2)	教育方法学(2)
		生徒・進路指導論(2)	教育相談(2)	教育実習Ⅰ(3)
		教育実習Ⅱ(2)	教職実践演習(中・高)(2)	
教科及び教科の指導法に関する科目	中学・高校英語	英語学概論A(2)	英語学概論B(2)	英語文学概論A(2)
		英語文学概論B(2)	中級英語Ra(1)	中級英語Rb(1)
		中級英語La(1)	中級英語Lb(1)	中級英語OCa(1)
		中級英語OCb(1)	中級英語Wa(1)	中級英語Wb(1)
		上級英語OC(2)	上級英語W(2)	異文化間コミュニケーション論A(2)
		異文化間コミュニケーション論B(2)	英語科教育法Ⅰ(4)	英語科教育法Ⅱ(4)
		その他履修規程で定められた関連科目		
大学独自に設定する科目		人権教育論A(2)	人権教育論B(2)	道徳教育の指導法(2)
		教育社会学A(2)	教育社会学B(2)	教育情報メディア活用論(2)
		ボランティア論(2)	総合人間学A(2)	総合人間学B(2)
		学校図書館制度・経営論(2)	学習情報メディア組織化論(2)	学校図書館利用論(2)
		児童生徒の発達と		

読書(2)		
・所定の単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目」 「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」		

別表5(その1)

法学部法律学科教育科目

類別		授業科目(単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
基礎教育科目		別表6(その1)参照			6単位以上
教養教育科目		別表6(その2)参照			16単位以上
学科教育科目	学科選択科目	憲法入門(2)	民法入門(2)	刑法入門(2)	70単位以上
		法職オリエンテーション(2)	働くことと法知識(2)	基礎演習(4)	
		演習2A(2)	演習2B(2)	法職ブラッシュアップ講座(2)	
		公務員英語Ⅰ(2)	公務員英語Ⅱ(2)	企業コース英語Ⅰ(2)	
		企業コース英語Ⅱ(2)	専門演習A(4)	専門演習B(4)	
		専門演習C(4)	演習(8)	憲法・基本的人権(4)	
		憲法・統治機構A(2)	憲法・統治機構B(2)	民法Ⅰ(総則)(4)	
		民法Ⅱ(物権)(2)	民法Ⅱ(担保物権)(2)	民法Ⅲ(債権総論A)(2)	
		民法Ⅲ(債権総論)	民法Ⅳ(契)	民法Ⅳ(不法行)	

論B) (2)	約) (2)	為) (2)
民法 V (親族) (2)	民法 V (相続) (2)	刑法総論(4)
刑法各論A(2)	刑法各論B(2)	企業法入門A(2)
企業法入門B(2)	会社法A(2)	会社法B(2)
手形法小切手法(2)	支払決済法(2)	商取引法 I (2)
商取引法 II (2)	民事訴訟法A(2)	民事訴訟法B(2)
刑事訴訟法A(2)	刑事訴訟法B(2)	行政法総論A(2)
行政法総論B(2)	行政法各論A(2)	行政法各論B(2)
国際法A(2)	国際法B(2)	経済法A(2)
経済法B(2)	知的財産法A(2)	知的財産法B(2)
労働法A(2)	労働法B(2)	社会保障法A(2)
社会保障法B(2)	ジェンダー法学A(2)	ジェンダー法学B(2)
民事執行法(2)	破産法(2)	民事再生法会社更生法(2)
法哲学A(2)	法哲学B(2)	論理学A(2)
論理学B(2)	日本法制史A(2)	日本法制史B(2)
西洋法制史A(2)	西洋法制史B(2)	外国法A(2)
外国法B(2)	行政学A(2)	行政学B(2)
政治学原論A(2)	政治学原論B(2)	国際関係論A(2)



		国際関係論B(2)	国際政治史A(2)	国際政治史 B(2)
		国際機構論A(2)	国際機構論B(2)	国際政治事情 研究A(2)
		国際政治事情研 究B(2)	地域研究 I A(2)	地域研究 I B(2)
		地域研究 II A(2)	地域研究 II B(2)	法情報学(4)
		税法A(2)	税法B(2)	法学特講(1)～ (4)
		法職インターン シップ(2)	外国書講読A(1) ～(4)	外国書講読 B(1)～(4)
		ミクロ経済学 (4)	マクロ経済学 (4)	財政学 I (2)
		財政学 II (2)	地方財政論 I (2)	地方財政論 II (2)
		公共経済論 I (2)	公共経済論 II (2)	

別表5(その2)

法学部法律学科教職課程科目

類別		授業科目(単位)		
教育の基礎的理解に関する科目・道徳、 総合的な学習の時間等の指導法及び生 徒指導、教育相談等に関する科目・教 育実践に関する科目		教職概論(2)	教育学概論(2)	教育心理学(2)
		特別支援教育(1)	教育法規(2)	教育課程論(2)
		道徳教育の指導法 (2)	特別活動及び総合 的な学習の時間の 指導法(2)	教育方法学(2)
		生徒・進路指導論 (2)	教育相談(2)	教育実習 I (3)
		教育実習 II (2)	教職実践演習(中・ 高)(2)	
教科及び教科の指	中学社会	日本史(4)	外国史(4)	地理学概論(4)

導法に関する科目		地誌(4)	法学A(2)	法学B(2)	
		政治学A(2)	政治学B(2)	社会学A(2)	
		社会学B(2)	経済学A(2)	経済学B(2)	
		倫理学(4)	哲学(4)	社会科・地歴科教育 法(4)	
		社会科・公民科教育 法(4)			
		その他履修規程で定められた関連科目			
	高校公民		法学A(2)	法学B(2)	政治学A(2)
			政治学B(2)	社会学A(2)	社会学B(2)
			経済学A(2)	経済学B(2)	倫理学(4)
			心理学A(2)	心理学B(2)	哲学(4)
			社会科・公民科教育 法(4)		
			その他履修規程で定められた関連科目		
	高校地歴		日本史(4)	外国史(4)	東洋史(4)
			地理学概論(4)	地誌(4)	社会科・地歴科教育 法(4)
			その他履修規程で定められた関連科目		
大学独自に設定する科目		人権教育論A(2)	人権教育論B(2)	道徳教育の指導法 (2)	
		教育社会学A(2)	教育社会学B(2)	教育情報メディア 活用論(2)	
		ボランティア論(2)	総合人間学A(2)	総合人間学B(2)	
		学校図書館制度・経 営論(2)	学習情報メディア 組織化論(2)	学校図書館利用論 (2)	
		児童生徒の発達と 読書(2)			
		・所定の単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に 関する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目」			

	「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、 教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」
--	---

別表6(その1) 基礎教育科目(ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科を除く)

1. 建学の精神

類別	授業科目(単位)		卒業必要単位数
全学部・学科	キリスト教と桃山学院大学(2)	世界の市民(2)	2単位以上 国際教養学部は2単位

2. 学びの基礎 外国語科目

類別	授業科目(単位)		卒業必要単位数
経済学部 経済学科 社会学部 社会福祉学科 経営学部 経営学科 法学部 法律学科	英語ⅠA(1)	英語ⅠB(1)	4単位
	英語ⅡA(1)	英語ⅡB(1)	
社会学部 社会学科 国際教養学部 英語・国際文化学科 (英語コミュニケーションコース) (国際文化コース)	英語ⅠA(1)	英語ⅠB(1)	8単位
	英語ⅡA(1)	英語ⅡB(1)	
	英語ⅢA(1)	英語ⅢB(1)	
	英語ⅣA(1)	英語ⅣB(1)	
経済学部 経済学科 中国ビジネスキャリア コース	コース中国語ⅠA(1)	コース中国語ⅠB(1)	8単位
	コース中国語ⅡA(1)	コース中国語ⅡB(1)	
	コース中国語ⅢA(1)	コース中国語ⅢB(1)	
	コース中国語ⅣA(1)	コース中国語ⅣB(1)	
経済学部 経済学科 社会学部 社会福祉学科 経営学部 経営学科 法学部 法律学科	日本語Ⅰ(2)	日本語Ⅱ(2)	4単位
社会学部 社会学科	日本語Ⅰ(2)	日本語Ⅱ(2)	8単位
	日本語Ⅲ(2)	日本語Ⅳ(2)	

備考：日本語Ⅰ・日本語Ⅱ・日本語Ⅲ・日本語Ⅳの履修は、外国人留学生および帰国生に限る。

3. 学びの基礎 リテラシー

授業科目(単位)	卒業必要単位数
----------	---------

大学レポート入門(2)	IT基礎(2)		0単位以上 国際教養学部は0単位
-------------	---------	--	---------------------

別表6(その2) 教養教育科目(ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科を除く)

類別	授業科目(単位)			卒業必要単位数	
人間への着目	キリスト教学A(2)	キリスト教学B(2)	キリスト教史A(2)	2単位以上	16単位以上 国際教養学部は16単位
	キリスト教史B(2)	キリスト教音楽Ⅰ(2)	キリスト教音楽Ⅱ(2)		
	思想と文化(2)	倫理学(4)	哲学(4)		
	西洋文化史A(2)	西洋文化史B(2)	比較文明論(4)		
	アジア文化史A(2)	アジア文化史B(2)	総合人間学A(2)		
	総合人間学B(2)	日本文化史A(2)	日本文化史B(2)		
	民俗学A(2)	民俗学B(2)	文学(2)		
	比較文学A(2)	比較文学B(2)	言語学概論A(2)		
	言語学概論B(2)	応用言語学概論A(2)	応用言語学概論B(2)		
	言語と社会A(2)	言語と社会B(2)	日本語学概論(4)		
	日本語文法論(4)	歴史学(2)	日本史(4)		
	外国史(4)	東洋史(4)	考古学概論A(2)		
	考古学概論B(2)	地理学概論(4)	地誌(4)		
	社会への視点	法学A(2)	法学B(2)		
憲法B(2)		民法A1(2)	民法A2(2)		
民法B1(2)		民法B2(2)	働くことと法知識(2)		
国際法A(2)		国際法B(2)	知的財産法A(2)		
知的財産法B(2)		労働法A(2)	労働法B(2)		
ジェンダー法学A(2)		ジェンダー法学B(2)	税法A(2)		
税法B(2)		政治学A(2)	政治学B(2)		
国際関係論A(2)		国際関係論B(2)	国際政治史A(2)		
国際政治史B(2)		国際機構論A(2)	国際機構論B(2)		

国際政治事情研究 A(2)	国際政治事情研究 B(2)	地域研究 I A(2)
地域研究 I B(2)	地域研究 II A(2)	地域研究 II B(2)
経済学A(2)	経済学B(2)	経済入門(2)
日本経済史 I(2)	日本経済史 II(2)	西洋経済史 I(2)
西洋経済史 II(2)	日本経済論 I(2)	日本経済論 II(2)
世界経済事情 I(2)	世界経済事情 II (2)	地域経済論 I(2)
地域経済論 II(2)	比較経済体制論 I (2)	比較経済体制論 II (2)
アジア経済論 I(2)	アジア経済論 II (2)	日中ビジネス論(2)
経営学A(2)	経営学B(2)	簿記(2)
中級簿記(4)	経営管理論(4)	経営史(4)
経営財務論(基 礎)(2)	経営財務論(応 用)(2)	証券論(4)
保険論(2)	会計学総論(2)	国際会計論(2)
財務会計論(基 礎)(2)	財務会計論(応 用)(2)	社会学A(2)
社会学B(2)	コミュニケーション 論 [2] (2)	メディア史(2)
マス・コミュニケー ション論(2)	広報の社会学(2)	教育社会学A(2)
教育社会学B(2)	スポーツ社会学 (2)	身体文化論(2)
地域社会学(4)	宗教社会学(2)	宗教学概論(2)
ジェンダー論(2)	働き方とジェンダ ー(2)	国際社会福祉論(2)
ボランティア論(2)	ボランティアコー ディネート論(2)	

科学への扉	健康・スポーツ科学講義(2)～(4)	健康・スポーツ科学演習(2)～(4)	健康・スポーツ科学実習(1)～(2)	2単位以上
	障害者スポーツ論A(2)	障害者スポーツ論B(2)	心理学A(2)	
	心理学B(2)	IT活用a(2)	IT活用b(2)	
	コンピュータ論Ⅰ(2)	コンピュータ論Ⅱ(2)	学術情報資源流通の歴史と現状(2)	
	情報ネットワーク法(2)	情報管理(2)	ネットワーク論(2)	
	マルチメディア論(2)	情報と職業Ⅰ(2)	情報と職業Ⅱ(2)	
	数理科学入門(2)	自然科学入門(2)	産業考古学(4)	
	科学技術史(4)	環境問題概論(4)	科学思想史(4)	
未来への挑戦	キャリア教育科目(1)～(4)	初修外国語Ⅰ(2)	初修外国語Ⅱ(2)	0単位以上
	初修外国語Ⅲ(2)	初修外国語Ⅳ(2)	国際交流特別講義(1)～(4)	
	日本事情A(2)(外国人留学生用)	日本事情B(2)(外国人留学生用)	日本語Ⅲ(2)	
	日本語Ⅳ(2)	英語ⅠA(1)(外国人留学生用)	英語ⅠB(1)(外国人留学生用)	
	英語ⅡA(1)(外国人留学生用)	英語ⅡB(1)(外国人留学生用)	英語ⅢA(1)(外国人留学生用)	
	英語ⅢB(1)(外国人留学生用)	英語ⅣA(1)(外国人留学生用)	英語ⅣB(1)(外国人留学生用)	
	Academic English RⅠ(2)	Academic English RⅡ(2)	Academic English OCⅠ(2)	
	Academic English OCⅡ(2)	Academic English W(2)	Academic English P(2)	
TOEFLⅠ(2)	TOEFLⅡ(2)	TOEFLⅢ(2)		

TOEIC I (2)	TOEIC II (2)	TOEIC III (2)		
TOEIC IV (2)	TOEIC V (2)	TOEIC VI (2)		
Business English I (2)	Business English II (2)	Business English III (2)		
English Today I (2)	English Today II (2)	Literature (2)		
Japanese Culture (2)	Comparative Cultures (2)	教職概論 (2)		
教育学概論 (2)	教育心理学 (2)	教育法規 (2)		
教育経営学 (2)	人権教育論A (2)	人権教育論B (2)		
教育情報メディア活用論 (2)	職業指導 (4)	図書館・博物館への誘い (2)		
図書館情報学原論 (2)	生涯学習概論 (2)	博物館概論 (2)		
博物館教育論 (2)	東洋美術史 (4)	日本語教育事情 (2)		
教養教育特別講義 (1)～(4)	地域連携特別講義 (1)～(4)	学外研修 (1)～(4)		

備考

1. 当該学科教育科目と同一の科目を教養教育科目として履修することはできない。
2. 経営学部経営学科については、「コンピュータ論Ⅰ」「コンピュータ論Ⅱ」を教養教育科目として履修することはできない。
3. 法学部法律学科については、「憲法A・B」「民法A1・A2」「民法B1・B2」を教養教育科目として履修することはできない。
4. 社会学部社会学科については、「日本語Ⅲ」「日本語Ⅳ」を教養教育科目として履修することはできない。
5. 経済学部経済学科については、「IT活用a・b」「簿記」「中級簿記」を教養教育科目として履修することはできない。

別表7

司書教諭課程科目(ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科を除く)

授業科目(単位)
----------

学校図書館制度・経営論(2)	学習情報メディア組織化論(2)	学校図書館利用論(2)
児童生徒の発達と読書(2)	教育情報メディア活用論(2)	

別表8

## 司書課程科目(ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科を除く)

授業科目(単位)			
生涯学習概論(2)	図書館情報学原論(2)	図書館業務と情報通信技術(2)	図書館の制度的基盤とマネジメント(2)
図書館経営の理論と実践(2)	図書館サービス概論(2)	情報探索の知識と技法(2)	児童生徒の発達と読書(2)
情報探索・レファレンス演習(2)	図書館情報資源概論(2)	情報資源組織論(2)	情報資源の組織化演習I(目録)(1)
情報資源の組織化演習II(分類)(1)	図書館・博物館への誘い(2)	情報サービス応用(2)	学術情報資源流通の歴史と現状(2)
図書館と情報メディアの歴史(2)	図書館実習(2)		

別表9

## 博物館学芸員課程科目(ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科を除く)

授業科目(単位)			
生涯学習概論(2)	博物館概論(2)	博物館資料論(2)	博物館経営論(2)
博物館資料保存論(2)	博物館展示論(2)	博物館情報・メディア論(2)	博物館教育論(2)
博物館実習I(1)	博物館実習II(1)	博物館実習III(1)	産業考古学(4)
東洋美術史(4)	科学技術史(4)	産業社会学(4)	民俗学A(2)
民俗学B(2)	現代技術論I(2)	現代技術論II(2)	考古学概論A(2)
考古学概論B(2)	日本文化史A(2)	日本文化史B(2)	アジア文化史A(2)
アジア文化史B(2)	東洋史(4)	博物館学特講(2)～(4)	

別表10

## 日本語教員養成課程科目(ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科を除く)

領域	授業科目(単位)		必要単位数
社会・文化・地域	自由選択	日本文化論(4)	必修



		現代社会論(4)	12単位
		日本文化史A(2)	選択必修
		日本文化史B(2)	10単位
		日本近代史Ⅰ(2)	自由選択
		日本近代史Ⅱ(2)	10単位
		日本文化研究(2)～(4)	
		Japanese Studies(2)～(4)	
	選択必修	日本語教育事情(2)	
言語と社会	自由選択	言語と社会A(2)	
		言語と社会B(2)	
	選択必修	社会言語学(方言・敬意表現)(2)	
言語と心理	自由選択	言語と心理A(2)	
		言語と心理B(2)	
		異文化間コミュニケーション論A(2)	
		異文化間コミュニケーション論B(2)	
言語と教育	必修	日本語教授法の基礎(4)	
		日本語教材・教具論A(2)	
		日本語教材・教具論B(2)	
		日本語教授法演習(4)	
	選択必修	海外日本語教育実習(4)	
言語	自由選択	言語学概論A(2)	
		言語学概論B(2)	
		応用言語学概論A(2)	
		応用言語学概論B(2)	
	選択必修	日本語学概論(4)	
		日本語文法論(4)	
		日本語の音声(2)	
		語彙・意味論(2)	
		文字・表記論(2)	
合計			32単位

付表1 学費

名称	学部・学科	金額
入学金	全学部・全学科	230,000円
授業料	全学部・全学科	年額 729,000円
施設費	全学部・全学科 (ただし、ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科除く)	年額 300,000円
	ビジネスデザイン学部ビジネス デザイン学科	年額 240,000円

注1. 休学を許可された者が一つの学期の全期間を休学する場合の学費は、大学学費等納付規程の定めるところとする。

注2. 一つの学期の全期間に亘る単位認定を前提とした私費海外留学を認められた者の学費は、大学学費等納付規程の定めるところとする。

付表1の2 科目等履修料(科目等履修生・委託生対象)

科目等履修料(1単位につき)	全学部	10,000円
----------------	-----	---------

注1. 本学の学部卒業生、大学院在籍者および大学院修了者については、大学学費等納付規程の定めるところとする。

# 学則の変更の趣旨等を記載した書類

## 目次

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容	p. 1
イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性	p. 2
(1) ビジネスデザイン学科の学びに対する企業・団体等からのニーズ	p. 2
(2) ビジネスデザイン学科の学生募集状況からの必要性	p. 3
(3) ビジネスデザインを必要とする社会的背景	p. 4
ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	p. 6
(ア) 教育課程の変更内容	p. 6
(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容	p. 8
(ウ) 教員組織の変更内容	p. 10
(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容	p. 11

## ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

桃山学院大学（以下、「本学」という。）は、2021（令和3）年4月にビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科（入学定員200名、収容定員800名。以下、「本学部」という。）を設置する。これは、既設の経営学部ビジネスデザイン学科（以下、「ビジネスデザイン学科」という。）を基礎として設置するものである。

本学部では、ビジネスを「社会に対して持続的に価値を創り出す活動」と、従来のビジネスよりも幅広く捉える。また、ビジネスをデザインするとは「多様な人々と共に新しいビジネスを構想・企画し実現可能な仕組みをつくる」ことと捉える。

育成する人材は、幅広い知識・技能、思考力・判断力・表現力および高度なコミュニケーション力を備え、多様な人々と共に新たなビジネスをつくることによって社会課題を解決できる人材である。

本学の本拠地は大阪府和泉市であるが、本学部の教育内容が企業・団体、行政・地域、教育機関（以下、「企業・団体等」という。）との連携や実務家教員の採用等の必要性から、大阪市内（大阪市阿倍野区昭和町）に教場を開設する。ビジネスデザイン学科も、本学の既設の5学部6学科（経済学部経済学科、社会学部社会学科、社会学部社会福祉学科、経営学部経営学科、国際教養学部英語・国際文化学科、法学部法律学科。以下、「既設学部」という。）と異なり、大阪市の中心業務地区<sup>1</sup>「船場」（せんば）（以下、「船場」という。）に所在している。

今回の学部設置に伴い、大学全体で入学定員を130名、収容定員を520名増やす。本学部の入学定員および収容定員の一部は、ビジネスデザイン学科の入学定員70名と収容定員280名を振り替えるものとし、ビジネスデザイン学科は2021年度入試より学生募集を停止する予定である。

【現行】2020（令和2）年4月

学部・学科	入学定員	収容定員
経営学部 ビジネスデザイン学科	70名	280名
（届出による設置）	—	—
大学全体	1,490名	5,960名

【変更後】2021（令和3）年4月から

学部・学科	入学定員	収容定員
学生募集停止予定	—	—
（届出による設置） ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科	200名	800名
大学全体	1,620名	6,480名

<sup>1</sup> 街や都市の、主要なビジネス地区や商業地区のこと。街や都市の中の、オフィスや店舗などが特に集積している（集中している）地区。

## イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学部設置に際し、収容定員を増加する必要性を、以下の3点から確認した。(1) ビジネスデザイン学科の学びに対する企業・団体等からのニーズ、(2) ビジネスデザイン学科の学生募集状況からの必要性、(3) ビジネスデザインを必要とする社会的背景、である。これらのことから、本学部を設置し、収容定員を増加することが、ビジネスデザインの教育効果を高め、社会で活躍できる人材の育成に繋がる。同時に、大学として社会の要請に応えることになるとの認識から、今回の申請を行うこととした。

### (1) ビジネスデザイン学科の学びに対する企業・団体等からのニーズ

2019（平成31）年4月、大阪市内に開設したビジネスデザイン学科では、73の企業・団体等と連携しており開設後から以下の連携実績を挙げている（2020（令和2）年3月現在）。

①ビジネスデザイン学科の教場がある船場で、アパレル関連で約800店舗の卸売・小売の店舗が加盟する船場センタービル連盟と地域・大学間連携の協定を締結した（2019（令和元）年9月）。また、関西初の「21世紀型教育機構」加盟校であり「総合的な探究の時間」（授業）に熱心に取り組む大阪府下の香里ヌヴェール学院中学校・高等学校から高大連携のオファーを受け協定を締結した（2019（令和元）年9月）。この協定を前提に2020（令和2）年度より、同校と実施する高大連携授業において、船場でフィールドワークを行うことも検討しており、高大接続と地域連携を同時に結びつけて推進する。

**【資料1】桃山学院大学と船場センタービル連盟との連携に関する協定書**

**【資料2】桃山学院大学と香里ヌヴェール学院中学校・高等学校との教育活動に関する協定書**

②“世界標準のリーダーシップ”（「権限がなくても他者を巻き込み、成果目標を達成する」という新しいリーダーシップ）教育に取り組む他大学と共に、PBLを二泊三日で実施する「リーダーシップ・キャラバン」に参加した（2019（令和元）年8月）。同年11月には本学が幹事校となり「リーダーシップ・キャラバン in 関西」を開催した。

**【資料3】「リーダーシップ・キャラバン」詳細**

③大阪府は、府民の健康寿命の延伸に向けて、若い世代、働く世代、高齢者までライフステージに応じた健康づくりを推進している。その取り組みの一環として、2019（令和元）年10月28日に大阪府健康医療部と本学による連携プロジェクト「大阪府民の健康を考える」において、ビジネスデザイン学科の学生が大阪府民の健康向上のためのビジネスアイデアを考え、プレゼンテーションを行った。アイデアの斬新さと実現可能性を評価ポイントとし、一定の評価以上を得た優秀チームが同年11月26日に大阪府庁で取

り組みの実現に向けた提案を行った。現在は、その提案内容を実現すべく活動を継続中である。

**【資料 4】「大阪府民の健康を考える」大阪府×桃山学院大学ビジネスデザイン学科連携プロジェクト（大学公式 Web サイト掲載記事）**

(URL:<https://www.andrew.ac.jp/newsttopics3/2019/h1026a00000fh4u.html>)

- ④日本電通株式会社および大阪電気通信大学との連携プログラム「アイデアソン in 本町BDL」を実施した。ビジネスデザイン学科の学生と大阪電気通信大学の学生が参加し、2日間という短期間で新規アイデアを作り上げ、その成果を競い合うプログラムとなっている。ビジネス系、情報系など異なる分野（文系と理系）の学生が集まり、互いにリーダーシップを発揮しながら社会を変えるアイデアを生み出すために、フィールドワークとグループワークを行い、その内容を発表した。

**【資料 5】アイデアソン in 本町BDL**

- ⑤欧州トップクラスのビジネススクールで教えられている「アート×ビジネス」の思考法について、起業家として著名なニール・ヒンディ氏の講演会を実施した。テーマは「アーティストと起業家の共通点」、「ビジネスの経験が無くても起業を志すことができる」、「世界のクリエイティブを抱えて成功する起業家や企業の事例を披露」であった。同氏の講演会は関西の大学では初であり、企業からも多くの人に参加した。講演の中で、イノベーションと創造性に関するトレーニングも実施した。

**【資料 6】「ニール・ヒンディ氏」講演会**

- ⑥大阪信用金庫との連携プログラムを実施した。大阪信用金庫とフューチャーベンチャーキャピタル株式会社からファイナンス（資金調達）やマネタイズ（収益化）に関する基本知識および大阪信用金庫のファンド制度について学ぶ機会と、既に事業を考えている学生や将来起業を志望する学生の個別相談の時間を設けた。

**【資料 7】大阪信用金庫との連携プログラム**

以上の取り組みを含め、今後も同様の取り組みを本学部としても実行していくが、より多様で、より規模を広げて連携することが、学生への学びの場の拡充と大学の社会貢献にも繋がることから、収容定員を増加することとした。

**(2) ビジネスデザイン学科の学生募集状況からの必要性**

ビジネスデザイン学科は、学びが企業・団体等との連携を前提とし、かつ長期的視点で大阪市内および大阪府北部（豊能地域および三島地域。以下、「大阪府北部」という。）を中心とした新たな学生募集対象エリアの拡大を見込むことから、既設学部がある大阪府和泉市

ではなく、船場に設置した。Osaka Metro「本町駅」に直結するビルのワンフロアを教場としている。また、詳細は「学生の確保の見通し等を記載した書類」で説明するが、実際に2019年度と2020年度入試では、大阪市内および大阪府北部さらに兵庫県に所在する高等学校からの志願者の割合が既設学部と比較して高いことが確認された。

#### 既設学部とビジネスデザイン学科の地域別志願者の割合

地域	学部・学科	2020年度入試	2019年度入試
大阪市内 大阪府北部地域 および兵庫県	既設学部	39.02%	40.0%
	ビジネスデザイン学科	53.0%	52.6%

ビジネスデザイン学科は、入学試験において総合型選抜を導入し、企業の採用試験をモデルにしたグループ面接・グループワーク・アイデアレポートを取り入れるなど、学びの内容と受験生の志向のマッチングを重視した学生募集を行っている。このように、独自性の高いことから、他大学や既設学部との併願が難しい入試方法にも関わらず、2019年度入試では入学定員70名に対して486名の志願者があった。2020年度入試では、さらに総合型選抜（企業採用型）の機会を増加させたため、大幅な志願者の減少も予測されたが、結果的に入学定員70名に対して4倍超となる317名の志願者となった。

2019年度入試の入学手続率が既設学部の平均と比較して高かった理由は、学びの内容と受験生の志向のマッチングを重視した入試方法の効果であり、受験生が学びの内容をよく理解して受験していることの表れである。

本学部の学びは、後述のとおりPBL型授業をはじめ、新しい学習指導要領のもとでの高等学校の学びと連結していることも、学生確保につながる要素と判断しており、今後、より受験生のニーズが増えるを見込んでいる。

#### 【資料8】経営学部ビジネスデザイン学科の入試概要比較

#### 【資料9】2020年度総合型選抜（専願制）アイデアレポート課題

### (3) ビジネスデザインを必要とする社会的背景

AIを中心とした技術革新が進む今日、単純作業の自動化はもちろん、高度な専門知識を必要とする仕事であっても明確な答えが存在する仕事であれば、AIが行うようになりつつある。したがって、これから人間が行うべき仕事は、社会に新しい価値を生み出すビジネスの仕組みをつくることであり、そのための学びが求められている。

SDGsの達成やSociety 5.0などの新しい社会を見据えた時、「専攻分野についての専門性を有するだけではなく、思考力、判断力、俯瞰力、表現力の基盤の上に、幅広い教養を身に付け、高い公共性・倫理性を保持しつつ、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、論

理的思考力を持って社会を改善していく資質を有する人材」<sup>2</sup>が必要という認識が急速に高まりつつある。すなわち、ビジネスを「社会に対して持続的に価値を創り出す活動」と、従来のビジネスよりも幅広く捉えることが必要である。

また、高等学校においては、新しい学習指導要領に則し、新しい社会を生き抜く人材を育てるための授業として「総合的な探究の時間」を2019（平成31）年度よりスタートしている。さらに、産業界からも大学に対して、「論理的思考力と規範的判断力をベースに社会システムを構想する力を備えた人材」の育成に関する要望が2019（平成31）年に出された<sup>3</sup>。

以上のように、今日の社会においては、来るべき Society5.0 に向けて、多様な人と共に社会の課題を解決し、新たな価値を持続的につくるシステムをデザインする人材の育成が求められている。すなわち社会科学においては、「社会に対して持続的に価値を創り出す活動」としてのビジネスをつくり出すことによって社会の問題を解決する人材の育成が求められている。

また、ビジネスデザインの学びの主要素である多様な人間関係の中でのコミュニケーション力と“世界標準のリーダーシップ”は、これからの社会を生き抜くために誰もが必要とする力である。すなわち、このような学びを広め、社会に送り出す卒業生を増やすことは、高等教育機関としての社会的使命と考える。そこで、より多様な教育環境を整備する必要性から、既述のとおり収容定員の増加を行う。

本学部の設置にあたっては、文部科学省大学設置・学校法人審議会大学設置分科会運営委員会へ事前相談を行い、2020（令和2）年1月31日付で「届出」による設置が可能との通知があり、2020（令和2）年4月に学部設置届出書類を提出予定である。なお、ビジネスデザイン学科に所属する学生は、学年進行中に本学部が設置されるため、下記のとおり転学部を行う予定である。

#### 本学部設置時（2021（令和3）年4月現在）の在学生の所属学部学科（転学部後）

入学年度	入学する（した）学部学科	転学部後の学部学科	年次
2019 （平成31）	経営学部ビジネスデザイン学科	ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科	3年次
2020 （令和2）	経営学部ビジネスデザイン学科	ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科	2年次
2021 （令和3）	ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科		1年次

<sup>2</sup> 「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」（平成30年11月26日中央教育審議会）

<sup>3</sup> 「中間とりまとめと共同提言」（2019年4月22日 採用と大学教育の未来に関する産学協議会）



## ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

### （ア）教育課程の変更内容

本学部は教育課程、科目、入試、教員組織、キャンパスの立地と全てにおいて、既設学部とは異なる独自の運営を行う。以下、本学部の教育課程についてビジネスデザイン学科からの変更内容および既設学部への影響について記載する。

#### （1）教育課程の概要（「」は科目名、『』は科目区分を表す）

本学部の開講科目（単位）数は4年間で70科目（152単位）となり、ビジネスデザイン学科から1科目（2単位）追加する。また、科目区分の目的を明確にするため、学部設置にあたり、以下のとおり科目区分の名称を変更した。この中で、『ビジネスデザイン演習』はビジネスのプロトタイプ作成に取り組む科目区分である。4年次生は全員「ビジネスデザイン演習Ⅱ」を履修し、作成したビジネスのプロトタイプを、連携する企業・団体等の社会的主体に対してプレゼンテーションを行い、評価を受ける。このことを卒業要件とし、ディプロマ・ポリシーの達成度をはかる。4年間の学びの集大成となる『ビジネスデザイン演習』を支える科目区分を6つ設定している。各科目区分の進捗状況については全教員間で共有し、相互に確認しながら授業を運営する。最終的には6つの科目区分が有機的に連携し、全ての学びが『ビジネスデザイン演習』に集約される体系的な教育課程となっている。本学部とビジネスデザイン学科の科目区分の名称は変更されるが、科目の98%が同一であるため転学部にあたり学生への不利益は生じない。

また、本学部、ビジネスデザイン学科、既設学部の科目区分は科目設定も含め、下表のとおりに異なっており、本学部設置に際して、既設学部への影響はない。

	本学部	ビジネスデザイン学科	既設学部
科目区分	ビジネスデザイン演習	専門演習	基礎教育科目※
	ビジネスデザイン実践	実践演習	教養教育科目※
	ビジネスデザイン思考	スキル演習	学科教育科目
	ビジネス理論・知識	理論科目	
	ドメイン	ドメイン科目	
	教養・文化	教養・文化科目	
	インターンシップ	インターンシップ	

※既設学部（経済学部経済学科、社会学部社会学科、社会学部社会福祉学科、経営学部経営学科、国際教養学部英語・国際文化学科、法学部法律学科）に所属する学生が履修する共通科目

#### （2）「デザインシンキング」の追加

社会に新しい価値を生み出すビジネスの仕組みをつくるには、各知識を横断的に自在に連携させる思考法・スキルを実践的に身につける学びが重要となる。その基礎となる思考法

として、デザインシンキングとロジカルシンキングが重要となる。科目の充実を図るため、本学部の『ビジネスデザイン思考』に「デザインシンキング」を追加する。

### (3) 理系科目の充実

社会に新しい価値を生み出すビジネスの仕組みをつくることは、場合によっては技術・工学などの理系的な領域の学びも必要となるため、ビジネスデザイン学科の教育課程から以下の変更を行う。

- ・「プログラム開発」、「環境・エネルギー」、「バイオ・農林水産」、「統計・データ分析」の4つの科目を選択科目から選択必修科目へ変更する。
- ・「仕事で使う数学」を「教養・文化」から「ビジネス理論・知識」に科目区分を変更し、選択科目から選択必修科目へ位置付けを変更する。
- ・上記5科目のうち2科目（4単位）の修得を必須とする選択必修科目へ変更する。

#### ビジネスデザイン学科

科目名	単位数	科目区分	必・選	卒業要件単位数
プログラム開発	2	理論科目	選択	<u>選択科目のため</u> <u>修得は必須ではない</u>
環境・エネルギー	2			
バイオ・農林水産	2			
統計・データ分析	2			
<u>仕事で使う数学</u>	2	教養・文化科目	選択	<u>10科目中</u> <u>8科目（16単位）</u> <u>の修得が必要</u>



#### 本学部

科目名	単位数	科目区分	必・選	卒業要件単位数
プログラム開発	2	<u>ビジネス</u> <u>理論・知識</u>	<u>選択</u> <u>必修</u>	<u>5科目中</u> <u>2科目（4単位）</u> <u>の修得が必要</u>
環境・エネルギー	2			
バイオ・農林水産	2			
統計・データ分析	2			
<u>仕事で使う数学</u>	2			

上記の取り組みは、全て本学部独自の取り組みであるため、収容定員の増加による既設学部の教育課程への影響はない。

## (イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

### (1) 卒業要件

本学部では、4年以上在籍し、卒業に必要な所定の要件を満たし、合計124単位以上を修得したものに、学士（ビジネスデザイン）の学位を授与する。各科目区分の卒業要件単位数と、ビジネスデザイン学科からの変更内容は以下のとおりである。なお、必修単位数は92単位から変更はない。

#### ビジネスデザイン学科卒業要件

科目区分	卒業要件単位数	(うち必修単位数)
①専門演習	8単位	(8単位)
②実践演習	16単位	(16単位)
③スキル演習	24単位	(24単位)
④理論科目	24単位	(24単位)
⑤ドメイン科目	32単位	(16単位)
⑥教養・文化科目	16単位	(なし)
⑦インターンシップ	4単位	(4単位)
合計	124単位	(92単位)



#### 本学部卒業要件

科目区分	卒業要件単位数	(うち必修単位数)
①ビジネスデザイン演習	8単位	(8単位)
②ビジネスデザイン実践	16単位	(16単位)
③ビジネスデザイン思考	12単位	(12単位)
④ビジネス理論・知識	40単位	(36単位)
⑤ドメイン	28単位	(16単位)
⑥教養・文化	16単位	(なし)
⑦インターンシップ	4単位	(4単位)
合計	124単位	(92単位)

### (2) 授業を行う学生数

科目区分ごとの授業定員は以下のとおりである。演習形式である『ビジネスデザイン演習』と『ビジネスデザイン実践』は、きめ細かいPBL型授業が実施できるように15名から25名までの少人数定員を設定している。『ビジネスデザイン実践』は、入学時から2年間実施される基幹科目であり、本学部の特徴である“世界標準のリーダーシップ”を着実に身につけるため少人数で実施する。さらに授業では、ラーニングアシスタント（以下、「LA」という。）

による支援も活用して、丁寧な授業運営を行う。本学部における LA とは、上級生による授業のファシリテーターである。例えば、『ビジネスデザイン実践』の中の「PBL 入門」では、LA は教員と授業前には綿密な打合せを行い、授業後には教え方の振り返りを、1 回の授業につき、それぞれ約 2 時間行う。1 クラスにつき 2 名から 3 名の LA が配置され授業の支援を行う。上級生が教えることで、コミュニケーション力の養成はもちろん、知識の定着も深まることとなる。さらに、学生同士の学びあいは、上級生・下級生の双方に対し、学びに対する積極的態度を養成することが期待される。

科目区分	授業定員
①ビジネスデザイン演習	15 名
②ビジネスデザイン実践	25 名
③ビジネスデザイン思考	50 名から 200 名
④ビジネス理論・知識	50 名から 200 名
⑤ドメイン	50 名から 200 名
⑥教養・文化	15 名から 100 名
⑦インターンシップ	200 名

### (3) 履修登録科目の年間登録上限単位数

本学部は、ディプロマ・ポリシーに沿った人材育成を目的とした教育を実践するために、厳選した科目を配置している。このことにより学生が学期中に履修できる科目数は適正に設定され、授業のための予習・復習など学修時間を確保することができる。

1 年次は大学の学修習慣を形成する観点から、年間登録上限単位数を 40 単位と既設学部より 8 単位少なく設定している。2 年次と 3 年次は、興味・関心のある授業の幅広い学修を促すため、年間登録上限単位数を 1 年次より増やし 44 単位とする。なお、授業時間外の学修やフィードバックの時間を確保するため、既設学部より 4 単位低く設定している。4 年次は、学びの集大成となる「ビジネスデザイン演習Ⅱ」の卒業研究に集中して取り組むことを念頭に、年間登録上限単位数を 40 単位とし、1 年次同様、既設学部より 8 単位少なく設定している。

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	合計
本学部	40 単位	44 単位	44 単位	40 単位	168 単位
ビジネスデザイン学科	40 単位	40 単位	40 単位	40 単位	160 単位
既設学部	48 単位	48 単位	48 単位	48 単位	192 単位

### (4) 履修指導方法

本学部では、厳選した科目を配置しているため、履修する科目は学生による選択ではなく

一部選択科目を除き、指定となっている。そのため、入学時のオリエンテーションだけでなく、授業開始後も丁寧な履修指導を行う。まず、入学時のオリエンテーションでは、本学部の教育目的や特色を説明し、学修の順序とカリキュラムの全体像が俯瞰できるカリキュラム・ツリー、具体的な履修科目を示した履修モデルや、卒業までに身につける能力と科目の関係を示すカリキュラム・マップを使用してガイダンスを行う。

さらに1年次と2年次は「PBL」の授業担当者が主として履修指導を行い、3年次以降は、「ビジネスデザイン演習」の担当者が履修指導を行う。「(ア) (1) 教育課程の概要」に記載のとおり各科目の進捗状況を教員が共有する際に、学生の情報も併せて共有されるため、組織的な支援が可能である。本学部の成績は、個人レポート、プレゼンテーション、チーム成果などを組み合わせながら多面的に行われる。そして、評価は個人に対して、コメントをつけるなど丁寧なフィードバックも行われるため、教員と学生間の双方向のコミュニケーションが確保されている。さらに、授業がない時間帯には、前の授業の振り返りを行うためのグループワークの時間を設けており、教員が振り返りをサポートする。一方的な評価や一過性の学びに終わらないように、あらゆる場面で振り返りを行い学びの定着を図る教育方法を取り入れており、日常的に教員と学生間でフィードバックが行われる。他にも、LA から学生視点でアドバイスを受けることも可能であり、本学部のオフィススタッフも含めて組織的な指導体制を整える。

ビジネスデザイン学科に所属する学生の転学部にあたっては、丁寧に説明を行い転学部の同意を得ることはもちろん、転学部後も最短修業年限内での卒業に支障が出ないように必要な措置を行う。

**【資料 10】 ビジネスデザイン学部カリキュラム・ツリー**

**【資料 11】 ビジネスデザイン学部履修モデル**

**【資料 12】 ビジネスデザイン学部カリキュラム・マップ**

以上の取り組みはいずれも本学部独自のものであり、教育方法および履修指導方法について既設学部への影響はない。

#### (ウ) 教員組織の変更内容

本学部の収容定員が 800 名となるため、大学設置基準に定める専任教員基準人数は 14 名以上となる。本学部では設置初年度より 15 名の専任教員を配置するため、ビジネスデザイン学科からの学生の受入れと科目の開講は支障なく行える。15 名の教員は、ビジネスデザイン学科に所属する 7 名に加え、経営学部経営学科から 1 名の移籍と新規採用の 7 名で構成する。設置時の専任教員の職階と年齢構成は以下のとおりとなり、40 歳代を中心とした組織となる。定年となる教員 2 名は、「桃山学院大学ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科(仮称)任期付特任教員規程」により、完成年度まで特任教員として再雇用し、その後、現在の年齢構成が継続されるように後任の教員を補充する予定である。一

方、移籍元となる経営学部経営学科は専任教員の後任補充を行う予定であり、学生に不利益が生じることはなく教育の質を維持することが可能である。

	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	計
教 授		3	1	3	2	9
准教授	1	1	1			3
講 師		2		1		3
計	1	6	2	4	2	15

ビジネスデザインは、調査・分析に留まらず、企画・実践までやり抜くため、実務家教員（概ね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有するもの）および起業経験を積極的に採用する。配置する15名の専任教員のうち、7名が実務家教員で約半数となる。そのうち、実際に起業を経験したものが4名、起業をアドバイスする実務に携わってきたものが2名と計6名が起業に関する経験や知見を有している。

また、15名の専任教員は、女性教員6名、外国勤務経験者2名、公的機関勤務経験者2名など多様性に富んでおり、多角的な教育・研究の推進が見込まれる。

#### (エ)大学全体の施設・設備の変更内容

既述のとおり、本学は現在、大阪府和泉市を本拠地とし、既設学部は和泉キャンパスを教場としている。ビジネスデザイン学科については、企業・団体等との連携を前提とした教育内容であるため、船場で開設し、Osaka Metro「本町駅」直結のビルのワンフロアを教場としている。本学部は、2020（令和2）年9月に、大阪市阿倍野区昭和町にある桃山学院中学校高等学校と一部共用する校地に開設するキャンパス（通称あべのキャンパス）を教場とする。

あべのキャンパスは、JR、地下鉄（Osaka Metro）の主要ターミナル駅である「天王寺駅」から一駅の「昭和町駅」が最寄駅（徒歩約5分）であり、複数路線からアクセスが可能である。

本拠地とする和泉キャンパスの現在の大学設置基準上の校舎等敷地は85,862㎡、運動場敷地は84,176㎡であり、収容定員を増加した後の大学設置基準で必要とされる校地面積の64,800㎡を満たしている。本学部の学生はあべのキャンパスを教場として使用するため、今回の収容定員増加により既設学部の授業への影響はほとんどない。あべのキャンパスには、小教室4室、中教室1室、大教室4室（うち分割可能が3室）、個人研究室16室を配置する予定である。完成年度の時間割シミュレーションで、問題なく教場運用が可能であることを確認しているため、収容定員を増加した後も、本学部の教育研究活動を支障なく行える見込みである。

あべのキャンパス建物内は、本学部の学びのスタイルに合わせて、ディスカッション、プ

レゼンテーションが可能な教室に加え、学生同士、教員や企業人とコミュニケーションが可能なホワイエ（スペース）を建物内の各所に配置し、プロジェクトルームも3室備え、フィードバックや授業外学修を促進する。他にも、ライブラリースペース、ラーニングコモンズ、カフェ、ビジネスサポートセンターを備え、また、次世代の無線LAN規格であるWIFI6に対応したアクセスポイントを各フロアに配置するなど ICT 設備の環境を構築するとともに、各教室における AV 設備環境も整え、教育活動に支障のない施設・設備を整備する。

さらに、本学部は、企業・団体等と連携した教育を特徴としている。これら連携先の協力者には、授業での課題提出・評価にとどまらず、基幹科目の「PBL」や学びの集大成となる『ビジネスデザイン演習』において、学生とともにビジネスデザインに取り組んでいただく予定であり、学外協力者のコワーキングスペースも設置する予定である。

以上のことから、収容定員を増加した後も、施設・設備面において既設学部および本学部共に教育水準を維持できると考えている。

#### **【資料 13】 ビジネスデザイン学部時間割シミュレーション**

以 上

## 資料目次

- 【資料 1】 桃山学院大学と船場センタービル連盟との連携に関する協定書
- 【資料 2】 桃山学院大学と香里ヌヴェール学院中学校・高等学校との教育活動に関する協定書
- 【資料 3】 「リーダーシップ・キャラバン」 詳細
- 【資料 4】 「大阪府民の健康を考える」 大阪府×桃山学院大学ビジネスデザイン学科連携プロジェクト（大学公式 Web サイト掲載記事）
- 【資料 5】 アイデアソン in 本町 BDL
- 【資料 6】 「ニール・ヒンディ氏」 講演会
- 【資料 7】 大阪信用金庫との連携プログラム
- 【資料 8】 経営学部ビジネスデザイン学科の入試概要比較
- 【資料 9】 2020 年度総合型選抜（専願制）アイデアレポート課題
- 【資料 10】 ビジネスデザイン学部カリキュラム・ツリー
- 【資料 11】 ビジネスデザイン学部履修モデル
- 【資料 12】 ビジネスデザイン学部カリキュラム・マップ
- 【資料 13】 ビジネスデザイン学部時間割シミュレーション



## 【資料1】 桃山学院大学と船場センタービル連盟との連携協定

### 桃山学院大学と船場センタービル連盟との連携に関する協定書

桃山学院大学（以下、「甲」という。）と船場センタービル連盟（以下、「乙」という。）は、教育活動を中心とした連携・協力を促進するため、以下のとおり合意する。

#### （目的）

第1条 本協定は、甲と乙が授業等での連携・協力を図り、相互の発展に寄与することを目的とする。

#### （連携・協力事業）

第2条 甲と乙は、前条に定める目的を実現するために、次に掲げる分野における取り組みについて連携・協力する。

- (1) 「フィールドワーク（スキル演習）」等の授業運営および研究での連携
- (2) 高大連携に関する授業運営での連携
- (3) その他、双方が必要と認める事業

#### （連絡調整窓口）

第3条 甲と乙は、前条の事業を円滑かつ効果的に推進するために、それぞれ連絡調整の窓口を置く。

#### （協議事項）

第4条 甲と乙は、本協定に基づく連携・協力の具体的内容及び成果の利用条件その他必要な事項について、その都度協議して定めるものとする。

#### （情報保護）

第5条 甲と乙は、本協定に基づき連携・協力するに当たり、事前に相手方の同意を得た情報以外の情報を第三者に対して開示又は漏洩してはならない。ただし、法令に基づき開示請求された場合はこの場合に限らない。

#### （有効期間）

- 第6条
- 1 本協定の有効期間は、締結の日から1年間とする。ただし、本協定の有効期間満了日の1か月前までに、甲と乙のいずれからも改廃の申入れがない場合は、有効期間が更新されるものとし、その後も同様とする。
  - 2 甲及び乙は、有効期間内であっても、1か月前までに相手方に通知をすることにより、本協定を解除することができる。
  - 3 本協定が終了した場合は、その理由の如何を問わず、具体的な連携事項の取り扱いについては、甲乙間で別途協議をする。

#### （その他）

第7条 本協定に基づく運用に疑義が生じた場合及び本協定に定めのない事項が生じた場合は、甲と乙が協議の上、その取扱いを決定するものとする。

本協定締結の証として、本協定書2通を作成し、記名押印の上、甲と乙各1通を所持する。

2019年（令和元年）9月20日

桃山学院大学

船場センタービル連盟

学長

牧野丹奈子



会長

池永純造



## 【資料2】 桃山学院大学と香里ヌヴェール学院中学校・高等学校との教育活動に関する協定書

### 桃山学院大学と香里ヌヴェール学院中学校・高等学校との教育活動に関する協定書

桃山学院大学（以下「甲」という。）と香里ヌヴェール学院中学校・高等学校（以下「乙」という。）は、教育活動での連携・協力を促進するため、以下の通り合意する。

#### （目的）

第1条 本協定は、甲及び乙が授業等での連携・協力を図り、相互の発展に寄与することを目的とする。

#### （連携分野）

第2条 甲と乙は、前条に定める目的を実現するため、次に掲げる分野における取り組みについて連携・協力する。

- （1） 問題解決型学習（Project-Based Learning）の授業運営および研究での連携
- （2） 学生・生徒の交流に関すること
- （3） その他、高大接続・連携に関して双方が必要と認めること

#### （連絡調整窓口）

第3条 甲と乙は、前条の事項の円滑かつ効果的な推進を図るため、それぞれ連絡調整窓口を設置するものとする。

#### （協議事項）

第4条 甲と乙は、本協定に基づく連携・協力の具体的内容及び成果の利用条件その他必要な事項について、その都度協議して定めるものとする。

#### （情報保護）

第5条 甲と乙は、本協定に基づき連携・協力するに当たり、事前に相手方の同意を得た情報以外の情報を第三者に対して開示又は漏洩してはならない。ただし、法令に基づき開示請求された場合はこの限りではない。

#### （有効期間）

- 第6条
- 1 本協定の有効期間は、締結の日から1年間とする。ただし、本協定の有効期間満了日の1か月前までに、甲と乙のいずれからも改廃の申入れがない場合は、有効期間がさらに1年間更新されるものとし、その後も同様とする。
  - 2 甲及び乙は、有効期間内であっても、1か月前までに相手方に通知をすることにより、本協定を解除することができる。
  - 3 本協定が終了した場合は、その理由の如何を問わず、具体的な連携事項の取り扱いについては、甲乙間で別途協議をする。

#### （その他）

第7条 本協定に基づく運用に疑義が生じた場合及び本協定に定めのない事項が生じた場合は、甲と乙が協議の上、その取り扱いを決定するものとする。

本協定締結の証として、本協定書2通を作成し、記名押印の上、甲と乙各1通を所持する。

2019年（令和元年）9月20日

桃山学院大学

学長


牧野 丹春子



香里ヌヴェール学院中学校・高等学校

学校長

沢田 靖典



## 【資料3】「リーダーシップ・キャラバン」詳細

### ・第1回 リーダーシップ・キャラバン

日程：2019（令和元）年8月26日（月）から27日（火）

場所：早稲田大学早稲田キャンパス

参加大学：計12大学（桃山学院大学含む）

参加人数：桃山学院大学（経営学部ビジネスデザイン学科学生5名）

他大学計47名（大学院生1名含む）

参加企業：以下6社

アビームコンサルティング株式会社

アビームシステムズ株式会社

オリックス株式会社

日本郵便株式会社

ワイジェイFX株式会社

パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社

※実施形式：参加学生が大学混合で1チーム5名から6名に分かれ、参加企業の社員が1チームに1名メンターとして参加し、共通の課題について解決に取り組む。

### ・第2回 リーダーシップ・キャラバン in 関西

日程：2019（令和元）年11月30日（土）から12月1日（日）

場所：桃山学院大学本町BDL（ビジネスデザインラボ）

参加大学：計7大学（桃山学院大学含む）

参加人数：桃山学院大学（経営学部ビジネスデザイン学科学生10名）

他大学計16名（学部学生のみ）

参加企業：以下4社

アビームシステムズ株式会社

日本郵便株式会社

株式会社遠藤照明

パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社

※実施形式：参加学生が大学混合で1チーム5名から6名に分かれ、参加企業の社員が1チームに1名メンターとして参加し、共通の課題について解決に取り組む。

以上



# News

## ニュース一覧

- ▶ お知らせ・イベント
- ▶ 入試TOPICS
- ▶ キャンパスレポート

## 過去のお知らせ

- ▶ 2019年度ニュース一覧
- ▶ 2018年度ニュース一覧
- ▶ 2017年度ニュース一覧
- ▶ 2016年度ニュース一覧
- ▶ 2015年度ニュース一覧
- ▶ 2014年度ニュース一覧
- ▶ 2013年度ニュース一覧

2019.11.28

お知らせ・イベント

キャンパスレポート

## 大阪府庁でビジネスアイデアをプレゼン。「大阪府民の健康を考える」大阪府×桃山学院大学ビジネスデザイン学科連携プロジェクト

大阪府×ビジネスデザイン学科「大阪府民の健康を考える...



プレゼンテーションの様子（ダイジェスト）

11月26日（火）に大阪府庁にて、ビジネスデザイン学科の学生が府民の健康向上を目指すビジネスアイデアを大阪府職員の方々に向けてプレゼンテーションしました。

今回のプレゼンテーションは、10月28日（月）に大阪府健康医療部との連携プロジェクトを桃山学院大学本町BDL（ビジネスデザインラボ）にて実施した際、その中のプレゼンテーションでアイデアの斬新さと実現可能性の高さについて評価を得た優秀チーム（5名）が、取り組みの実現に向けて行ったものです。

優秀チームの5名は10月の提案以降、更にフィールド調査やアンケートを実施することで提案内容をブラッシュアップして、当日に臨みました。

プレゼンテーションでは、大阪府民の野菜摂取量を2倍にするための「ベジダブルレシピ」を提案し、今後、連携企業と実現に向けた調整に入ることになりました。



優秀チーム学生のプレゼンテーション



領家健康推進室長からの講評



集合写真

◀ 前の記事へ 一覧表示へ 次の記事へ ▶

学部・大学院

国際教養学部  
英語・国際文化学科  
社会学部 社会学科  
社会学部 社会福祉学科  
法学部 法律学科  
経済学部 経済学科  
経営学部 経営学科  
経営学部 ビジネスデザイン学科

大学院  
文学研究科  
社会学研究科  
経済学研究科  
経営学研究科

留学・国際体験

海外で国際体験  
キャンパス内で国際体験  
協定大学・機関  
外国語教育  
留学をバックアップする奨学金・援助金  
☆The world is wonderful!

就職・資格

☆数字でみる就活  
就活担任制  
支援プログラム  
進路・就職データ  
免許・資格  
学外オフィス  
「Web就職」  
企業採用ご担当者様へ

キャンパスライフ

☆Campus Walk  
学生サポート  
奨学金について  
年間スケジュール  
クラブ・サークル活動  
ボランティア活動  
学内コンテスト・表彰・奨励金  
学生生活調査レポート  
障がいのある学生の支援

研究・地域連携

大学紹介

学長メッセージ  
建学の精神・学院章沿革  
3つの方針  
教員データベース  
教育・研究・事務組織  
よりよい大学運営へ  
キャンパスマップ  
大学紹介ツール  
外部評価  
情報公表

入試情報

入試制度  
オープンキャンパス  
進学相談会

▶ 附置・付属機関 ▶ 学校法人桃山学院 ▶ 桃山学院中学校・高等学校 ▶ 桃山学院教育大学 ▶ 一般社団法人 桃山学院大学同窓会  
▶ 桃山学院大学教育後援会 ▶ 株式会社アンデレパートナーズ



ご支援について | サイトマップ | 採用情報 | 関連リンク | 情報セキュリティに関する基本方針 | 個人情報の取扱いについて | サイトポリシー  
| ソーシャルメディア・ポリシー | プレスリリース | メディア出演・出版物 | 教員データベース

桃山学院大学

<和泉キャンパス> 〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1 TEL.0725-54-3131 (代表)  
<本町B D L> 〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町3-5-19大阪ディーアイシービル4F  
<梅田サテライト> 〒530-0001 大阪市北区梅田1-12-17梅田スクエアビルディング8F

Copyright © Momoyama Gakuin University. All Rights Reserved.

日本電通株式会社アサガオプロジェクト

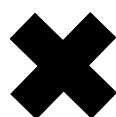
社会を変える**アイデア**を**デザイン思考**で作り上げよう！

# アイデアソン in 本町BDL

2020年2月15日(土)～16日(日)



桃山学院大学



大阪電気通信大学

文系×理系

## ■ プログラム概要

このプログラムでは、2日という短期間で新規アイデアを作り上げ、その成果を競い合います。ビジネス系、情報系など異なる分野の学生が集まって、互いにリーダーシップを発揮しながら社会を変えるアイデアを生み出しましょう。グループワークでは近年多くの企業で採用されている革新的なアイデアを生み出すための「デザイン思考」を用います。

## ■ 実施場所:

桃山学院大学 本町BDL 【ビジネスデザインラボ】  
〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町3-5-19  
大阪ディーアイシービル4F

## ■ 参加対象:

起業を目指す学生、リーダーシップを学びたい学生、デザイン思考を学びたい学生、文系と理系のコミュニケーションを学びたい学生

## ■ 参加費:無料

## ■ 定員:10名

※応募多数の場合、PBL、IT基礎、課外活動等の参加度により選考

## ■ 1日目(2/15(土))

10:30～: 開会およびテーマ発表  
11:00～: チームビルディング  
12:00～: 休憩  
13:00～: グループワーク  
16:30～: 中間発表およびフィードバック  
17:00～: 振り返りと作戦会議

## ■ 2日目(2/16(日))

9:30～: 発表のフレームワーク説明  
10:00～: グループワーク  
12:00～: 休憩  
13:00～: グループワーク  
14:00～: プレゼンテーション  
15:00～: 審査発表および講評  
15:30～: 振り返り  
17:00～: 閉会

👉 参加希望の方はBDオフィスにお問い合わせください。(応募締切 1/17(金))

Art

Business

# 「ニール・ヒンディ氏」 講演会

世界を代表する起業家たちが学んでいる「アート」。

欧州トップクラスのビジネススクールで教えられている「アート×ビジネス」の思考法について、直接聞ける貴重な機会です。

ニール氏の緊急来日に合わせて、BD 学科の皆さんへの特別講演が決定しましたので、ぜひ、皆さんご参加ください！

## 《詳細》

- 日程 : 2019年11月8日(金)
- 時間 : 15:30~17:00 (90分)
- 場所 : 本町BDL
- テーマ :
  - ① 「アーティストと起業家の共通点」
  - ② 「ビジネスの経験がなくても起業を志すことができる」
  - ③ 「世界のクリエイティブを抱えて成功する起業家や企業の事例を披露」

**※参加希望の方は BDL オフィスまで！**

## ニール・ヒンディ Nir Hindi

イスラエル・テルアビブ出身。起業家。アートの世界の実践やプロセス、テクニックをもとにイノベーションと創造性に関するトレーニングを提供し、ビジネスと起業家精神にアートの思考を融合する The Artian の創業者。



参考 URL を学生の皆さんのメールに送っていますので、良かったらご覧ください！

# 大阪信用金庫

## との連携プログラム

### 開催決定!!

大阪信用金庫と VC のフューチャーベンチャーキャピタル株式会社が  
本町 BDL にお越しいただきます。

大阪信用金庫のファンド制度の事例紹介もご説明いただきます。

既に事業を考えている学生はもちろん、将来的に事業を考えたいと思っている学生も、  
ぜひ、この機会を利用してください。

#### 《詳細》

- 日程 : 2020 年 3 月 13 日(金)
- 時間 : 13 時から 14 時 30 分 (90 分)
- 場所 : 本町BDL
- テーマ :

①ファイナンス(資金調達)やマネタイズ(収益)に関する基本知識について

②大阪信用金庫のファンド制度について

【大阪信用金庫】<http://www.osaka-shinkin.co.jp/index.html>

【おおさか事業継承・創業支援ファンド】

[http://www.osaka-shinkin.co.jp/pdf/news/20191023\\_news.pdf](http://www.osaka-shinkin.co.jp/pdf/news/20191023_news.pdf)

**※参加希望の方は BDL オフィスまで！**

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社とは？

▶ <https://www.fvc.co.jp/>





## 【資料 8】経営学部ビジネスデザイン学科の入試概要比較

### ○2019・2020年度の入試スケジュール

	9月	11月	12月	2月①	2月②	3月
2019年度	総合型 選抜 (専願)	公募制 推薦	総合型 選抜 (併願)	一般入試/ センター 利用入試	総合型 選抜 (併願)	一般入試/ センター 利用入試
2020年度	総合型 選抜 (専願)	総合型 選抜 (併願)	総合型 選抜 (併願)	一般入試/ センター 利用入試 <u>面接有</u>	総合型 選抜 (併願)	総合型 選抜 (併願)

### ○ビジネスデザイン学科の入試制度

- ・「総合型選抜（企業採用型）」：ビジネスデザイン学科独自の試験制度（詳細は以下参照）  
2019年度3回→2020年度 5回に拡大／募集人員40名→50名に増員
- ・「公募制推薦入試」：学科試験に加え面接試験を実施
- ・「一般入試」：学科試験に加え面接試験を実施
- ・「センター試験利用入試」：2019年度は大学入試センター試験の成績のみで合否判定  
2020年度は面接試験を実施

【参考】募集人員の内訳推移

2019年度 「総合型選抜」40名・学科試験型30名 計70名

2020年度 「総合型選抜」50名・学科試験型20名 計70名

### ○「総合型選抜（企業採用型）」の概要

スケジュール	選考方法	内容
10:00～10:30	基礎能力検査	数的処理能力、言語能力、時事問題を問う問題を出題
10:50～11:05 11:10～12:10	アイデア レポート作成	15分程度の教員の講義を受講後、出題された問題に対して、A3用紙1枚の <u>アイデアレポート（企画書）を60分で作成</u>
13:10～順次	グループ面接	上記で作成したアイデアレポート（企画書）に対する <u>プレゼンテーション（3分）、他者へのフィードバック（1分）、プレゼンテーションの内容や志望動機等の質疑応答（5分程度）</u> を実施
15:40～16:30	グループワーク	個別に作成したアイデアレポート（企画書）を <u>グループで1枚にまとめるワーク（50分）</u> を実施

### ○「総合型選抜（企業採用型）」の特徴

学科の学びの特徴を理解し、求める学生像に合う学生に入学してもらうことを目的として、入学後に必要となるチームワーク、協調性やコミュニケーション力を試験で確認している。

受験生も、学科の学びを理解して入学を決定できる重要な機会となる。

従来の学科試験型と異なり試験の対策が立てづらく、他学部等との併願が困難である。

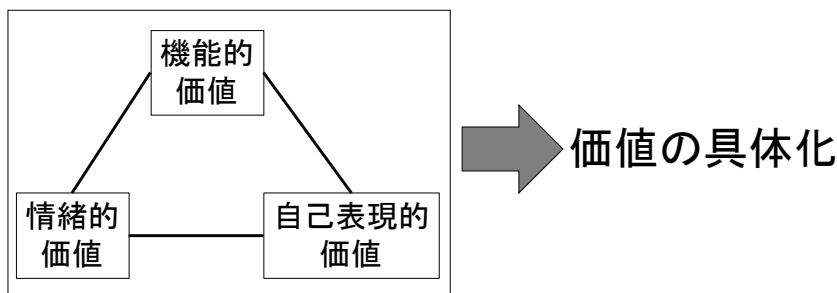
志願者数の獲得には向かないが、入学意欲が高い受験生とのマッチングに有効な試験であり、合格者の入学手続状況も既設学部等に比べて高い結果が見られた。

（2019年度入学手続率：ビジネスデザイン学科 約71%、本学既設学科 約41%）

## 2020年度 総合型選抜（専願制） アイデアレポート課題

- 経営学部にて特色を有した近畿地方の大学において、学生が有意義な学生生活を過ごすにあたり、大学側はどのような「価値」を提供することが有益と考えますか。自身が経営者になったつもりで具体的なプランを提案してください。その際、企画名（プラン名）を付してください。また、提案の内容はイラスト（絵・図・表）で示しても結構です。
  - ✓ アイデアレポートを作成する際には、ミニ講義で提示した「価値に関する考え方」の内容を活用すると共に、下記の「活用できる大学資源に関わるヒント」も参照してください。

### 価値に関する考え方

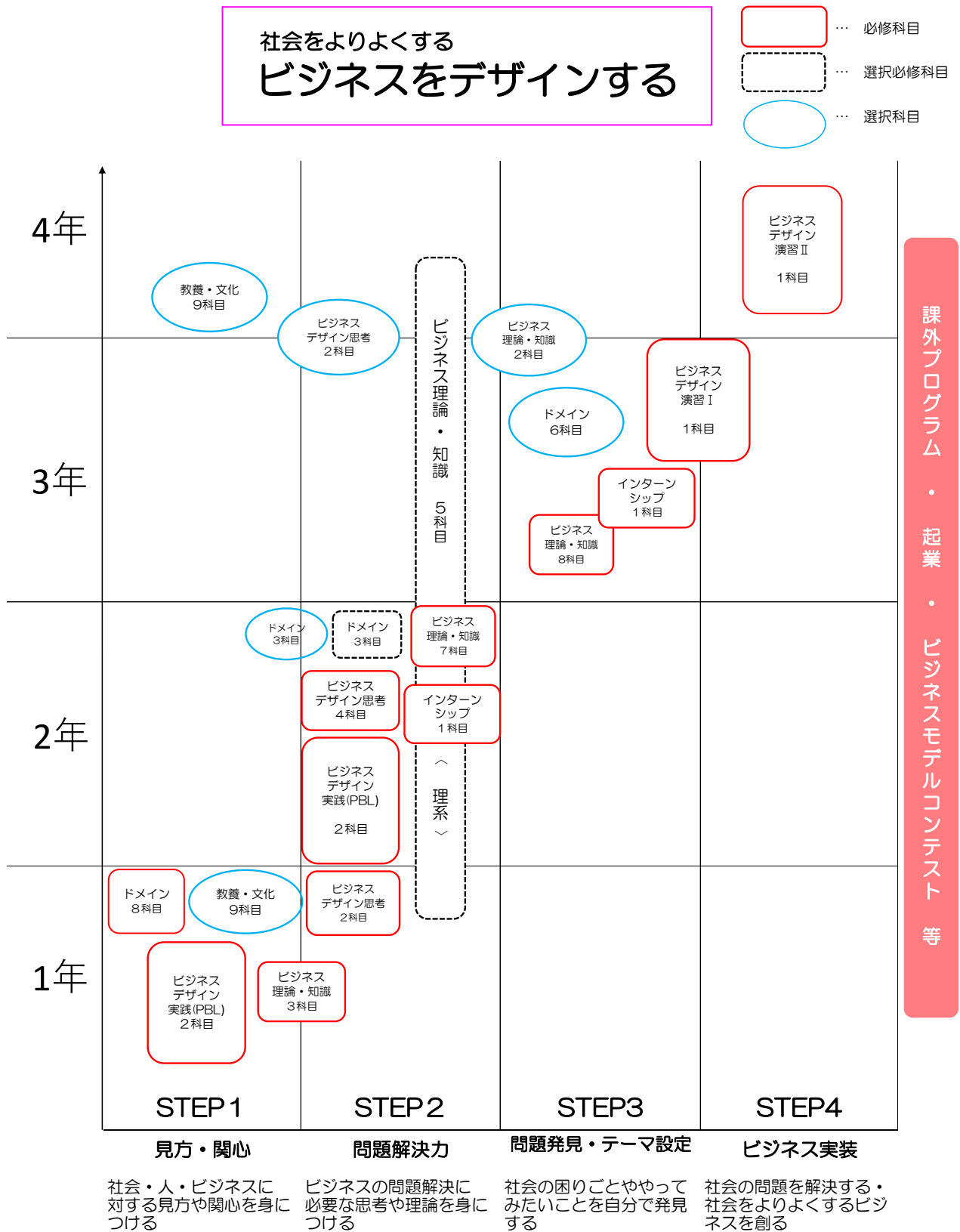


機能的価値	情緒的価値	自己表現的価値
商品・サービスや人物に備わっている働きや役目、性能のこと	その商品・サービスや人物と関わることや所有することによって得られるポジティブな感情	その商品・サービスや人物と関わることや所有することによって得られる自己表現・自己実現

### 活用できる大学資源に関わるヒント

- そもそも大学とはどのような場なのかについて上記の図の分類に基づいて考えてみよう。
- 大学資源にはどのようなモノ・コトがあるのかについて整理してみよう。
  - ✓ どのような正課科目が必要か？
  - ✓ どのような課外プログラム・課外活動が必要か？
  - ✓ どのような組織運営（教員・職員の役割など）が必要か？
  - ✓ どのような設備が必要か？
  - ✓ どのような社会との連携（地域連携、企業連携、行政連携など）が必要か？
  - ✓ その他いろいろな大学資源を考えてみてください。

# 「ビジネスデザイン学部カリキュラム・ツリー」



【資料11】 ビジネスデザイン学部 履修モデル

科目区分	卒業要件	1年次		2年次		3年次		4年次		
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
演 D	8					ビジネスデザイン演習 I (通期:履修登録は春学期に4単位)	4		ビジネスデザイン演習 II (通期:履修登録は春学期に4単位)	4
実 D	16	PBL入門 I 4	PBL入門 II 4	PBL応用 I 4	PBL応用 II 4					
B D 思考	12	ビジネス基礎 2 ビジネスリーダーシップ 2		ビジネスモデル 2	ロジカルシンキング 2 ビジネスモデル演習 2 問題解決法 2					
ビ ジ ネ ス 理 論 ・ 知 識	36	IT基礎 2	プレゼンテーション 2 ビジネス英語基礎 2	フィールドワーク 2 マーケティング 2 テクノロジーとイノベーション 2	起業とファイナンス 2 組織デザインと人事管理 2 アカウンティング 2 ビジネス英語応用 2	グローバルビジネス 2 ビジネスと法 2 商品企画 2 ビジネスコミュニケーション 2	ビジネスの社会性 2 プロジェクトマネジメント 2 ビジネスライティング 2 経営戦略 2			
ド メ イ ン	16	食ビジネスA 2 農ビジネス 2 健康・スポーツビジネス 2 福祉・医療・教育ビジネス 2	食ビジネスB 2 アパレル・住居ビジネス 2 まちづくり・観光ビジネス 2 ITビジネス 2							
I S	4			インターンシップ I (通期:履修登録は春学期に2単位)	2	インターンシップ II (通期:履修登録は春学期に2単位)	2			
必修計	84	18	16	14	18	14	8	4	0	
		34		32		22		4		

思 考 D	選 択	-				デザインシンキング		ビジネスモデル実践		ビジネスモデル実践	
理 論 ・ 知 識	選 択 必 修	4	仕事で使う数学		仕事で使う数学 プログラム開発 2 環境・エネルギー	統計・データ分析 バイオ・農林水産	済	統計・データ分析 2 バイオ・農林水産	済	仕事で使う数学 プログラム開発 環境・エネルギー	済
	選 択	-				マーケティング実践		アカウンティング実践			
ド メ イ ン	選 択 必 修	2			ファミリー企業経営 ベンチャー企業経営 社会的企業経営 2						
	選 択	10 以上			フードシステム論 2 店舗マネジメント 2 高齢者と介護	食文化論 2 農産物市場論 2 子どもの暮らしと社会	2	食品産業論 2 健康とスポーツ 2 地域とボランティア	2		
教 養 ・ 文 化	選 択	16 以上	小説・詩・俳句 (A) イラスト・絵画 (A) 将棋・囲碁 (A) 華道・茶道の心 (A) 2	映像・メディア (B) 演劇・朗読 (B) 2 政治・経済のニュース (B) モチベーションとストレスケア (B) 世界の宗教・人権 (C) 2				小説・詩・俳句 (A) イラスト・絵画 (A) 2 将棋・囲碁 (A) 2 華道・茶道の心 (A) 済	2 2 2 済	映像・メディア (B) 演劇・朗読 (B) 政治・経済のニュース (B) モチベーションとストレスケア (B) 世界の宗教・人権 (C) 済	2 済 2 2 済
選択科目 登録単位数		2	4	4	4	4	4	4	6		
年間履修登録 単位数計		20	20	18	22	18	12	8	6		
		40	残り登録可能単位数 0	40	残り登録可能単位数 4	30	残り登録可能単位数 14	14	残り登録可能単位数 26		
累計		40		80		110		124			

【資料12】 ビジネスデザイン学部カリキュラム・マップ

＜ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科のディプロマ・ポリシー＞  
 本学の建学の精神は「キリスト教精神に基づく世界の市民の養成」です。世界の市民とは、他者を思いやる感性と自己を確立したうえで、世界のどこでも誰とでも協働できる人材を意味します。また、今日の社会では、SDGsの実現やSociety5.0に向けた人材育成が必要とされています。  
 以上のような建学の精神および社会の要請の双方の視点から、ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科では、ビジネスを「社会に対して持続的に価値を創り出す活動」と、従来のビジネスよりも幅広く捉えています。ビジネスをデザインするとは「多様な人々と共に新しいビジネスを構想・企画し実現可能な仕組みをつくる」と捉えます。  
 学内にとどまらない活動を含めた多様な学びによって所定の単位を修得し、さらにビジネスデザイン演習を通じて、ビジネスをデザインする能力を獲得した学生に対し、学士（ビジネスデザイン）の学位を授与します。ビジネスをデザインする能力を獲得する過程を通じて、以下の力を身につけます。（下記、身につける5つの力 参照）

ビジネスをデザインする能力	
主に身につける 5つの力	1. 課題解決に必要な幅広い知識・技能、論理的思考力・判断力・表現力
	2. 取り組むべき社会の課題を発見し、その解決策を考え出し、実行することで、社会に対して持続的に価値を創造する力
	3. 自ら行動し、関係する人々と協働できる高度なコミュニケーション力とリーダーシップ
	4. 新たな価値を創造するために、必要な感性や美意識などの教養
	5. ビジネスを実現するために、現実において粘り強くやり抜く力

科目区分	科目名	開講時期	単位	必修・選択	主に身につける5つの力				
					1	2	3	4	5
ビジネスデザイン 演習	ビジネスデザイン演習Ⅰ	3通	4	必修	◎	◎	◎	◎	◎
	ビジネスデザイン演習Ⅱ	4通	4	必修	◎	◎	◎	◎	◎
ビジネスデザイン 実践	PBL入門Ⅰ	1前	4	必修		○	◎		
	PBL入門Ⅱ	1後	4	必修		○	◎		
	PBL応用Ⅰ	2前	4	必修		○	◎		
	PBL応用Ⅱ	2後	4	必修		○	◎		
ビジネスデザイン 思考	ビジネス基礎	1前	2	必修	◎	◎			
	ビジネスリーダーシップ	1前	2	必修	○	◎	◎		
	ビジネスモデル	2前	2	必修	○	◎			
	ビジネスモデル演習	2後	2	必修	○	◎			
	問題解決法	2後	2	必修	○	◎			
	ロジカルシンキング	2後	2	必修	◎	◎			
	デザインシンキング	3前	2	選択	○	◎			
	ビジネスモデル実践	3・4前	2	選択	○	◎			
ビジネス 理論・知識	IT基礎	1前	2	必修	◎				
	プレゼンテーション	1後	2	必修	◎				
	ビジネス英語基礎	1後	2	必修	◎				
	フィールドワーク	2前	2	必修	◎				
	マーケティング	2前	2	必修	◎				
	テクノロジーとイノベーション	2前	2	必修	◎				
	起業とファイナンス	2後	2	必修	◎				
	組織デザインと人事管理	2後	2	必修	◎		○		
	アカウンティング	2後	2	必修	◎				
	ビジネス英語応用	2後	2	必修	◎				
	グローバルビジネス	3前	2	必修	◎				
	ビジネスと法	3前	2	必修	◎				
	商品企画	3前	2	必修	◎				
	ビジネスコミュニケーション	3前	2	必修	◎		○		
	ビジネスの社会性	3後	2	必修	◎				
	プロジェクトマネジメント	3後	2	必修	◎				
	ビジネスライティング	3後	2	必修	◎				
	経営戦略	3後	2	必修	◎				
	仕事で使う数学	1・2・3・4前	2	選択必修	◎				
	プログラム開発	2・3・4前	2	選択必修	◎				
統計・データ分析	2・3・4後	2	選択必修	◎					
バイオ・農林水産	2・3・4後	2	選択必修	◎					
環境・エネルギー	2・3・4前	2	選択必修	◎					
マーケティング実践	3・4前	2	選択	◎	○				
アカウンティング実践	3・4後	2	選択	◎	○				
ドメイン	食ビジネスA	1前	2	必修		◎	○		
	食ビジネスB	1後	2	必修		◎	○		
	農ビジネス	1前	2	必修		◎	○		
	福祉・医療・教育ビジネス	1前	2	必修		◎	○		
	健康・スポーツビジネス	1前	2	必修		◎	○		
	アパレル・住居ビジネス	1後	2	必修		◎	○		
	まちづくり・観光ビジネス	1後	2	必修		◎	○		
	ITビジネス	1後	2	必修		◎	○		
	ファミリー企業経営	2前	2	選択必修	○	◎			
	ベンチャー企業経営	2前	2	選択必修	○	◎			
	社会的企業経営	2前	2	選択必修	○	◎			
	フードシステム論	2後	2	選択	○	◎			
	店舗マネジメント	2後	2	選択	○	◎			
	高齢者と介護	2後	2	選択	○	◎			
	食文化論	3前	2	選択	○	◎			
	農産物市場論	3前	2	選択	○	◎			
	子どもの暮らしと社会	3前	2	選択	○	◎			
	食品産業論	3後	2	選択	○	◎			
	健康とスポーツ	3後	2	選択	○	◎			
	地域とボランティア	3後	2	選択	○	◎			
教養・文化	小説・詩・俳句	1・2・3・4前	2	選択				◎	
	イラスト・絵画	1・2・3・4前	2	選択				◎	
	将棋・囲碁	1・2・3・4前	2	選択				◎	○
	華道・茶道の心	1・2・3・4前	2	選択				◎	○
	映像・メディア	1・2・3・4後	2	選択				◎	
	演劇・朗読	1・2・3・4後	2	選択				◎	
	政治・経済のニュース	1・2・3・4後	2	選択	○			◎	
	モチベーションとストレスケア	1・2・3・4後	2	選択			○	◎	○
	世界の宗教・人権	1・2・3・4後	2	選択	○	○	○	◎	
インターンシップ	インターンシップⅠ	2通	2	必修		○	○		◎
	インターンシップⅡ	3通	2	必修		○	○		◎

◎ この科目で主として身に付くDPに記載の能力 ○ この科目で身に付くDPに記載の能力

# 【資料13】 ビジネスデザイン学部時間割シミュレーション

春学期

階数	教室等名称	月					火					水				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	大教室(分割可)	健康・スポーツビジネス 【Fメ・必・1】200人	マーケティング 【理論・必・2】200人	食ビジネスA 【Fメ・必・1】200人			PBL入門 I 01 【実践・必・1】25人	PBL入門 I 01 【実践・必・1】25人	PBL応用 I 01 【実践・必・2】25人	PBL応用 I 01 【実践・必・2】25人						
6	大教室6															
	中教室				小説・詩・俳句 【教養・選・1~】100人		PBL入門 I 03 【実践・必・1】25人	PBL入門 I 03 【実践・必・1】25人	PBL応用 I 03 【実践・必・2】25人	PBL応用 I 03 【実践・必・2】25人						
7	大教室7(分割可)	農産物市場論 【Fメ・選・3】200人		フィールドワーク01 【理論・必・2】55人	フィールドワーク03 【理論・必・2】55人	マーケティング実践 【理論・再・3~】100人	PBL入門 I 05 【実践・必・1】25人	PBL入門 I 05 【実践・必・1】25人	PBL応用 I 05 【実践・必・2】25人	PBL応用 I 05 【実践・必・2】25人		ビジネス基礎01 【思考・必・1】55人	ビジネス基礎03 【思考・必・1】55人			
	小教室			フィールドワーク02 【理論・必・2】55人	フィールドワーク04 【理論・必・2】55人							ビジネス基礎02 【思考・必・1】55人	ビジネス基礎04 【思考・必・1】55人			ベンチャー企業経営 【Fメ・選・必・2】70人
8	大教室8(分割可)		子どもの暮らしと社会 【Fメ・選・3】200人	ビジネスと法 【理論・必・3】200人	食文化論 【Fメ・選・3】200人										グローバルビジネス 【理論・選・3】200人	
	小教室 8-1						PBL入門 I 06 【実践・必・1】25人	PBL入門 I 06 【実践・必・1】25人	PBL応用 I 06 【実践・必・2】25人	PBL応用 I 06 【実践・必・2】25人						
	小教室 8-2						PBL入門 I 07 【実践・必・1】25人	PBL入門 I 07 【実践・必・1】25人	PBL応用 I 07 【実践・必・2】25人	PBL応用 I 07 【実践・必・2】25人					将棋・囲碁01 【教養・選・1~】25人	
	小教室 8-3					PBL入門 I 08 【実践・必・1】25人	PBL入門 I 08 【実践・必・1】25人	PBL応用 I 08 【実践・必・2】25人	PBL応用 I 08 【実践・必・2】25人							
階数	教室等名称	木					金					土				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	大教室5(分割可)	ビジネスコミュニケーション01 【理論・必・3】55人	ビジネスコミュニケーション03 【理論・必・3】55人				デザイン演習 II 08 【演習・必・4】15人	デザイン演習 II 01 【演習・必・4】15人	デザイン演習 I 08 【演習・必・3】15人	デザイン演習 I 01 【演習・必・3】15人						
6	大教室6	ビジネスコミュニケーション02 【理論・必・3】55人	ビジネスコミュニケーション04 【理論・必・3】55人				デザイン演習 II 09 【演習・必・4】15人	デザイン演習 II 02 【演習・必・4】15人	デザイン演習 I 09 【演習・必・3】15人	デザイン演習 I 02 【演習・必・3】15人						
	中教室		社会的企業経営 【Fメ・選・必・2】70人		ビジネスモデル実践 【思考・再・3~】100人			商品企画 【理論・必・3】200人				仕事で使5数学 【理論・選・必・1~】100人				
	小教室6		ビジネスリーダーシップ01 【思考・必・1】55人	ビジネスリーダーシップ03 【思考・必・1】55人			デザイン演習 II 10 【演習・必・4】15人	デザイン演習 II 03 【演習・必・4】15人	デザイン演習 I 10 【演習・必・3】15人	デザイン演習 I 03 【演習・必・3】15人		イラスト・絵画 【教養・選A・1~】100人				
7	大教室7(分割可)		ビジネスリーダーシップ02 【思考・必・1】55人	ビジネスリーダーシップ04 【思考・必・1】55人			デザイン演習 II 11 【演習・必・4】15人	デザイン演習 II 04 【演習・必・4】15人	デザイン演習 I 11 【演習・必・3】15人	デザイン演習 I 04 【演習・必・3】15人						
	小教室		IT基礎03 【理論・必・1】55人	IT基礎01 【理論・必・1】55人			ファミリー企業経営 【Fメ・選・必・2】70人					インターンシップ I 【インターンシップ・必・2】200人				
8	大教室8(分割可)		IT基礎04 【理論・必・1】55人	IT基礎02 【理論・必・1】55人				農ビジネス 【Fメ・必・1】200人				インターンシップ II 【インターンシップ・必・3】200人	プログラム開発 【理論・選・必・2~】100人			
	小教室 8-1			デザインシンキング 【思考・選択・3】70人	ビジネスモデル 【理論・必・2】200人	テクノロジーイノベーション 【理論・必・2】200人	福祉・医療・教育ビジネス 【Fメ・必・1】200人									
	小教室 8-2							デザイン演習 II 12 【演習・必・4】15人	デザイン演習 II 05 【演習・必・4】15人	デザイン演習 I 12 【演習・必・3】15人	デザイン演習 I 05 【演習・必・3】15人					
	小教室 8-3							デザイン演習 II 13 【演習・必・4】15人	デザイン演習 II 06 【演習・必・4】15人	デザイン演習 I 13 【演習・必・3】15人	デザイン演習 I 06 【演習・必・3】15人					
	小教室 8-3			環境・エネルギー 【理論・選・必・2~】100人			デザイン演習 II 14 【演習・必・4】15人	デザイン演習 II 07 【演習・必・4】15人	デザイン演習 I 14 【演習・必・3】15人	デザイン演習 I 07 【演習・必・3】15人						

科目名(クラス) 【科目群・必修or選択・履修年次】 授業定員

# 【資料13】ビジネスデザイン学部時間割シミュレーション

秋学期

階数	教室等 名称	月					火					水				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	大教室5 (分割可)	アパレル・住居ビジネス 【ドメ・必・1】200人	プロジェクトマネジメント 【理論・必・3】200人	ITビジネス 【ドメ・必・1】200人	店舗マネジメント 【ドメ・選・2】200人		PBL入門Ⅱ01 【実践・必・1】25人	PBL入門Ⅱ01 【実践・必・1】25人	PBL応用Ⅱ01 【実践・必・2】25人	PBL応用Ⅱ01 【実践・必・2】25人						
6	大教室6											映像・メディア 【教養・選・1~】100人	演劇・朗読 【教養・選・1~】100人	政治・経済の二コース 【教養・選・1~】100人	モチベーションとストレスケア 【教養・選・1~】100人	
	中教室						PBL入門Ⅱ03 【実践・必・1】25人	PBL入門Ⅱ03 【実践・必・1】25人	PBL応用Ⅱ03 【実践・必・2】25人	PBL応用Ⅱ03 【実践・必・2】25人						
	小教室6						PBL入門Ⅱ04 【実践・必・1】25人	PBL入門Ⅱ04 【実践・必・1】25人	PBL応用Ⅱ04 【実践・必・2】25人	PBL応用Ⅱ04 【実践・必・2】25人						
7	大教室7 (分割可)	ロジカルシンキング01 【思考・必・2】155人	ロジカルシンキング03 【思考・必・2】155人	高齢者と介護 【ドメ・選・2】200人		PBL入門Ⅱ05 【実践・必・1】25人	PBL入門Ⅱ05 【実践・必・1】25人	PBL応用Ⅱ05 【実践・必・2】25人	PBL応用Ⅱ05 【実践・必・2】25人		問題解決法01 【思考・必・2】155人	問題解決法03 【思考・必・2】155人	ビジネスライティング01 【理論・必・3】155人	ビジネスライティング03 【理論・必・3】155人		
8	大教室8 (分割可)			地域とボランティア 【ドメ・選・3】200人	健康とスポーツ 【ドメ・選・3】200人	ビジネスの社会性 【理論・必・3】200人							経営戦略 【理論・必・3】200人	組織デザインと人事管理 【理論・必・2】200人		
	小教室 8-1						PBL入門Ⅱ06 【実践・必・1】25人	PBL入門Ⅱ06 【実践・必・1】25人	PBL応用Ⅱ06 【実践・必・2】25人	PBL応用Ⅱ06 【実践・必・2】25人						
	小教室 8-2						PBL入門Ⅱ07 【実践・必・1】25人	PBL入門Ⅱ07 【実践・必・1】25人	PBL応用Ⅱ07 【実践・必・2】25人	PBL応用Ⅱ07 【実践・必・2】25人						
	小教室 8-3						PBL入門Ⅱ08 【実践・必・1】25人	PBL入門Ⅱ08 【実践・必・1】25人	PBL応用Ⅱ08 【実践・必・2】25人	PBL応用Ⅱ08 【実践・必・2】25人						
階数	教室等 名称	木					金					土				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	大教室5 (分割可)	プレゼンテーション01 【理論・必・1】155人	プレゼンテーション03 【理論・必・1】155人		世界の宗教・人権 【教養・1~】200人			デザイン演習Ⅱ08 【演習・必・4】15人	デザイン演習Ⅱ01 【演習・必・4】15人	デザイン演習Ⅱ08 【演習・必・3】15人	デザイン演習Ⅱ01 【演習・必・3】15人		統計・データ分析 【理論・選・必・2~】 100人			
6	大教室6		アカウンティング 【理論・必・2】200人													
	中教室	バイオ・農林水産 【理論・選・必・2~】100人					デザイン演習Ⅱ10 【演習・必・4】15人	デザイン演習Ⅱ03 【演習・必・4】15人	デザイン演習Ⅱ10 【演習・必・3】15人	デザイン演習Ⅱ03 【演習・必・3】15人						
	小教室6						デザイン演習Ⅱ11 【演習・必・4】15人	デザイン演習Ⅱ04 【演習・必・3】15人	デザイン演習Ⅱ11 【演習・必・3】15人	デザイン演習Ⅱ04 【演習・必・3】15人						
7	大教室7 (分割可)	ビジネス英語基礎03 【理論・必・1】155人	ビジネス英語基礎01 【理論・必・1】155人	ビジネス英語応用01 【理論・必・2】155人	ビジネス英語応用03 【理論・必・2】155人	まちづくり・観光ビジネス 【ドメ・必・1】200人		食ビジネスB 【ドメ・必・1】200人					インターシップⅠ 【インターシップ・必・2】 200人			
8	大教室8 (分割可)	ビジネス英語基礎04 【理論・必・1】155人	ビジネス英語基礎02 【理論・必・1】155人	ビジネス英語応用02 【理論・必・2】155人	ビジネス英語応用04 【理論・必・2】155人		ビジネスモデル演習01 【思考・必・2】155人	ビジネスモデル演習03 【思考・必・2】155人	フードシステム論 【ドメ・選・2】200人				インターシップⅡ 【インターシップ・必・3】 200人			
	小教室 8-1		食品産業論 【ドメ・選・3】200人				ビジネスモデル演習02 【思考・必・2】155人	ビジネスモデル演習04 【思考・必・2】155人								
	小教室 8-2						デザイン演習Ⅱ12 【演習・必・4】15人	デザイン演習Ⅱ05 【演習・必・4】15人	デザイン演習Ⅱ12 【演習・必・3】15人	デザイン演習Ⅱ05 【演習・必・3】15人						
	小教室 8-3						デザイン演習Ⅱ13 【演習・必・4】15人	デザイン演習Ⅱ06 【演習・必・4】15人	デザイン演習Ⅱ13 【演習・必・3】15人	デザイン演習Ⅱ06 【演習・必・3】15人						

科目名(クラス) 【科目群・必修or選択・履修年次】 授業定員

# 学生の確保の見通し等を記載した書類

## 目次

<b>1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況</b> . . . . .	p. 1
①学生の確保の見通し	
ア 定員充足の見込み . . . . .	p. 1
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要 . . . . .	p. 4
②学生確保に向けた具体的な取組状況 . . . . .	p. 6
<b>2. 人材需要の動向等社会の要請</b> . . . . .	p. 8
①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） . . . . .	p. 8
②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を 踏まえたものであることの客観的な根拠 . . . . .	p. 8



## 1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

### ①学生の確保の見通し

#### ア 定員充足の見込み

##### (1) 入学定員設定の考え方

桃山学院大学（以下、「本学」という。）は2021（令和3）年4月に、ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科（入学定員200名、収容定員800名。以下、「本学部」という。）を大阪市内（大阪市阿倍野区昭和町）に設置する。

本学部は、Society5.0時代に新たなビジネスを創造することによって、社会課題を解決できる人材の育成を目的としている。社会課題を解決するための実践的な学びを繰り返すことを通して、課題発見能力と課題解決能力を鍛える教育を実施する。このように、大阪府和泉市を本拠地としている5学部6学科（国際教養学部英語・国際文化学科、社会学部社会学科、社会学部社会福祉学科、法学部法律学科、経済学部経済学科、経営学部経営学科。以下、「既設学部」という。）とは一線を画する新たな教育内容・方法を取り入れた学部である。

本学部は既設の経営学部ビジネスデザイン学科（入学定員70名、収容定員280名。（以下、「ビジネスデザイン学科」という。）を基礎として設置するものである。本学部は、以下に述べる、大阪市内でのキャンパス開設、ビジネスデザイン学科および本学全体の志願動向、高校2年生への進学ニーズ調査、同学問系統および地域別の私立大学入学志願動向をもとに、2021（令和3）年度より入学定員を70名から130名増員して、適正な規模として入学定員200名、収容定員800名に設定する。

##### (2) 定員充足の見込み

#### a. 大阪市内でのキャンパス開設

ビジネスデザイン学科は、学びが企業・団体、行政・地域、教育機関（以下、「企業・団体等」という。）との連携を前提とし、かつ長期的視点で大阪市内および大阪府北部（豊能地域および三島地域）を中心とした新たな学生募集対象エリアの拡大を見込むことから、既設学部が所在する大阪府和泉市ではなく、大阪市の中心業務地区<sup>1</sup>「船場（せんば）」（以下、「船場」という。）に2019（平成31）年4月に設置した。Osaka Metro「本町駅」に直結するビルのワンフロアを教場としている。実際に2019年度入試と2020年度入試においては、後述のとおり大阪市内および大阪府北部さらに兵庫県に所在する高等学校の志願者割合が既設学部と比べて高いことが確認された。

2020（令和2）年9月には、大阪市内（大阪市阿倍野区昭和町）にビルキャンパス（通称あべのキャンパス）を構える。あべのキャンパスは、JRと地下鉄（Osaka Metro）の主要ターミナル駅である「天王寺駅」から一駅の「昭和町駅」が最寄駅（徒歩約5分）となる。主要駅から本学のキャンパス最寄駅までの所要時間は表1のとおりである。

<sup>1</sup> 街や都市の、主要なビジネス地区や商業地区のこと。街や都市の中の、オフィスや店舗などが特に集積している（集中している）地区。

あべのキャンパスへは各方面から交通の便がよいため、大阪市内および大阪府北部の他にも、大阪府北東部（北河内地域および中河内地域）や、兵庫県の神戸・阪神地域に所在する高等学校の生徒や卒業生からの志願者や入学者増も十分見込まれる。

表 1 主要駅から本学のキャンパス最寄駅までの所要時間 (単位：分)

地域	駅名	路線名	あべの キャンパス	和泉 キャンパス
大阪府北部	高槻駅	JR 京都線	35	61
	千里中央駅	Osaka Metro 御堂筋線	41	61
北河内地域	枚方市駅	京阪本線	37	71
大阪市	新大阪駅	Osaka Metro 御堂筋線	24	46
	天王寺駅	Osaka Metro 御堂筋線	2	29
	なんば駅	Osaka Metro 御堂筋線	9	31
中河内地域	八尾駅	JR 大和路線	9	38
神戸・阪神地域	三ノ宮駅	JR 神戸線	42	67
	西宮駅	JR 神戸線	34	62
	尼崎駅	JR 神戸線	27	55

※各駅からの所要時間は、最寄駅までの乗車時間の目安

※あべのキャンパスの最寄駅：Osaka Metro 御堂筋線「昭和町駅」

和泉キャンパスの最寄駅：泉北高速鉄道「和泉中央駅」

## b. ビジネスデザイン学科および本学全体の志願動向

ビジネスデザイン学科は、入学試験において総合型選抜を導入し、企業の採用試験をモデルとしたグループ面接・グループワーク・アイデアレポートを取り入れるなど、学びの内容と受験生の志向のマッチングを重視した学生募集を行っている。総合型選抜（企業採用型）の受験生には、個人結果レポートを返却しフィードバックを行っている。他大学や既設学部との併願が難しい入試方法にも関わらず、2019 年度入試では入学定員 70 名に対して 486 名の志願者があった。2020 年度入試は、さらに総合型選抜（企業採用型）の機会を増加させたため、大幅な志願者の減少も予測されたが、結果的に入学定員 70 名に対して 4 倍超となる 317 名の志願者となった。

2019 年度入試の入学手続率が既設学部の平均と比較して高かった理由は、学びの内容と受験生の志向のマッチングを重視した入試方法の効果であり、受験生が学びの内容をよく理解して受験していることの表れである。本学部においても、3 つのポリシーにもとづく一体的な教育活動を目指すため、この特徴的な入試方法を踏襲する予定である。志願者は募集人員規模に比例する傾向があり、入学定員が 200 名になることで、ビジネスデザイン学科以上に志願者は増加するものと見込んでいる。本学の過去 5 年間の大学全体の倍率は 2.4 倍から 4.6 倍で、その平均倍率は 3.3 倍となっており、安定して志願者・入学者を確

保できている。ビジネスデザイン学科および本学全体の志願動向から、本学部の入学定員 200 名の充足は十分可能であると考えられる。

ビジネスデザイン学科入試情報

(<https://www.andrew.ac.jp/businessdesign/nyushi/>)

【資料 1】経営学部ビジネスデザイン学科の入試概要比較

【資料 2】本学の学部・学科別入試結果一覧（過去 5 年間）

【資料 3】毎日新聞記事（2019 年 9 月 7 日付）

### c. 高校 2 年生への進学ニーズ調査

2019（令和元）年 11 月から 12 月にかけて、本学部の設置初年度の主な受験対象となる高校 2 年生に対して、進学ニーズ調査を実施した。この調査は、27 校 8,325 人に依頼し、23 校 4,844 人（有効回収率：58.2%）から回答を得た。その中で、本学部を「受験したい」と回答した生徒が 659 名、うち 564 名が「入学したいと思う」と回答している。本学部の設定した入学定員 200 名を大きく超える受験意向と入学意向が確認できた。

本学部の入学対象者は高等学校卒業生だけに留まらないと考えている。ビジネスデザイン学科では、73 の企業・団体等と連携し、1 年間に延べ 160 人の社会人がプログラム・授業において学生と協働しながら、実社会の課題解決に取り組んだ。

また、ビジネスデザイン学科では、企業・団体等を含む社会人の見学者も多数見られた（授業・課外プログラム合計 25 社：延べ 88 人）。これらのことから、本学部の学びに対する社会人のニーズは十分に高いと推察できる。今後さらに、人生 100 年時代では社会人の学び直しのニーズが高まることが考えられるため、18 歳人口の動向によらず、長期的にも定員充足の見込みは立つと捉えている。

【資料 4】桃山学院大学「ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科」（仮称）改組・定員増に関するニーズ調査結果報告書および設置構想リーフレット（調査票含む）  
（調査機関：株式会社進研アド）

### d. 同学問系統および地域別の私立大学入学志願動向

日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」（以下、「入学志願動向」という。）によれば、本学部の学問系統となる「社会科学系」の過去 5 年間の全国平均志願倍率は 8.5 倍、同じく平均入学定員充足率も 105.1%と安定している。

本学部と同系学部となる「経済学部」「経営学部」「商学部」では、全国平均志願倍率は 8.5 倍から 9.4 倍で、同じく平均入学定員充足率は 105%台と安定している。本学部と競合する可能性が高い経済・経営系の学部がある近畿圏の 9 大学 19 学部の動向を確認したところ、いずれの学部も全国的な傾向と同様に志願動向は安定している。

また、大阪府に所在する大学の平均志願倍率は 11.0 倍、平均入学定員充足率は 105.9%で、共に全国平均を上回っている。

社会科学系および経済・経営系学部の志願動向を踏まえると、経済・経営系学部への進学意向は高いと想定される。加えて、大阪に所在する地域的利点を考えると、本学部の入

学定員 200 名の学生の確保は可能である。

【資料 5】全国私立大学の学部系統別入学志願動向

【資料 6】近畿圏の経済・経営系学部の入学志願動向

【資料 7】私立大学地域別の入学志願動向（平成 27 年度から平成 31 年度）

## イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

### a. 大阪市内でのキャンパス開設

2019 年度入試、2020 年度入試で、既設学部とビジネスデザイン学科の志願者の在籍・出身高等学校の所在地を比較した。その結果、表 2 に示すとおり、大阪市内および大阪府北部に所在する高等学校の志願者割合が、2019 年度入試で約 12.6 ポイント、2020 年度入試で 14 ポイントの差が見られた。大阪市内でキャンパスを開設したことで、これまでとは異なるエリアから志願者の増加が確認されている。

表 2 既設学部とビジネスデザイン学科の地域別志願者の割合

地域	学部・学科	2020 年度入試	2019 年度入試
大阪市内、 大阪府北部地域お よび兵庫県	既設学部	39.0%	40.0%
	ビジネスデザイン学科	53.0%	52.6%

### b. ビジネスデザイン学科および本学全体の志願動向

ビジネスデザイン学科は、総合型選抜（企業採用型）において特徴のある入試方法を採用している。2019 年度入試の入学手続率を比較すると、既設学部の平均が 41%であるのに対して、ビジネスデザイン学科が 71%と 30 ポイントの差が見られた。

本学全体の志願者数は毎年増加しており、安定して学生の確保ができています。2019 年度入試においては志願者が 22,000 人を超え、8 年連続で志願者数を伸ばしている。過去 5 年間の平均倍率も 3.3 倍と志願者・入学者を確保できています。

学内では経済学部と経営学部が本学部と同系学部となるが、両学部共に 5 学部の中では高倍率を維持している 2 学部である。

【資料 1】経営学部ビジネスデザイン学科の入試概要比較

【資料 2】本学の学部・学科別入試結果一覧（過去 5 年間）

【資料 3】毎日新聞記事（2019 年 9 月 7 日付）

### c. 高校 2 年生への進学ニーズ調査

ニーズ調査は、調査結果に客観性を担保するため、株式会社進研アドの協力により実施した。全部で 27 校 8,325 人を対象に調査票を配布し、23 校 4,844 人の調査票を回収した（有効回収率 58.2%）。調査対象校は本学部の設置時に、重点的に学生募集対象となる高等学校である。各高等学校の 2019（令和元）年度 2 年生（2021（令和 3）年度入学対象者）

から回収率 58.2%を得ており、本調査結果は実態を捉えていると認識している。

本学部を「受験したい」かつ「入学したいと思う」と回答した生徒が 564 名の結果となったことは、200 名の入学定員充足の見込みに加えて、本学部が設定した入学定員の妥当性を裏付けるものとなった。

また、本学部の特色を 4 つあげて「魅力を感じるか」と聞いたところ、全ての特色において「魅力を感じる」（「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計）と答えた者が 6 割を超えた。以下に回答率を示す。

○「新たなビジネスを創造するための 3 つの力（クリエイティブ力、高度なコミュニケーション力、やり抜く力）に加えて、世界標準のリーダーシップを身につけます」 **70.7%**

○「入学直後より連携する社会人とチームを組んで学びます。現実の社会課題や実際に企業が抱える課題について解決策を探る経験をすることで、思考力・判断力・表現力や行動力を鍛えます。」 **70.5%**

○「キャンパス、街、地域で学び、創造する力を鍛えます。卒業時には幅広い知識・技能と実現可能なビジネスをデザインする力が身につきます。」 **69.3%**

○「ビジネスデザイン学部の学生は、あべのキャンパスの新校舎で学びます。Osaka Metro 御堂筋線「昭和町駅」（徒歩約 5 分）、Osaka Metro 谷町線「文の里駅」（徒歩約 8 分）、JR 阪和線「南田辺駅」（徒歩約 10 分）が利用できます。」 **64.9%**

2020 年度入試では、本学は大阪府を中心に近畿圏全体で 447 校から志願者を集めており、今回ニーズ調査の対象とした 23 校はその 5.1%である。限られた母数の調査となったが、本学部への進学意向を十分確認することができた。実際の募集活動は近畿圏全体の志願実績校 447 校を中心として展開するため、ニーズ調査結果以上の志願者へ訴求できると見込んでいる。

#### 【進学ニーズ調査概要】

調査対象：既設学部の進学実績等から選定した高等学校に在籍する高校 2 年生

調査時期：2019（令和元）年 11 月 14 日から 12 月 16 日

回収状況：27 校 8,325 人を対象に調査票を配布し、23 校 4,844 人の調査票を回収（有効回収率 58.2%）

調査方法：高校留置き調査

利用資料：調査票およびビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科（仮称）設置構想リーフレット

調査実施機関：株式会社進研アド

留意事項：本学では 2021（令和 3）年度に本学部同様に収容定員の増加を予定している経営学部経営学科の進学ニーズ調査も実施している。結果分析にあたっては、対象校が重複しないように取扱い、本学部に関する回答を抽出した。

【資料 4】桃山学院大学「ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科」（仮称）改組・定

員増に関するニーズ調査結果報告書および設置構想リーフレット（調査票含む）  
（調査機関：株式会社進研アド）

**d. 同学問系統および地域別の私立大学入学志願動向**

**d-1. 同学問系統の私立大学入学志願動向**

「入学志願動向」で、本学部の学問系統である「社会科学系」の全国的な志願動向を確認した。学部数は、2015（平成 27）年度の 510 学部から 5 年間で 515 学部へ増加している。

入学定員は 165,444 人から 169,074 人へと 3,630 人の増加であるが、志願者は 1,183,048 人から 482,041 人増加し 1,665,089 人となっている。過去 5 年間の平均志願倍率は 8.5 倍、平均入学定員充足率は 105.1%と安定している。同系学部となる「経済学部」「経営学部」「商学部」の過去 5 年間の平均志願倍率は、経済学部 9.3 倍、経営学部 9.4 倍、商学部 8.5 倍、同じく平均入学定員充足率は、経済学部 105.7%、経営学部 105.5%、商学部 105.1%といずれも安定して推移している。

また、本学部と競合すると想定される経済・経営系の学部がある 9 大学 19 学部の志願動向を確認したところ、全国的な傾向と同様に、募集人員を上回る受験者数が確認できた。

確認にあたり、近畿圏にキャンパスがあり本学の受験生との併願関係が強い大学を抽出した。

【資料 5】全国私立大学の学部系統別入学志願動向

【資料 6】近畿圏の経済・経営系学部の入学志願動向

**d-2. 地域別の私立大学入学志願動向**

「入学志願動向」によると、本学が所在する大阪府の学校数は、2015（平成 27）年度から 2019（平成 31）年度の 5 年間で 50 校と変更はない。志願者数は、2015（平成 27）年度の 420,116 人から 5 年間で 167,610 人増加している。過去 5 年間の平均志願倍率は 11.0 倍と全国平均の 8.2 倍を大きく上回っており、平均入学定員充足率も 105.9%で全国平均の 103.9%を上回っている。また、大阪府は近畿圏の中でも最も安定した数値を維持している。

【資料 7】私立大学地域別の入学志願動向（平成 27 年度から平成 31 年度）

以上、大阪市内のキャンパス開設による学生募集対象エリアの拡大、ビジネスデザイン学科および本学全体の志願動向、本学部の高校 2 年生への進学ニーズ調査、同学問系統の入学志願動向、大阪府の私立大学の入学志願動向を踏まえ、入学定員 200 名の学生の確保は可能である。

**②学生確保に向けた具体的な取組状況**

本学はこれまでも、高等学校訪問活動、高等学校内ガイダンスへの出席、オープンキャンパスの実施を積極的に行い、受験生や保護者、高等学校の進路指導部に対して、本学の取り組みやその魅力について直接紹介を行ってきた。ビジネスデザイン学科は、これまでの広報活動手法を含め、特に以下に示す広報活動を重点的に行っている。

#### ・高等学校訪問活動

高等学校訪問については、例年延べ約 250 校を訪問し、進路指導部に直接本学の取り組みの説明を行っている。ビジネスデザイン学科が大阪市内に開設したことに合わせて、大阪府北部や兵庫県の神戸・阪神地域を中心に積極的に訪問を行っている。また、ビジネスデザイン学科の学びの内容に親和性の高い「総合的な探究の時間」に重点的に取り組む高等学校にも積極的に訪問活動を行っている。

#### ・高等学校内ガイダンスへの出席

年間 200 校程度のガイダンスに出席しており、トピックスとしてビジネスデザイン学科の開設と学びの内容について説明を行っている。ガイダンス終了後のアンケートでも「ビジネスデザイン学科に特に興味を持った」などの感想が寄せられている。またガイダンスの出席依頼の中には、大阪府北部の高等学校から「ビジネスデザイン学科の説明を重点的に行って欲しい」など、これまでにはなかった要望が寄せられている。

#### ・オープンキャンパスの実施

本学の本拠地で行われるオープンキャンパスでも、ビジネスデザイン学科の学びの説明や相談を行っている他、船場の教場でも単独のオープンキャンパスを実施している。これは、授業手法の 1 つである課題解決 (Project Based Learning:PBL) 型学習の体験機会を提供するため、学生スタッフがラーニングアシスタント (LA) として参加している。参加者から在籍高等学校に肯定的なフィードバックがあるなど、PBL の体験を通して、学びの理解につながっている。

#### ・SNS の活用

ビジネスデザイン学科は、入学前プログラムの課題や講評について動画共有サイトを利用しており、その内容を一般に公開している。受験生が閲覧して学びの内容を確認することができるため、高等学校教員からも好評を得ている。

2018 (平成 30) 年度入学前プログラム

(<https://www.andrew.ac.jp/businessdesign/pre/learning2018.php>)

2019 (平成 31) 年度入学前プログラム

(<https://www.andrew.ac.jp/businessdesign/pre/learning.php#02>)

以上の広報活動を中心に認知や興味喚起が進んでおり、2020 (令和 2) 年 3 月 9 日現在、表 3 に示す資料請求者数となっている。入学定員に対する資料請求者の比率は既設学部より好調である。本学部設置後も学内関係部署との連携のもとに積極的に学生確保へ向けた広報活動に取り組む。

表 3 本学学部学科の入学定員と資料請求者数

学部学科名	入学定員	資料請求者数	請求者数の入学定員比
国際教養学部 英語・国際文化学科	275 名	2,949 名	10.7 倍
社会学部 社会学科	260 名	2,361 名	9.1 倍
社会学部 社会福祉学科	100 名	1,204 名	12.4 倍
法学部 法律学科	200 名	1,510 名	7.6 倍
経済学部 経済学科	360 名	2,586 名	7.2 倍
経営学部 経営学科	225 名	3,382 名	15.0 倍
経営学部 ビジネスデザイン学科	70 名	2,176 名	31.1 倍

## 2. 人材需要の動向等社会の要請

### ①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学の建学の精神は「キリスト教精神に基づく世界の市民の養成」であり、世界の市民とは、他者を思いやる感性と自己を確立したうえで、世界のどこでも誰とでも協働できる人材を意味する。また、今日の社会では、SDGs の実現や Society5.0 に向けた人材育成が必要とされている。以上のような建学の精神および社会の要請の双方の視点から、本学部では、ビジネスを「社会に対して持続的に価値を創り出す活動」と、従来のビジネスよりも幅広く捉える。また、ビジネスをデザインするとは「多様な人々と共に新しいビジネスを構想・企画し実現可能な仕組みをつくる」ことと捉える。幅広い知識・技能、思考力・判断力・表現力および高度なコミュニケーション力を備え、多様な人々と共に新たなビジネスをつくることによって社会課題を解決できる人材を育成する。

### ②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

#### a. 本学の就職率と求人件数

ビジネスデザイン学科は完成年度を迎えていないため、大学全体および同系学部となる経済学部経済学科と経営学部経営学科の過去5年間の就職状況により説明を行う。表4は過去5年間の本学の就職率と求人件数をまとめたものである。



表 4 本学の就職率と求人件数（過去 5 年間）

学部名	2014	2015	2016	2017	2018
国際教養学部	97.4	97.0	98.0	99.1	98.6
就職決定者／就職希望者	222／228	195／201	194／198	212／214	208／211
社会学部	97.4	98.6	98.8	98.1	99.0
就職決定者／就職希望者	303／311	283／287	319／323	263／268	296／299
法学部	94.5	97.0	95.5	96.5	98.1
就職決定者／就職希望者	137／145	131／135	127／133	137／142	153／156
<b>経済学部</b>	<b>96.8</b>	<b>98.7</b>	<b>98.7</b>	<b>98.4</b>	<b>98.6</b>
就職決定者／就職希望者	302／312	303／307	299／303	315／320	289／293
<b>経営学部</b>	<b>96.9</b>	<b>97.8</b>	<b>99.1</b>	<b>99.6</b>	<b>100.0</b>
就職決定者／就職希望者	222／229	224／229	214／216	234／235	246／246
<b>大学全体</b>	<b>96.8</b>	<b>98.0</b>	<b>98.3</b>	<b>98.5</b>	<b>98.9</b>
就職決定者／就職希望者	1,186／1,225	1,136／1,159	1,153／1,173	1,161／1,179	1,192／1,205
全国 (文部科学省発表)	96.7	97.3	97.6	98.0	97.6
求人依頼件数	6,462	6,981	7,177	5,036	4,191

### 【大学全体】

大学全体の就職状況は、2014(平成 26)年度 3 月卒業生の就職希望者数 1,225 名に対し、実際に就職した人数(就職決定者数)は 1,186 名で 96.8%となった。その後、就職決定者数は 2015(平成 27)年度 3 月卒業生 98.0%、2016(平成 28)年度 3 月卒業生 98.3%、2017(平成 29)年度 3 月卒業生 98.5%、2018(平成 30)年度 3 月卒業生 98.9%となっている。就職希望者数に対する就職率は毎年上昇しており、全国の数値を上回っている。

### 【経済学部経済学科】

2014(平成 26)年度 3 月に卒業した学生の就職希望者に対する就職率は 96.8%であった。その後、2015(平成 27)年度 3 月卒業生 98.7%、2016(平成 28)年度 3 月卒業生 98.7%、2017(平成 29)年度 3 月卒業生 98.4%、2018(平成 30)年度 3 月卒業生 98.6%となっており、本学で最大の収容定員を有する学科であるが、安定した就職率を維持できている。

### 【経営学部経営学科】

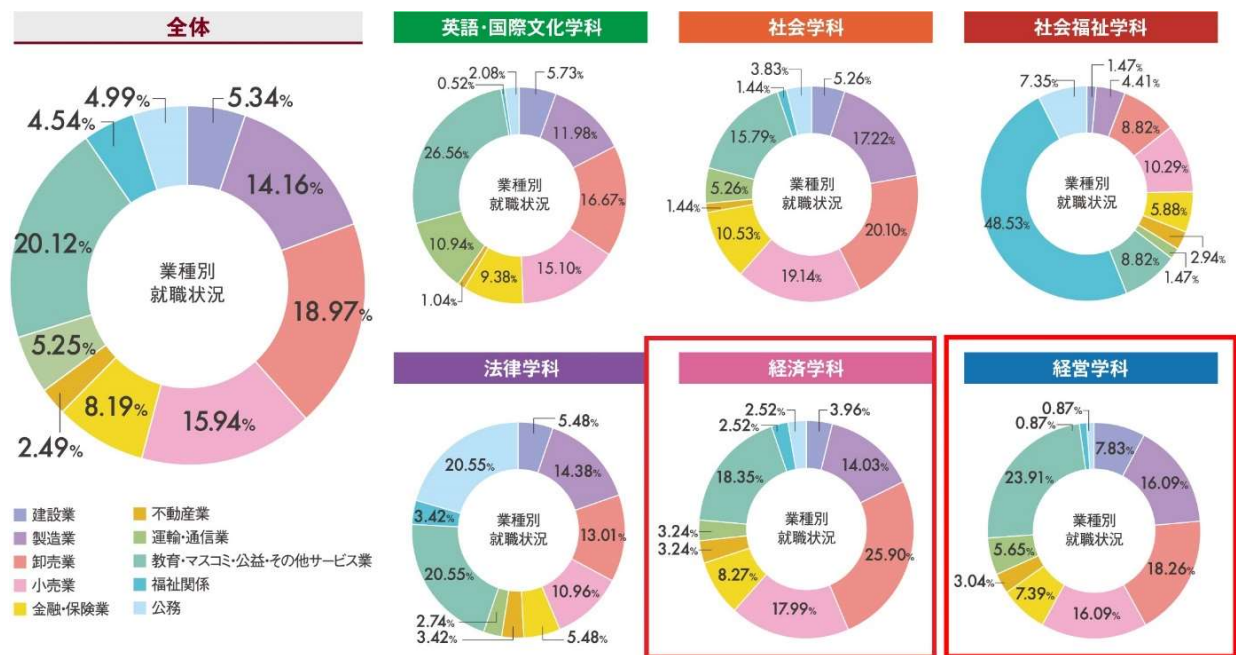
ビジネスデザイン学科の基礎となった経営学科の就職状況については、2014(平成 26)年度 3 月に卒業した学生の就職希望者に対する就職率は 96.9%であった。その後、2015(平成 27)年度 3 月卒業生 97.8%、2016(平成 28)年度 3 月卒業生 99.1%、2017(平成 29)年度 3 月卒業生 99.6%、2018(平成 30)年度 3 月卒業生 100%となっており、安定した数値を維持している。

また、本学の卒業生の就職先は、以下の図表 1 に示すとおり業種や職種に限定されることなく、社会のあらゆる分野における企業・団体等へ就職している。本学への求人も、表 4 のとおり毎年安定した件数を維持している。これは、本学の教育活動が社会から一定の

評価を受けていることを示すもので、本学部を設置した場合でも、大学全体の求人件数の確保は可能である。

本学では低年次（1、2年次）から自分の将来について計画的に行動できるように、キャリア教育科目も充実させている。本学部の学生の場合、入学直後より授業で社会人と共に実践的に学ぶことがキャリア教育となっている。さらに、既設学部では選択科目となっているインターンシップが、本学部では2年次と3年次に必修科目として配置されており、教育課程全体でキャリア教育が行われる。

図表 1 学部学科別就職実績



### b. 社会的な人材需要

「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」（平成30年11月26日中央教育審議会）では、2040年に必要とされる人材の中で、「予測不可能な時代の到来を見据えた場合、専攻分野についての専門性を有するだけではなく、思考力、判断力、俯瞰力、表現力の基盤の上に、幅広い教養を身に付け、高い公共性・倫理性を保持しつつ、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、論理的思考力を持って社会を改善していく資質を有する人材」の必要性が記されている。

また、採用と大学教育の未来に関する産学協議会の「中間とりまとめと共同提言」（2019年4月22日）では、Society5.0時代に求められる能力と教育において、「最終的な専門分野が文系・理系であることを問わず、リテラシー（数理的推論・データ分析力、論理的文章表現力、外国語コミュニケーション力など）、論理的思考力と規範的判断力、課題発見・解決能力、未来社会の構想・設計力、高度専門職に必要な知識・能力が求められる」とし、能力の向上には、「少人数、双方向型のゼミや実験、産学連携の実践的な課題解決（Project Based Learning:PBL）型の教育、海外留学体験などが必要」と記されている。

これらは、本学部が育成する「幅広い知識・技能、思考力・判断力・表現力および高度なコミュニケーション力を備え、多様な人々と共に新たなビジネスをつくることによって社会課題を解決できる人材」に他ならない。

### **c. 人材需要についての企業動向**

本学部は、既述のとおり企業・団体等の協力を得て、現実の社会課題の解決策等を考えるトレーニングを通して、学びの質の向上を図る教育課程を導入する。既にビジネスデザイン学科の学びについて、企業・団体等から賛同をいただき、2020（令和2）年3月現在で多様な職種・業態の73の企業・団体等と連携している。その中には、関西のスタートアップ企業の第一人者、マスコミや経済誌に掲載されている企業の経営者、経済産業省のJ-Startup2019に選定された企業も含まれている。

ビジネスデザイン学科の設置初年度にも関わらず、企業・団体等から協力を得られることは、ビジネスデザイン学科の教育目的と教育内容が社会のニーズを捉えていることを示している。

本学部の設置にあたり、73の企業・団体等を中心に人材需要に関するアンケートを行った。「桃山学院大学ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科の学びは、これからの社会にとって必要だと思われませんか。」という問いに対し、有効回答数63企業・団体の全てから「必要だと思う」との回答を得られた。また、約94%にあたる59社が本学部の卒業生について採用の意向を示している。本学部の6つの特色に関する回答では、「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」の割合が、「クリエイティブ力」62社（98.4%）、「リーダーシップと高度なコミュニケーション力」61社（96.8%）、「やり抜く力」62社（98.4%）、「思考法と理論」62社（98.4%）、「教養・文化」54社（85.7%）、「スタートアップ支援」58社（92.1%）となっている。特色の中でも、社会人としての実践力にも繋がる「クリエイティブ力」、「リーダーシップと高度なコミュニケーション力」、「やり抜く力」、「思考法と理論」に魅力を感じている企業・団体が多くみられた。実際に授業で連携した企業数社に対して、学生が自主的に見学や訪問を行うなど積極的な行動へと繋がっている。

#### **【資料8】 桃山学院大学ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科に関するアンケート結果およびアンケート**

以上のことから、本学部の教育目的は人材需要の動向を踏まえているものとする。

以上

## 資料目次

【資料 1】 経営学部ビジネスデザイン学科の入試概要比較

【資料 2】 本学の学部・学科別入試結果一覧（過去 5 年間）

【資料 3】 毎日新聞記事（2019 年 9 月 7 日付）

【資料 4】 桃山学院大学「ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科」（仮称）

改組・定員増に関するニーズ調査結果報告書および設置構想リーフレット（調査票含む）（調査機関：株式会社進研アド）

【資料 5】 全国私立大学の学部系統別入学志願動向

【資料 6】 近畿圏の経済・経営系学部の入学志願動向

【資料 7】 私立大学地域別の入学志願動向（平成 27 年度から平成 31 年度）

【資料 8】 桃山学院大学ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科に関するアンケート結果およびアンケート

## 【資料1】経営学部ビジネスデザイン学科の入試概要比較

### ○2019・2020年度入試スケジュール

	9月	11月	12月	2月①	2月②	3月
2019年度	<b>総合型 選抜① (専願)</b>	公募制 推薦	<b>総合型 選抜② (併願)</b>	一般入試/ センター 利用入試	<b>総合型 選抜③ (併願)</b>	一般入試/ センター 利用入試
2020年度	<b>総合型 選抜① (専願)</b>	<b>総合型 選抜② (併願)</b>	<b>総合型 選抜③ (併願)</b>	一般入試/ センター 利用入試 <b>面接有</b>	<b>総合型 選抜④ (併願)</b>	<b>総合型 選抜⑤ (併願)</b>

### ○ビジネスデザイン学科の入試制度

- ・「**総合型選抜（企業採用型）**」:ビジネスデザイン学科独自の入試制度（詳細は以下参照）  
2019年度3回→2020年度**5回に拡大**／募集人員40名→**50名に増員**
- ・「公募制推薦入試」:学科試験に加え**面接試験を実施**
- ・「一般入試」:学科試験に加え**面接試験を実施**
- ・「センター試験利用入試」:2019年度は大学入試センター試験の成績のみで合否判定  
2020年度は**面接試験を実施**

【参考】募集人員の内訳推移

2019年度 「**総合型選抜**」40名・学科試験型30名 計70名

2020年度 「**総合型選抜**」**50名**・学科試験型20名 計70名

### ○「総合型選抜（企業採用型）」の概要

スケジュール	選考方法	内容
10:00～10:30	基礎能力検査	数的処理能力、言語能力、時事問題を問う問題を出題
10:50～11:05 11:10～12:10	<b>アイデア レポート作成</b>	15分程度の教員の講義を受講後、出題された問題に対して、A3用紙1枚の <b>アイデアレポート（企画書）を60分で作成</b>
13:10～順次	<b>グループ面接</b>	上記で作成したアイデアレポート(企画書)に対する <b>プレゼンテーション（3分）、他者へのフィードバック（1分）、プレゼンテーションの内容や志望動機等の質疑応答（5分程度）</b> を実施
15:40～16:30	<b>グループワーク</b>	個別に作成した <b>アイデアレポート（企画書）をグループで1枚にまとめるワーク（50分）</b> を実施

### ○「総合型選抜（企業採用型）」の特徴

学科の学びの特徴を理解し、求める学生像に合う学生に入学してもらうことを目的として、入学後に必要となる**チームワーク、協調性やコミュニケーション力を試験で確認**している。

受験生も、学科の学びを理解して入学を決定できる重要な機会となる。

従来の学科試験型と異なり**試験の対策が立てづらく、他学部等との併願が困難**である。

志願者数の獲得には向かないが、**入学意欲が高い受験生とのマッチングに有効**な試験であり、合格者の入学手続状況も既設学部等に比べて高い結果が見られた。

(2019年度入学手続率:ビジネスデザイン学科 約71%、本学既設学科 約41%)

【資料2】 本学の学部・学科別入試結果一覧（過去5年間）

年度	学部・学科	入学定員	志願者 (延べ)	受験者	合格者	倍率	入学者	入学定員 超過率
2019	国際教養学部英語・国際文化学科	275	3,391	3,340	960	3.5	285	1.03
	社会学部社会学科	260	3,975	3,902	771	5.1	253	1.00
	社会学部社会福祉学科	100	1,371	1,349	403	3.3	109	
	法学部法律学科	200	3,125	3,072	766	4.0	211	1.05
	経済学部経済学科	360	6,285	6,167	1,156	5.3	367	1.01
	経営学部経営学科	225	4,276	4,216	663	6.4	224	1.02
	経営学部ビジネスデザイン学科	70	486	470	158	3.0	79	
合計	1,490	22,909	22,516	4,877	4.6	1,528	1.03	
2018	国際教養学部英語・国際文化学科	290	2,538	2,515	765	3.3	304	1.04
	社会学部社会学科	260	2,195	2,161	661	3.3	273	1.03
	社会学部社会福祉学科	100	1,036	1,007	341	3.0	100	
	法学部法律学科	200	2,173	2,106	703	3.0	211	1.05
	経済学部経済学科	360	4,029	3,949	1,127	3.5	371	1.03
	経営学部経営学科	280	3,248	3,185	695	4.6	308	1.10
	合計	1,490	15,219	14,923	4,292	3.5	1,567	1.05
2017	国際教養学部英語・国際文化学科	270	2,165	2,140	773	2.8	304	1.12
	社会学部社会学科	250	2,224	2,195	700	3.1	287	1.11
	社会学部社会福祉学科	100	734	717	368	1.9	103	
	法学部法律学科	200	1,680	1,653	679	2.4	231	1.15
	経済学部経済学科	350	3,554	3,481	1,162	3.0	374	1.06
	経営学部経営学科	280	2,363	2,316	766	3.0	334	1.19
	合計	1,450	12,720	12,502	4,448	2.8	1,633	1.13
2016	国際教養学部英語・国際文化学科	270	2,209	2,178	835	2.6	311	1.15
	社会学部社会学科	250	1,890	1,868	663	2.8	291	1.13
	社会学部社会福祉学科	100	769	751	357	2.1	106	
	法学部法律学科	200	2,026	2,019	762	2.6	229	1.14
	経済学部経済学科	350	3,402	3,349	1,017	3.3	369	1.05
	経営学部経営学科	265	2,420	2,385	617	3.9	300	1.13
	合計	1,435	12,716	12,550	4,251	3.0	1,606	1.11
2015	国際教養学部英語・国際文化学科	270	1,808	1,793	894	2.0	317	1.17
	社会学部社会学科	250	1,626	1,599	713	2.2	301	1.63
	社会学部社会福祉学科	100	438	434	256	1.7	107	
	法学部法律学科	200	1,505	1,489	708	2.1	217	1.09
	経済学部経済学科	350	3,358	3,317	1,301	2.5	401	1.20
	経済学部 中国ビジネスキャリアコース		108	108	49	2.2	18	
	経営学部経営学科	265	2,534	2,509	787	3.2	322	1.22
	合計	1,435	11,377	11,249	4,708	2.4	1,683	1.17

【資料 3】 毎日新聞記事（2019 年 9 月 7 日付）

○著作権者の許諾が得られない書類等について

①書類等の題名

毎日新聞記事（2019 年 9 月 7 日付）

②出典

株式会社毎日新聞社

③書類等の利用範囲

参考資料としてすべて

④その他、著作物等について加工している場合には、その加工に関する説明

なし

【資料4】 桃山学院大学「ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科」  
(仮称) 改組・定員増に関するニーズ調査結果報告書および設置構想  
リーフレット (調査票含む)

---

---

桃山学院大学  
「ビジネスデザイン学部  
ビジネスデザイン学科」(仮称)  
改組・定員増に関するニーズ調査  
結果報告書  
【高校生対象調査】

---

---

令和2年2月  
株式会社 進研アド



# 高校生対象 調査概要

## 1. 調査目的

2021年4月開設予定の桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」改組・定員増構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生
調査エリア		大阪府
調査方法		高校留置き調査
調査対象数	依頼数 (依頼校数)	8,325人(27校)
	有効回収数 (回収校数)	4,844人(23校) 有効回収率:58.2%
調査時期		2019年11月14日(木)～2019年12月16日(月)
調査実施機関		株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

高校生対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・性別</li><li>・高校種別</li><li>・高校所在地</li><li>・所属クラス</li><li>・高校卒業後の希望進路</li><li>・興味のある学問系統</li><li>・桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」の特色に対する魅力度</li><li>・桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」への受験意向</li><li>・桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」への入学意向</li></ul>

## 高校生対象 調査結果まとめ



# 高校生対象 調査結果まとめ

## 回答者の属性

※本調査は、桃山学院大学の「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」に対する需要を確認するための調査として設計。桃山学院大学の主な学生募集エリアである大阪府に所在する高校の高校2年生に調査を実施し、4,844人から回答を得た。

- 回答者の性別は「男性」が53.5%、「女性」が45.4%である。
- 回答者の在籍高校種別は「公立」が24.2%、「私立」が75.8%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、桃山学院大学の所在地である「大阪府」が100.0%である。
- 回答者の所属クラスは「文系クラス(文系コース)」が69.7%を占め、最も多い。次に「コース選択はない」が11.7%、「理系クラス(理系コース)」が8.8%と続く。

## 高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「私立大学に進学」の割合が71.4%で最も高い。次いで「専門学校・専修学校に進学」が20.9%、「国公立大学に進学」が18.0%と続く。私立大学への進学志望者が多いことから、桃山学院大学がターゲットとする対象に調査を実施出来ていると考えられる。
- 回答者の興味のある学問系統を複数回答で聴取したところ、「経済・経営・商学(起業学、ビジネスデザイン、プロジェクトマネジメント、リーダーシップなど含む)」が29.7%で最も高い。次いで、「文学・語学」が18.5%、「社会学(ビジネスコミュニケーション、コミュニティマネジメント、地域社会学など含む)」が13.8%と続く。

# 高校生対象 調査結果まとめ

## 桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」の特色に対する魅力度

- 桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目において6割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、「特色①.新たなビジネスを創造するための3つの力(クリエイティブ力、高度なコミュニケーション力、やり抜く力)に加えて、世界標準のリーダーシップを身につけます。」(70.7%)である。

次に魅力度が高いのは、「特色②.入学直後より連携する社会人とチームを組んで学びます。現実の社会課題や実際に企業が抱える課題について解決策を探る経験をすることで、思考力・判断力・表現力や行動力を鍛えます。」(70.5%)、さらに「特色③.キャンパス、街、地域で学び、創造する力を鍛えます。卒業時には幅広い知識・技能と実現可能なビジネスをデザインする力が身につきます。」(69.3%)である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

## 桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」への受験意向・入学意向

- 桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」を「受験したいと思う」と答えた人は、13.6% (659人)である。
- 桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」を「受験したいと思う」と答えた659人のうち、桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」に「入学したいと思う」と回答した人は、85.6% (564人)である。

# 高校生対象 調査結果まとめ

## 桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」への入学意向者数

※ここからは、桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」の入学意向者と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における入学意向は11.6% (**564人**)で、予定されている入学定員200人を2倍以上上回る入学意向者がみられた。

< 属性別 >

### ◇性別

- 「男性」の入学意向は14.4% (2,592人中、374人)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

### ◇高校所在地別

- 桃山学院大学の所在地である「大阪府」の高校在籍者からの入学意向は11.6% (4,844人中、**564人**)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者がみられた。

### ◇高校卒業後の希望進路別

- 桃山学院大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」を考えている回答者の入学意向は14.0% (3,458人中、**484人**)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者がみられた。

# 高校生対象 調査結果まとめ

---

## ◇興味のある学問系統別

- 桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」の学問内容と関連する「経済・経営・商学(起業学、ビジネスデザイン、プロジェクトマネジメント、リーダーシップなど含む)」に興味がある回答者の入学意向は20.9%(1,439人中、**301人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。同じく、関連のある「社会学(ビジネスコミュニケーション、コミュニティマネジメント、地域社会学など含む)」に興味がある回答者の入学意向は21.4%(669人中、**143人**)と、一定の入学意向者がみられた。

## ◇桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」の特色に対する魅力度別

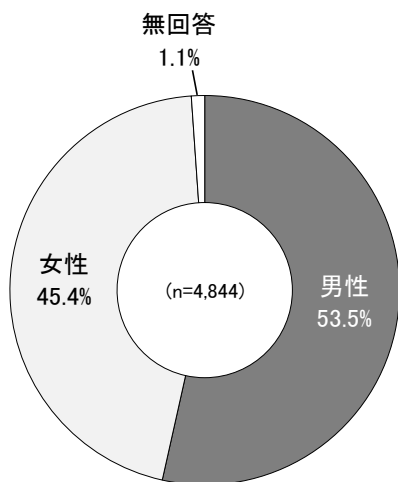
- 桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向は、いずれの特色でも1割を超えており、入学意向者数はそれぞれすべて、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

## 高校生対象 調査結果

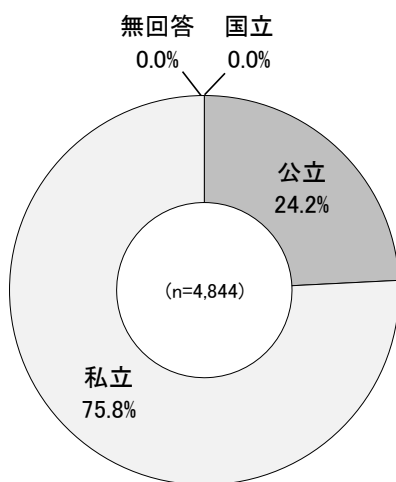


# 回答者の属性(性別/高校種別/高校所在地/所属クラス)

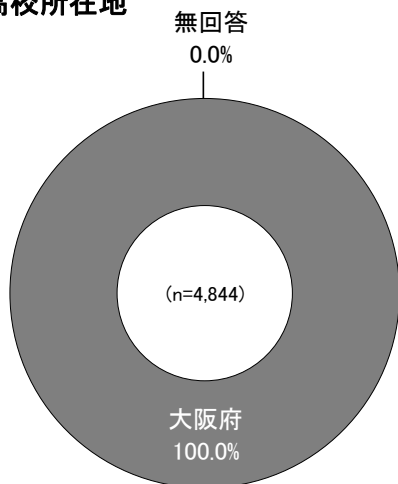
## ■性別



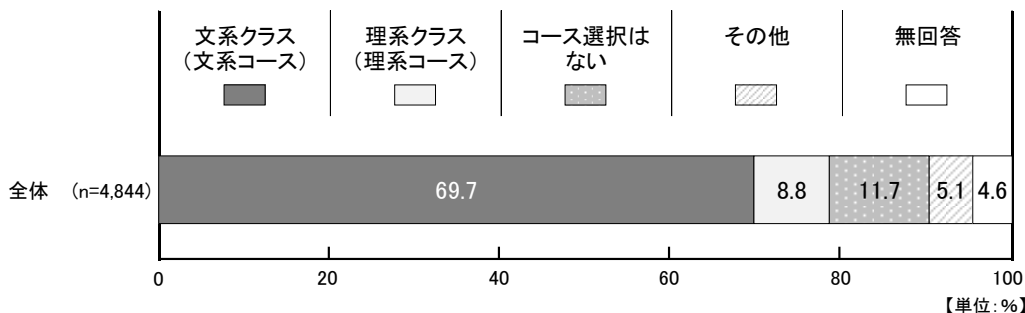
## ■高校種別



## ■高校所在地



## ■所属クラス

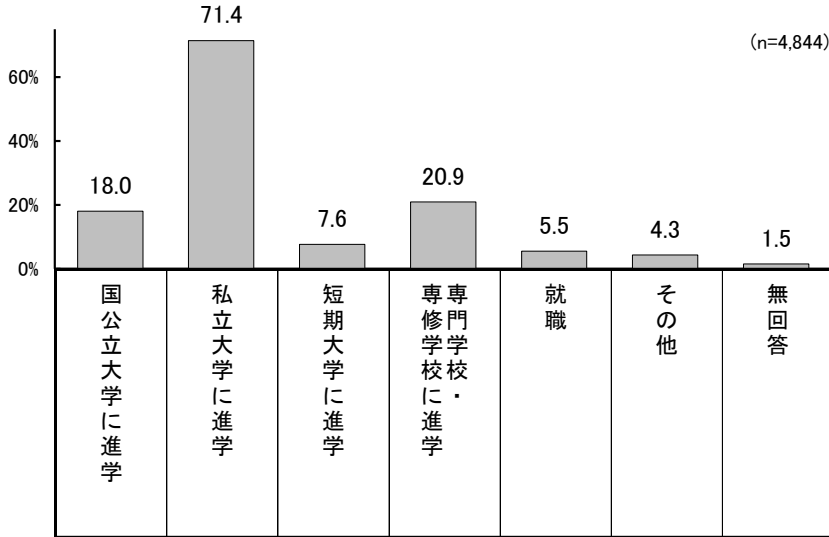




# 高校卒業後の希望進路／興味のある学問系統

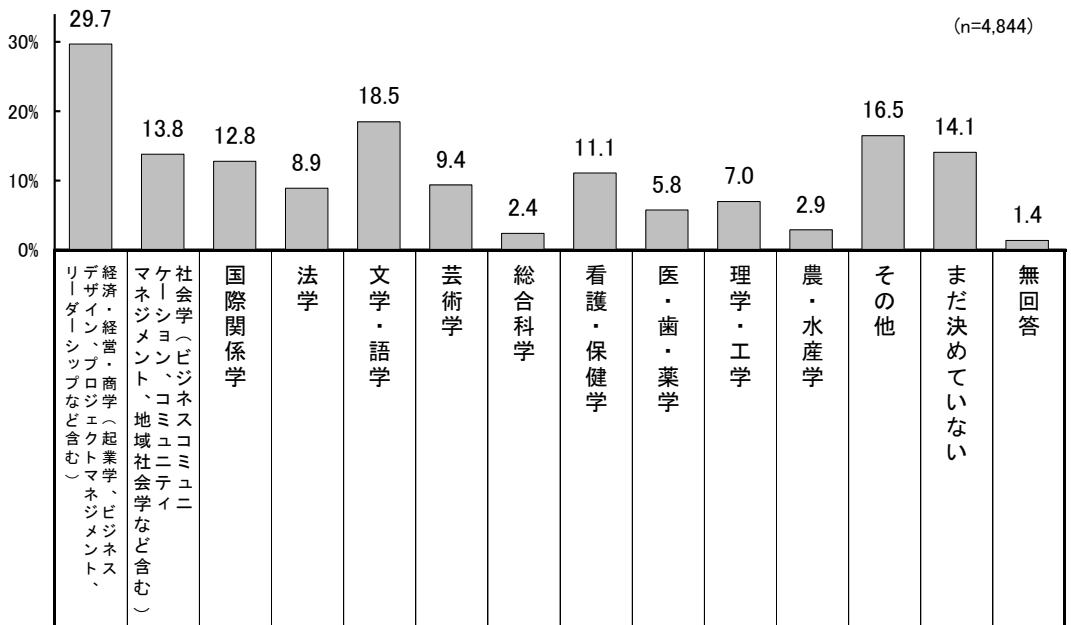
## ■高校卒業後の希望進路

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。  
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)



## ■興味のある学問系統

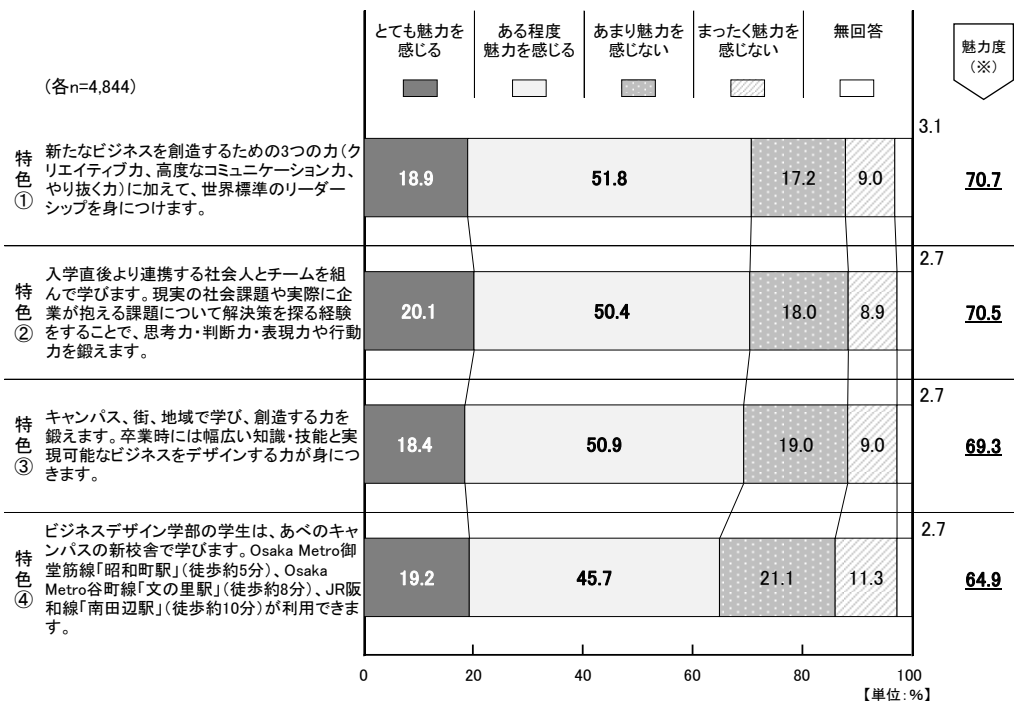
Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。  
以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)  
(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)



# 桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」の特色に対する魅力度

## ■桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」の特色に対する魅力度

Q3. 桃山学院大学 ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科(経営学部ビジネスデザイン学科を改組、定員増)＜※仮称、設置構想中＞には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。  
(それぞれ、各特色ごとであてはまる番号1つに○)



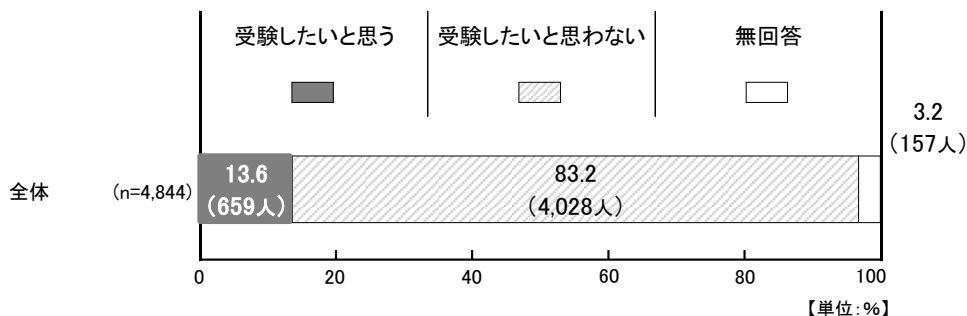
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

# 桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」への受験意向／入学意向

## ■桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」への受験意向

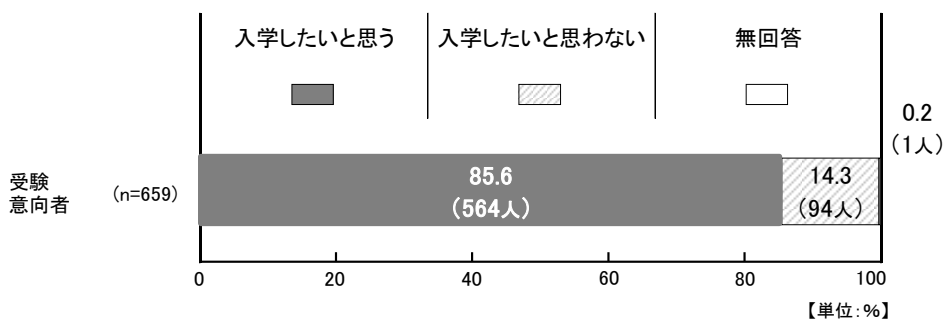
Q4. あなたは、桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」<※仮称、設置構想中>を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験したいと思う」と答えた659人のみ抽出

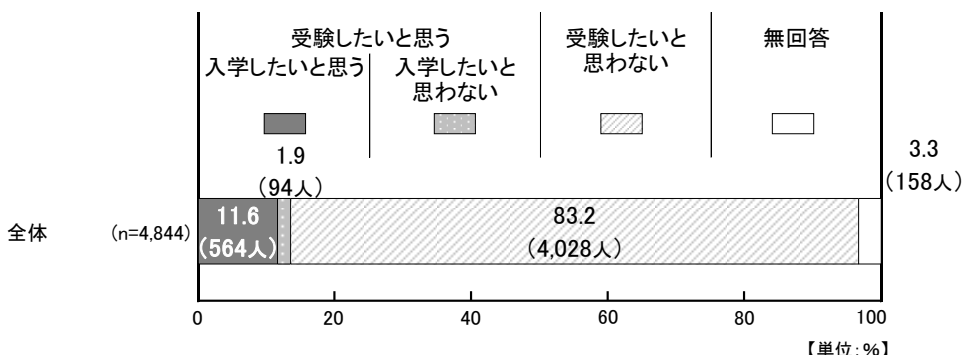
## ■桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」への入学意向

Q5. あなたは、桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」<※仮称、設置構想中>を受験して合格したら入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験意向(Q4)」と「入学意向(Q5)」を  
かけあわせて集計(母数は全回答者)

## ■桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」への受験意向別 入学意向

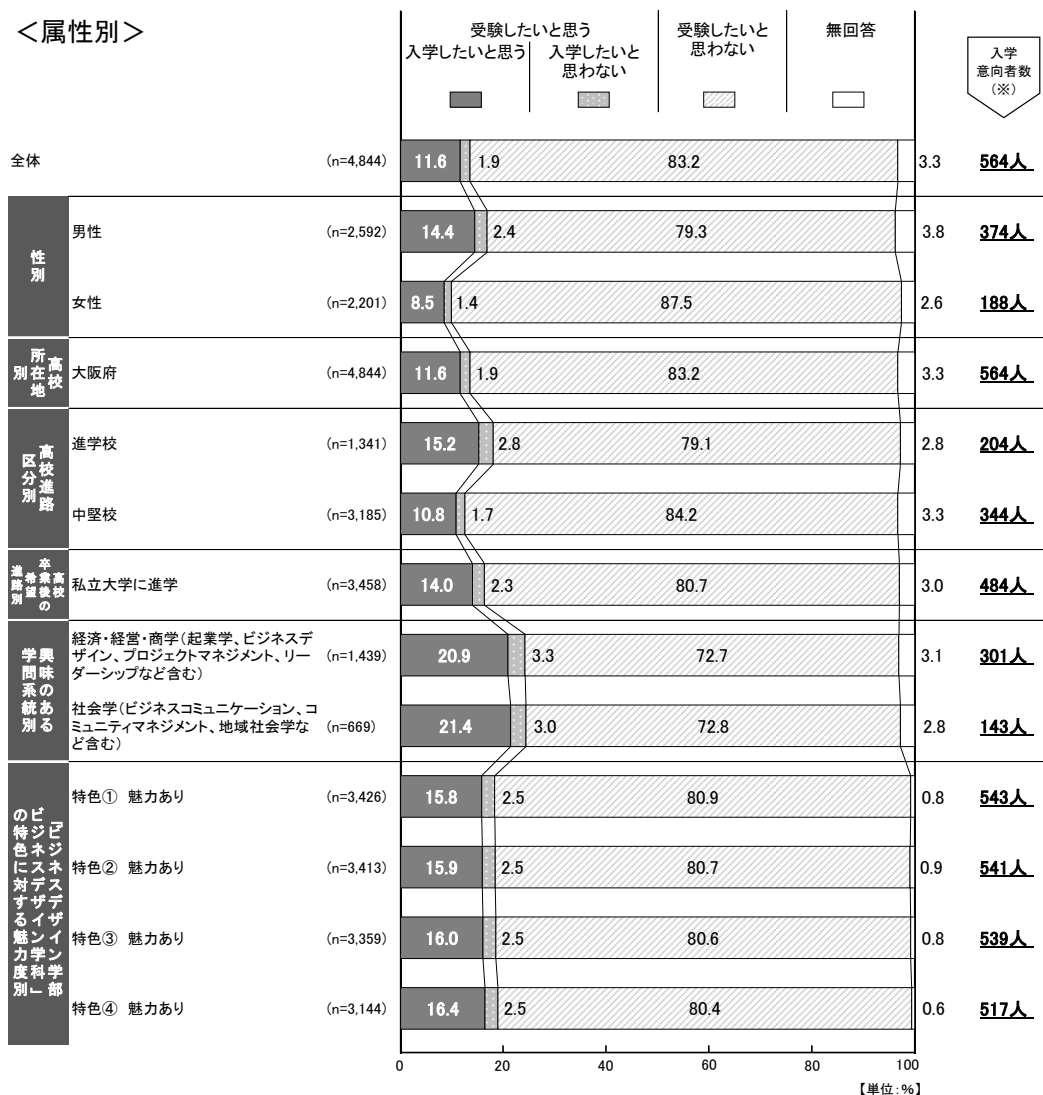


# 桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」への受験意向別入学意向<属性別>

## ■桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」への受験意向別入学意向<属性別>

※桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を桃山学院大学「ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科」の入学意向者と定義する。

### <属性別>



※入学意向者数=「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人の人数

## 卷末資料 調查票



# 調査票

## 桃山学院大学 ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科(経営学部ビジネスデザイン学科を改組、定員増) <※仮称、設置構想中>に関するアンケート

桃山学院大学では2021年(令和3年)4月より、ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科(経営学部ビジネスデザイン学科を改組、定員増)の設置を構想しています。このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、桃山学院大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている **ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科(経営学部ビジネスデザイン学科を改組、定員増)**に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

**記入要領**

1. 回答は、あてはまる番号に「○」印をつけてください。
2. この用紙は、電算処理しますので汚さないようにしてください。
3. 記入にあたっては、必ず鉛筆又はシャープペンシルで書くようにしてください。
4. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。特に、番号丸からはみ出さないように「○」印をつけてください。

【記入例】

あなたは、どのような学問に興味がありますか。(あてはまる番号すべてに○)

○ 文学 ○ 法学 ○ 社会学 ○ 語学 ○ 国際関係

○ 文学 ○ 法学 ○ 社会学 ○ 語学 ○ 国際関係

### ◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別 (1つに○)	1. 男性	2. 女性	学年 (1つに○)	1. 1年生	2. 2年生	3. 3年生
在籍している 高校名	高校所在地 [ ] 都・道・府・県			国立・公立・私立 (←1つに○) [ ] 高等学校		
所属クラス (1つに○)	1. 文系クラス (文系コース)		3. コース選択はない			
	2. 理系クラス (理系コース)		4. その他			

### ◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

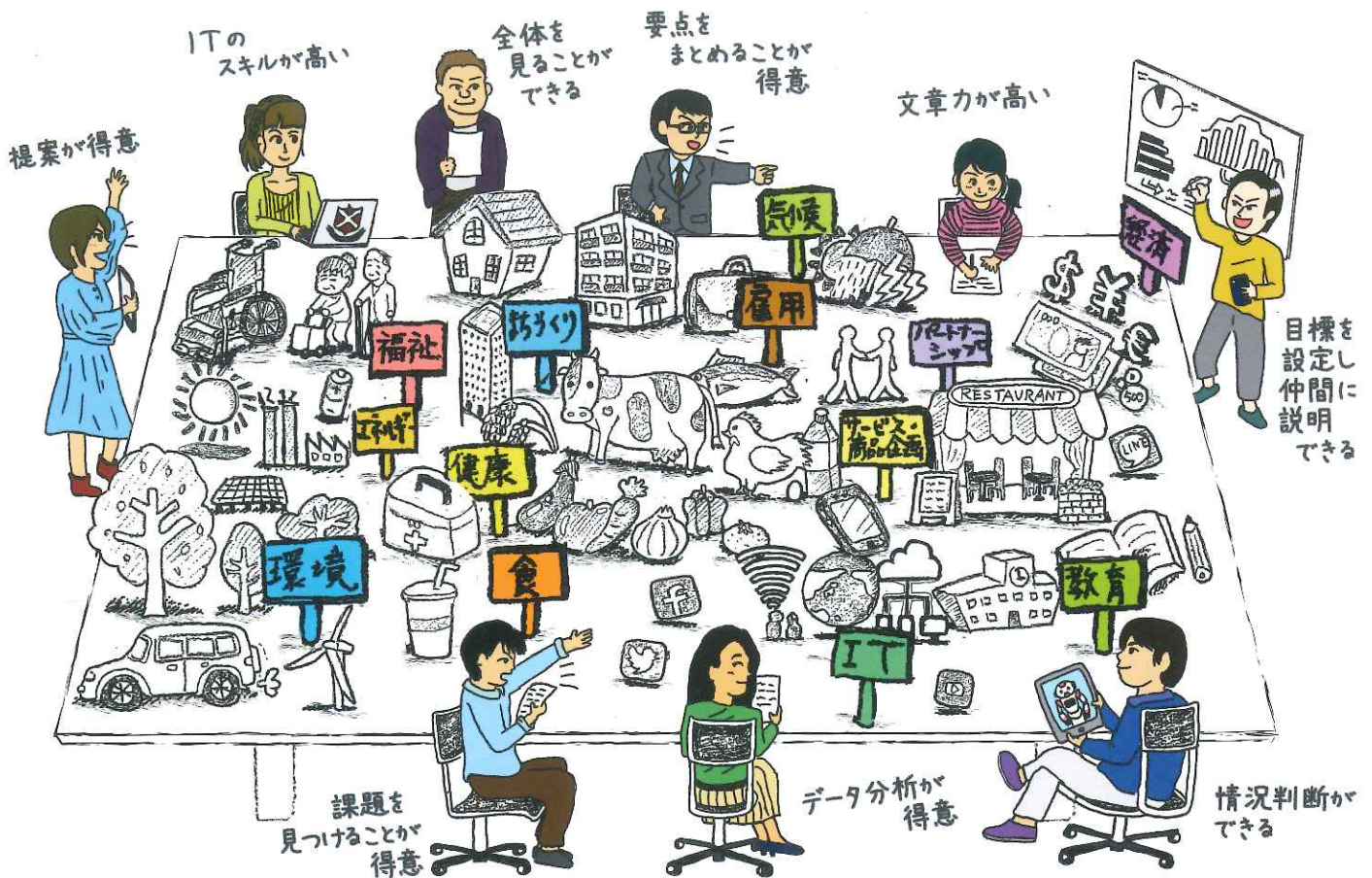
Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。  
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

- |            |                 |        |
|------------|-----------------|--------|
| 1. 国立大学に進学 | 3. 短期大学に進学      | 5. 就職  |
| 2. 私立大学に進学 | 4. 専門学校・専修学校に進学 | 6. その他 |

Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。  
以下の項目から、興味のある学問システムの番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)  
(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)

- |   |           |              |
|---|-----------|--------------|
| 1. 経済・経営・商学<br><small>(起業学、ビジネスデザイン、プロジェクトマネジメント、リーダーシップなど含む)</small> | 4. 法学     | 9. 医・歯・薬学    |
| 2. 社会学<br><small>(ビジネスコミュニケーション、コミュニティマネジメント、地域社会学など含む)</small>       | 5. 文学・語学  | 10. 理学・工学    |
| 3. 国際関係学  | 6. 芸術学    | 11. 農・水産学    |
|   | 7. 総合科学   | 12. その他      |
|   | 8. 看護・保健学 | 13. まだ決めていない |





## チームで新しい ビジネスの仕組みをつくる

2021年4月 経営学部ビジネスデザイン学科は

# ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科へ

200名に定員増

大阪市内「あべの新キャンパス」

仮称、設置・定員増構想中

世界が変わる体験がある。



**桃山学院大学**  
St. Andrew's University

記載の内容は現在計画中の予定であり、変更される可能性があります。



# ビジネスデザイン学部では

## 社会をよりよくするビジネスの仕組みをつくる

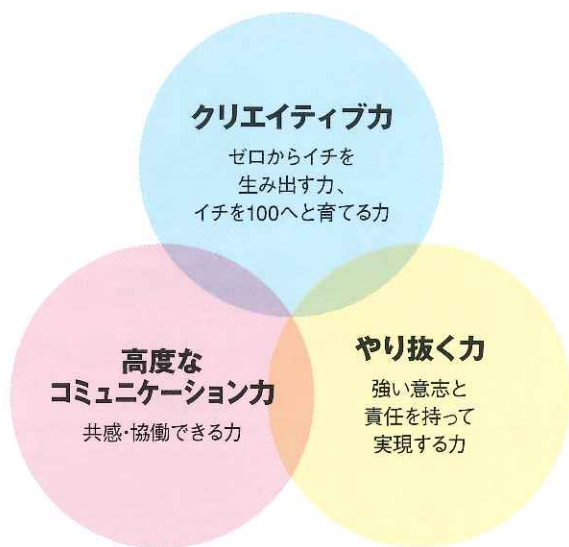
今、「メルカリ」や「アマゾン」などインターネットを介した新しいサービスが次々と生まれ、私たちの暮らしや世の中が大きく変わってきています。これらは、アイデアとテクノロジーを組み合わせ、ビジネスの新しい仕組みを考え出すことで誕生しています。つまり“ビジネスをデザインする”ことで、これまでになかった価値が生み出されているのです!!

ビジネスデザイン学部では、ビジネスを通して社会に新しい価値を提供できる力を身につけ、国が提唱している「Society5.0」や「SDGs」など、変化の激しい社会で活躍できる人材を養成します。

### ビジネスデザイン学部で身につく力

新たなビジネスの仕組みをつくるための  
**3つの力**

3つの力を駆使するための  
**世界標準のリーダーシップ**



リーダーシップの考え方が大きく変わってきている



才能や特性、カリスマ性を持つ人、社長や部長など特定の人だけが持つ能力

チームの目標を立てて、いち早く行動し、同僚を巻き込み支援する能力

これらの力を養うため

大企業からスタートアップ企業まで60を超える企業・行政・団体と学ぶ

 MIZUNO 明日は、きっと、できる。 [スポーツ用品メーカー]	 YOSHINOYA [外食チェーン運営]	 HIS Love Peace TRAVEL [旅行代理業]	 SPORTS ENTERTAINMENT ROUND1 [総合アミューズメント事業]	 Kansai Collection ENTERTAINMENT [イベント、モデル、ダンススクール運営等]	 Berlitz [英会話事業]	 i-plug [新卒リクルーティング事業]
 RECRUIT リクルートマーケティングパートナーズ [情報サービス業]	 akippa [駐車場検査サイト運営]	 公益社団法人 日本将棋連盟 [公益社団法人]	 大阪ガス [エネルギー事業]	 泉大津市 [地方自治体]	 TAKENAKA [建設・開発事業]	 OSSEZO [食品ロス削減事業]

上記企業・行政・団体は一部抜粋であり、2019年度実績です。

#### 課題例

2019年度(1年次生)  
春学期は17の課題に取り組みました。

科目「福祉・医療・教育ビジネス」  
リクルートマーケティングパートナーズ  
「教育ビジネスにおける、新サービスを提案せよ」

科目「食ビジネス」  
ハウス食品  
「自分がマーケティング責任者なら自社製品を食べたことのない外国人の消費者にどのように認知、購入させるか提案せよ」

科目「農ビジネス」  
JA大阪中央会  
「農業を盛り上げる方法について提案せよ」

科目「健康・スポーツビジネス」  
FC大阪  
「関西をスポーツ産業で豊かにするためのビジネスモデルを提案せよ」

# 〔 ビジネスデザイン学部の学び方 〕

ビジネスデザイン学部のメイン科目

## PBL (Project Based Learning) 問題解決型学習



企業の方とチームをつくり、  
アイデアを深めていきます

教員や上級生もグループワークに  
参加し、アドバイスをを行います



企業人と学生が**チーム**になり、  
半年間かけて課題解決に  
取り組みます。



空き時間などもチームで  
課題に取り組みます

チームでまとめたアイデアは  
企業にプレゼンテーション



上記のPBLのような実践科目をはじめ、  
ビジネスをデザインするために必要な理論や考え方を学ぶ科目が充実しています。  
卒業時には、全員が新規ビジネスのプロトタイプ(試作版)を発表します。

### 見方・関心

社会・人・ビジネスに対する見方や興味をもつ

#### 科目

- ・ビジネス基礎
- ・食ビジネス
- ・ITビジネス
- ・ビジネスリーダーシップ
- ・PBL入門
- 他

### 問題解決力

ビジネスの問題解決に必要な思考や理論を身につける

#### 科目

- ・ロジカルシンキング
- ・ビジネスモデル
- ・問題解決法
- ・PBL応用
- ・フィールドワーク
- 他

### 問題発見・テーマ設定

社会の困りごとや、やってみたいことを自分で発見し、フレーム設定する

#### 科目

- ・デザイン演習I
- ・デザイン思考
- ・経営戦略
- ・プロジェクトマネジメント
- ・インターンシップII
- 他

### ビジネス実装

社会の問題を解決し、社会をよりよくするビジネスのプロトタイプをつくり、実際にやってみる

#### 科目

- ・デザイン演習II
- (デザイン演習の例)
- 「女性管理職を育てるための人事システム」
- 「街ぐるみで学校教員を支えるシステム」
- 「行列待ち時間を短縮させるシステム」

### ■ 連携先からの期待の声



株式会社ラウンドワン  
代表取締役社長  
杉野 公彦 氏 (桃大卒業生)

日本の大学全体で  
求められている学部

売れる商品・サービスをいかに生み出すのか。今後、モノづくりはAIやロボットがやってくれます。ビジネスデザイン学部は「無から新しいものを生み出す」ことに注目した非常に魅力ある学部です。



## 卒業後の進路

ビジネスを通して、社会をよりよくできる人材を養成



新たにビジネスを  
起業できる人



組織内で  
新しいビジネスを  
企画・実行できる人



事業を継承し、  
改革できる人



新しい社会・  
まちづくりに携わる  
公務員・NPO職員など

**設置概要** (設置構想中のため、記載の内容は変更される可能性があります。)

学部・学科 **ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科(仮称)**  
 入学定員 200名(定員増構想中)  
 設置年度 2021年4月  
 設置場所 大阪市阿倍野区昭和町3-1-64  
 桃山学院大学 あべのキャンパス

ビジネスデザイン学部 1年次における学費  
 ※2019年度 経営学部ビジネスデザイン学科 入学者実績

合計 1,199,000円  
 入学金 230,000円  
 授業料・施設費 969,000円(年額)  
 ※上記授業料・施設費のほかに、実習費等が必要になる場合があります。

**教育目的**

ビジネスデザイン学部は、「Society5.0」を牽引するために必要となる幅広い知識・技能・思考力・判断力・表現力および高度なコミュニケーション力を備え、新たなビジネスを創造することにより社会課題を解決できる人材を育成する。

**身につける力**

- 取り組むべき社会の課題を発見し、その解決策を考え出し、実行することで、社会に対して価値を創造する力
- 前例のない課題を発見・解決するために、自ら行動し、関係する人々と協働できる高度なコミュニケーション力とリーダーシップ
- ビジネスを実現するために、現実において粘り強く取り組む力
- 幅広い知識・技能・思考力・判断力・表現力を備え、社会の変化に対応して学び続けることができる力

**アクセスマップ**



**2020年秋始動**  
**あべの新キャンパス**  
 9階建て  
 (4~9階がビジネスデザイン学部専用フロア)



完成イメージムービー  
**公開中!!**

- 最寄駅
- Osaka Metro御堂筋線「昭和町駅」から徒歩 約5分
  - Osaka Metro谷町線「文の里駅」から徒歩 約8分
  - JR阪和線「南田辺駅」から徒歩 約10分

※各駅からの所要時間は「あべのキャンパス」最寄駅までの乗車時間の目安です(2019年9月現在)。



[和泉キャンパス] 〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1番1号 TEL. 0725-54-3131(代) TEL. 0725-54-3245(入試課直通)  
 [本町BDL(ビジネスデザインラボ)] 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町3-5-19 大阪ディーアイシービル4F (2020年秋には9階建ての「あべのキャンパス」に移転予定)  
 E-mail nyushi@andrew.ac.jp URL http://www.andrew.ac.jp/

## 【資料5】全国私立大学の学部系統別入学志願動向

区分	項目	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平均
社会科学系	集計学部数	510	510	515	513	515	—
	入学定員（人）	165,444	165,013	168,025	169,202	169,074	—
	志願者（人）	1,183,048	1,264,473	1,421,465	1,557,832	1,665,089	—
	志願倍率（倍）	7.2	7.7	8.5	9.2	9.8	8.5
	入学者（人）	173,373	174,262	179,664	176,801	175,002	—
	入学定員充足率（%）	104.9	105.6	106.9	104.5	103.5	105.1
経済学部	集計学部数	94	94	92	91	91	—
	入学定員（人）	39,868	39,505	39,406	40,016	39,077	—
	志願者（人）	312,763	325,308	374,884	412,231	422,743	—
	志願倍率（倍）	7.8	8.2	9.5	10.3	10.8	9.3
	入学者（人）	42,264	42,338	43,079	41,707	39,805	—
	入学定員充足率（%）	106.0	107.2	109.3	104.2	101.9	105.7
経営学部	集計学部数	81	82	82	80	85	—
	入学定員（人）	24,708	25,244	25,796	25,431	26,870	—
	志願者（人）	193,204	212,639	239,665	268,888	296,026	—
	志願倍率（倍）	7.8	8.4	9.3	10.6	11.0	9.4
	入学者（人）	25,687	26,598	27,888	27,037	27,887	—
	入学定員充足率（%）	104.0	105.4	108.1	106.3	103.8	105.5
商学部	集計学部数	31	31	31	30	30	—
	入学定員（人）	14,656	14,561	14,529	14,598	14,399	—
	志願者（人）	110,305	117,010	124,724	132,345	136,618	—
	志願倍率（倍）	7.5	8.0	8.6	9.1	9.5	8.5
	入学者（人）	15,427	15,344	15,363	15,537	14,796	—
	入学定員充足率（%）	105.3	105.4	105.7	106.4	102.8	105.1

※小数点第2を四捨五入して算出

出典：「平成27（2015）から平成31（2019）年度 私立大学・短期大学等入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）に基づき作成

【資料6】近畿圏の経済・経営系学部の入学志願動向

大学名	学部名	募集人数	受験者数	倍率
近畿大学（※）	経営学部	非公表	24,886	6.7
	経済学部	非公表	17,197	7.3
追手門学院大学	経営学部	178	4,656	11.9
	経済学部	169	3,042	10.1
大阪経済大学	経営学部	275	5,760	6.7
	経済学部	340	7,532	7.6
摂南大学	経営学部	148	6,552	11.7
	経済学部	138	5,717	7.9
阪南大学	経営情報学部	115	2,873	8.2
	経済学部	165	2,993	5.0
京都産業大学	経営学部	352	8,604	5.8
	経済学部	333	8,772	6.3
龍谷大学	経営学部	255	6,322	6.4
	経済学部	285	6,026	5.7
甲南大学	経営学部	245	3,558	6.9
	経済学部	230	3,495	5.0
	マネジメント創造学部	102	1,704	6.2
神戸学院大学	経営学部	180	4,940	6.5
	経済学部	170	4,004	6.0
桃山学院大学	経営学部	144	3,094	6.8
	経済学部	200	4,323	6.3
合計		4,024	93,967	7.2

各数値は大学受験パスナビ（旺文社）の各大学入試結果（倍率）の一般入試合計より引用（2020（令和2）年3月1日現在）  
URL：<https://passnavi.evidus.com/>

※近畿大学の記載内容について

- ・受験者数はパスナビの志願者数を引用（受験者数の記載無し）
- ・合計欄は近畿大学以外で計算

【資料7】私立大学地域別の入学志願動向（平成27年度から平成31年度）

地域	項目	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平均
全国	集計学校数	579	577	581	582	587	
	入学定員 A	463,697	467,525	477,667	484,986	487,065	
	志願者 B	3,513,502	3,629,277	3,882,573	4,158,495	4,425,625	
	受験者 C	3,376,430	3,489,798	3,732,228	3,999,532	4,246,911	
	合格者 D	1,241,258	1,245,863	1,238,199	1,211,499	1,250,373	
	入学者 E	487,061	488,209	499,678	497,773	500,083	
	<b>志願倍率 B/A</b>	<b>7.6</b>	<b>7.8</b>	<b>8.1</b>	<b>8.6</b>	<b>9.1</b>	<b>8.2</b>
	合格率 D/C	36.8%	35.7%	33.2%	30.3%	29.4%	
	歩留率 E/D	39.2%	39.2%	40.4%	41.1%	40.0%	
	<b>入学定員充足率 E/A</b>	<b>105.0%</b>	<b>104.4%</b>	<b>104.6%</b>	<b>102.6%</b>	<b>102.7%</b>	<b>103.9%</b>
大阪府	集計学校数	50	50	50	50	50	
	入学定員 A	42,721	43,791	45,076	45,560	45,686	
	志願者 B	420,116	436,524	477,871	523,471	587,726	
	受験者 C	405,524	419,875	458,315	503,473	566,782	
	合格者 D	122,515	123,595	126,574	122,998	127,654	
	入学者 E	46,002	46,626	48,277	47,614	47,337	
	<b>志願倍率 B/A</b>	<b>9.8</b>	<b>10.0</b>	<b>10.6</b>	<b>11.5</b>	<b>12.9</b>	<b>11.0</b>
	合格率 D/C	30.2%	29.4%	27.6%	24.4%	22.5%	
	歩留率 E/D	37.5%	37.7%	38.1%	38.7%	37.1%	
	<b>入学定員充足率 E/A</b>	<b>107.7%</b>	<b>106.5%</b>	<b>107.1%</b>	<b>104.5%</b>	<b>103.6%</b>	<b>105.9%</b>
兵庫県	集計学校数	31	31	31	31	31	
	入学定員 A	22,473	22,513	22,648	22,808	22,913	
	志願者 B	148,445	146,691	157,169	163,587	181,041	
	受験者 C	144,123	140,992	150,803	157,333	173,669	
	合格者 D	56,796	57,256	56,694	55,031	56,594	
	入学者 E	22,405	22,778	23,579	23,208	23,441	
	<b>志願倍率 B/A</b>	<b>6.6</b>	<b>6.5</b>	<b>6.9</b>	<b>7.2</b>	<b>7.9</b>	<b>7.0</b>
	合格率 D/C	39.4%	40.6%	37.6%	35.0%	32.6%	
	歩留率 E/D	39.4%	39.8%	41.6%	42.2%	41.4%	
	<b>入学定員充足率 E/A</b>	<b>99.7%</b>	<b>101.2%</b>	<b>104.1%</b>	<b>101.8%</b>	<b>102.3%</b>	<b>101.8%</b>

地域	項目	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平均
京都府	集計学校数	27	26	26	26	26	
	入学定員 A	32,991	33,039	34,190	35,462	35,717	
	志願者 B	325,540	341,500	366,914	397,510	405,161	
	受験者 C	314,174	328,720	352,545	383,138	389,422	
	合格者 D	112,516	112,421	107,233	99,746	107,221	
	入学者 E	35,083	34,819	35,328	34,662	35,444	
	志願倍率 B/A	9.9	10.3	10.7	11.2	11.3	10.7
	合格率 D/C	35.8%	34.2%	30.4%	26.0%	27.5%	
	歩留率 E/D	31.2%	31.0%	32.9%	34.8%	33.1%	
	入学定員充足率 E/A	106.3%	105.4%	103.3%	97.7%	99.2%	102.4%
近畿 (京都府、大阪府、兵庫県を除く)	集計学校数	12	12	12	12	13	
	入学定員 A	4,098	4,178	4,178	4,123	4,303	
	志願者 B	22,645	22,274	21,456	25,027	27,716	
	受験者 C	22,257	21,706	20,961	24,417	27,073	
	合格者 D	8,514	8,432	8,814	9,500	9,534	
	入学者 E	4,003	4,122	4,360	4,562	4,656	
	志願倍率 B/A	5.5	5.3	5.1	6.1	6.4	5.7
	合格率 D/C	38.3%	38.8%	42.0%	38.9%	35.2%	
	歩留率 E/D	47.0%	48.9%	49.5%	48.0%	48.8%	
	入学定員充足率 E/A	97.7%	98.7%	104.4%	110.6%	108.2%	103.9%

※小数点第2を四捨五入して算出

出典：「平成31（2019）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）に基づき作成

【資料8】 桃山学院大学ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科に関するアンケート結果およびアンケート

桃山学院大学ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科に関するアンケート結果

<アンケートの概要>

- 調査期間：2019年10月より随時（集計結果は2020年2月25日現在）
- 調査対象：経営学部ビジネスデザイン学科の授業や課外プログラム、教育環境づくり等で連携、協力をいただいた企業・団体、本学既設学部の卒業生の採用実績のある企業・団体（計 60社・団体）
- 調査方法：アンケート用紙配布を直接配布のうえ、その場で回収
- 有効件数：63件（1社1名の回答だが、3社のみ2名が回答）

設問		回答								
Q1	「桃山学院大学ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科（仮称）」には、以下のような特色があります。貴社・貴団体（ご回答者）にとって、これらの特色はどの程度魅力に感じますか。	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく感じない					
	<クリエイティブカ>	43	19	1	0					
	<リーダーシップと高度なコミュニケーションカ>	57	4	1	1					
	<やり抜く力>	49	13	1	0					
	<思考法と理論>	40	22	1	0					
	<教養・文化>	30	24	7	2					
	<スタートアップ支援>	38	20	4	1					
Q2	「桃山学院大学ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科（仮称）」の学びは、これからの社会にとって必要だと思われますか。	必要だと思う		必要だと思わない						
		63		0						
Q3	貴社・貴団体（ご回答者）では、「桃山学院大学ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科（仮称）」の学びを習得した学生ならば、採用したいと思われますか。	採用したいと思う	採用したいと思わない	検討したい	回答なし					
		59	1	1	2					
Q4	Q3で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。「桃山学院大学ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科（仮称）」の学びを習得した学生ならば、毎年何名程度の採用を想定できますか。あくまでも想定で結構です。	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上	人数は未確定	採用人数合計	
		9	16	10	0	2	1	21	99	
Q5	貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、都道府県名をお教えてください。	東京都	神奈川県	大阪府	兵庫県	和歌山県	奈良県	その他		
		22	2	32	5	1	1	0		
Q6	貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。	サービス業	卸売・小売業	医療・福祉	飲食店・宿泊業	複合サービス事業	運輸業	金融・保険業	不動産業	
		10	11	4	2	0	2	2	1	
		農・林・漁・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	公務	その他		
	1	1	18	0	5	0	6			

※Q4：採用人数合計の5名～9名は最大の9名で、10名以上は10名で集計



## 桃山学院大学ビジネスデザイン学部（仮称）設置に関するアンケート

桃山学院大学では、2021年（令和3年）4月に経営学部ビジネスデザイン学科をビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科に改編し、募集定員を増員（70名→200名）することを計画しています。このアンケートは企業や団体の皆様から意見を伺い、より充実した大学や学部・学科にするための参考とさせていただくものです。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料とさせていただきます。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケートや同封した資料は、桃山学院大学経営学部ビジネスデザイン学科に関するものであり、変更になる可能性があります。

桃山学院大学は、2021年（令和3年）4月に経営学部ビジネスデザイン学科を  
ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科（仮称）への昇格を計画しています。

※同封の資料をご覧くださいご回答願います※

Q1. 「桃山学院大学ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科（仮称）」には、以下のような特色があります。

貴社・貴団体（ご回答者）にとって、これらの特色はどの程度魅力に感じますか。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科（仮称）の特色		とても 魅力を 感じる	ある程 度魅力 を感じる	あまり 魅力を 感じな い	まった く魅力 を感じ ない
<b>&lt;クリエイティブカ&gt;</b> 社会人から正解のない現実の課題を与えられ、チームで取り組みます。（例：1年生で34社の課題）問題を発見し、解決策を生み出すことでクリエイティブ力を身につけます。また、将棋・囲碁やイラストなどの教養・文化科目においてもクリエイティブ力を身につけます。	→	1	2	3	4
<b>&lt;リーダーシップと高度なコミュニケーションカ&gt;</b> 社会人と共に「課題解決型学習（PBL）」に取り組みます。社会人と共に振り返りを行うことによって、周りの人をリードしつつ協働するための言動・態度を学び、「権限によらないリーダーシップ」を身につけます。また、周りの人と共感や納得解をつくりあえる高度なコミュニケーション力を身につけます。	→	1	2	3	4
<b>&lt;やり抜くカ&gt;</b> 卒業時には、全員が持続可能な社会の実現や経済の発展に寄与できるビジネスのプロトタイプをつくります。そのために、「デザイン演習」（ゼミ）では、フィールドワークや調査などを自らコツコツと粘り強く最後までやり抜く力を身につけます。	→	1	2	3	4

【資料 8】 桃山学院大学ビジネスデザイン学部（仮称）設置に関するアンケート

<p><b>&lt;思考法と理論&gt;</b>            実務家教員や多数の企業・団体の社会人から、スキルや知識を得ます。            また、経営の理論に加えて、論理思考・システム思考やデザイン思考            など、新しいビジネスをつくるのに必要な思考法を身につけます。</p>	→	1	2	3	4
<p><b>&lt;教養・文化&gt;</b>            近年ビジネスに必要な要素のひとつとされるアート思考を身に着け            ること、日本の伝統文化や歴史等を理解することを目的に、「将棋・囲            碁」（日本将棋連盟との協定にもとづく、将棋会館での実習あり）、「華            道・茶道の心」（裏千家今日庵との協定にもとづく、茶室での実習あ            り）、「イラスト・絵画」「政治・経済のニュース」等を開講している。</p>	→	1	2	3	4
<p><b>&lt;スタートアップ支援&gt;</b>            学科が所在する大阪市内のまちづくりプロジェクトに関わる機会や、            学生時代での起業を支援する制度（大学が金融機関と連携してファン            ド設立）等、事業継承やスタートアップに必要な学びを支援する環境            もあります。</p>	→	1	2	3	4

Q2. 「桃山学院大学ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科（仮称）」の学びは、これからの社会にとって必要だと思われますか。（あてはまる番号 1 つに○）

1. 必要だと思う      2. 必要だと思わない

Q3. 貴社・貴団体（ご回答者）では、「桃山学院大学ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科（仮称）」の学びを習得した学生ならば、採用したいと思われませんか。（あてはまる番号 1 つに○）

1. 採用したいと思う      2. 採用したいと思わない

Q4. Q3で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。「桃山学院大学ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科（仮称）」の学びを習得した学生ならば、毎年何名程度の採用を想定できますか。あくまでも想定で結構です。（あてはまる番号 1 つに○）

1. 1名    2. 2名    3. 3名    4. 4名    5. 5名～9名    6. 10名以上    7. 人数は未確定

**続いて、貴社・貴団体についてお伺いたします。**

Q5. 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社（本部）所在地

都・道・府・県

Q6. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。（あてはまる番号 1 つに○）

【資料 8】 桃山学院大学ビジネスデザイン学部（仮称）設置に関するアンケート

- |             |             |                   |
|-------------|-------------|-------------------|
| 1. サービス業    | 6. 運輸業      | 11. 製造業           |
| 2. 卸売・小売業   | 7. 金融・保険業   | 12. 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 3. 医療・福祉    | 8. 不動産業     | 13. 情報通信業         |
| 4. 飲食店・宿泊業  | 9. 農・林・漁・鉱業 | 14. 公務            |
| 5. 複合サービス事業 | 10. 建設業     | 15. その他           |
|             |             | ( )               |

Q 7. 最後に、ビジネスデザイン学科に期待することがございましたら、ぜひ下記にご記入をお願いいたします。

自由記述：

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

## 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	マキノ ニナコ 牧野 丹奈子 <平成28年5月>		博士 (経営学)		桃山学院大学学長 (平28.5~令4.3)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。